

令和6年9月3日
総務常任委員会資料
政策企画部政策戦略課

第2期宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略にかかる 中間総括（案）等について

現在、次期創生総合戦略の策定に向けて、検討を進めておりますが、この度、第2期宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略にかかる中間総括（案）を取りまとめたので、報告いたします。

また、定住・転入・転出に関するアンケート調査結果及び第3期宇治市人口ビジョン（案）、並びに次期創生総合戦略の基本目標（案）につきましてもあわせて、報告いたします。

【資料】

第2期宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略
中間総括（案）について

資料1

定住・転入・転出に関するアンケート調査について

資料2

第3期宇治市人口ビジョン（案）について

資料3

次期創生総合戦略の基本目標（案）について

資料4

第 2 期
宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略
中間総括（案）

宇 治 市

目 次

1. 創生総合戦略の基本的な考え方	1
2. 事業評価	1
3. 評価の対象事業	1
4. 第2期創生総合戦略の中間総括	2
5. 基本目標ごとの事業結果及び中間総括	
(1) 『確固たる宇治ブランドの展開』	7
① 様々な主体と一体となる魅力発信事業	
② 観光振興事業	
③ 観光インバウンド推進事業	
④ 宇治茶活用事業	
⑤ 源氏物語のまちづくり等事業	
⑥ 宇治の魅力の深化事業	
(2) 『市民の宇治への愛着の醸成と市民によるふるさと宇治の創生』	14
① 市民参画・協働によるふるさと宇治創生事業	
② 誰もが活躍できる共生社会づくり事業	
③ 宇治への愛着醸成事業	
④ 誰もが健康で生き生きと暮らせる宇治づくり推進事業	
⑤ 多文化共生促進事業	
(3) 『まちの魅力を高める都市基盤の整備』	20
① まち巡りを仕掛ける基盤づくり事業	
② 人・物の交流の活性化事業	
③ 豊かな市民生活を実現する社会基盤の整備事業	
④ 地域コミュニティの活性化事業	
⑤ 地域の豊かさを維持・向上させる国土強靱化の推進事業	
(4) 『持続的に発展する地域経済の活力づくり』	26
① 市内産業の進化・発展事業	
② 交流連携の強化事業	
③ 新たな産業創出事業	
(5) 『若い世代の就労・結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり』	30
① 若い世代の就労支援事業	
② 結婚・出産支援事業	
③ 子育て支援環境充実事業	
④ 学習環境等充実事業	
⑤ 切れ目のない連携教育推進事業	
⑥ 地域等協働子育て環境充実事業	
6. 国の地方創生関係交付金を活用した事業（令和5年度事業）	37
7. 重要業績評価指標（KPI）目標値修正一覧	42

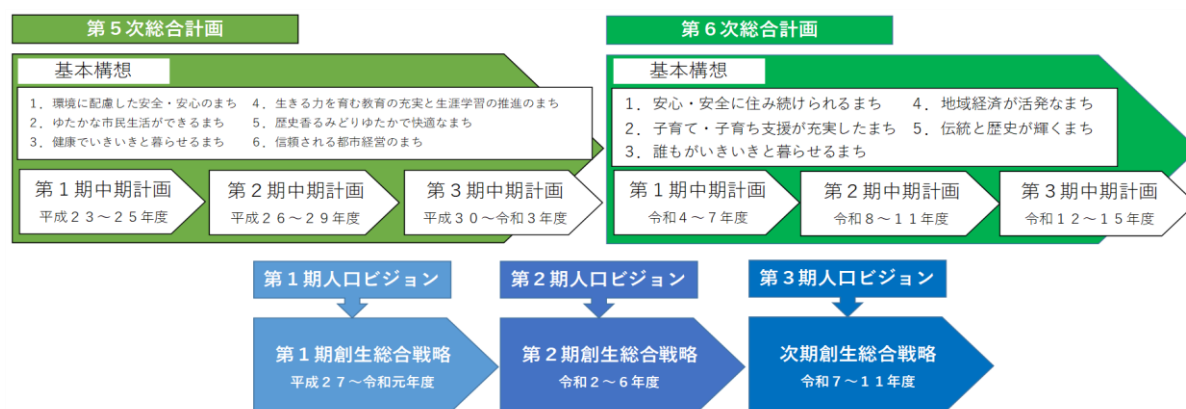
1. 創生総合戦略の基本的な考え方

(1) 創生総合戦略の目的

人口減少及び少子高齢社会への迅速かつ的確な対応と、本市の特色を活かした施策の実施により、持続的に発展するまちを目指すことを目的とする。

(2) 創生総合戦略の位置付け

第2期創生総合戦略の策定にあたっては、国の総合戦略を勘案するとともに、第5次総合計画第3期中期計画に定める施策を踏まえた上で、人口ビジョンにおいて示した人口の変化による将来への影響や課題に対応し、持続的に発展するまちを目指し、5つの基本目標を定めている。



2. 事業評価

各基本目標における数値目標や具体的な施策における重要業績評価指標（KPI）の達成度により、取組の効果を毎年度検証し、国の動向や社会経済情勢の変化などに対応した施策・事業の見直しとともに、数値目標やKPIについても見直しを図るなど、PDCAサイクル（※）により、創生総合戦略の実効性を高めている。

また、効果検証に際しては、庁内で評価を行うとともに、その妥当性・客観性を確保するため、産学官金労言士等の有識者及び市民で構成される「宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」で検証を行うこととしている。

（※）PDCAサイクルとは、Plan（計画）、Do（実施）、Check（評価）、Action（改善）の4つの視点をプロセスの中に取り込むことで、プロセスを不断のサイクルとし、継続的な改善を推進するマネジメント手法。

3. 評価の対象事業

第2期創生総合戦略の5つの基本目標に掲げる事業のうち、令和2年度から令和5年度に実施した事業について総括するとともに、令和5年度地方創生推進交付金対象事業について評価を行った。なお、同交付金は、国において事業効果を高めるため、外部有識者による効果検証を求められている。

4. 第2期創生総合戦略の中間総括

(1) 数値目標・重要業績評価指標（KPI）の達成状況

達成状況の評価にあたっては、令和5年度末時点で第2期創生総合戦略の5年の計画期間のうち、4年が経過していることから、各指標の目標値の80%を基準とし、目標達成・概ね達成（未達成の指標のうち達成率80%以上）・未達成（未達成の指標のうち達成率80%未満）と分類した。

①数値目標の達成状況

基本目標の達成に向けて様々な施策を積極的に実施してきたものの、新型コロナウイルス感染症等の影響もあり、基本目標ごとに設定した数値目標については、全て達成には至らなかった。

各数値目標の現状を見ると、基本目標（1）の数値目標である観光客の宇治市満足度と観光客のリピーター割合についてはどちらも基準値と比較して改善しており、基本目標（2）の市民の宇治への愛着度は基準値を若干下回る結果となった一方、定住意向に関してはやや改善が見られた。

対して、基本目標（3）（4）（5）においては、新型コロナウイルス感染症の影響が大きかったと推定され、全て基準値以下となっており、目標の達成に向けては厳しい状況となった。

基本目標	数値目標	単位	基準値 (年度)	目標値 (年度)	現状※ (年度)	備考
(1) 確固たる宇治ブランドの展開	観光客の宇治市満足度 (飲食・お土産・景観等 12項目)	%	55.0～ 93.0 (H28)	全て85.0 以上 (R4)	12項目中 6項目達成 (R4)	宇治市観光動向調査より
	観光客のリピーター割合	%	56.3 (H28)	70.0 (R4)	59.4 (R4)	宇治市観光動向調査より
(2) 市民の宇治への愛着の醸成と市民によるふるさと宇治の創生	市民の宇治への愛着度	%	73.2 (R1)	90.0 (R6)	69.6 (R5)	定住に関するアンケート調査より
	市民の定住意向	%	47.9 (R1)	70.0 (R6)	50.6 (R5)	定住に関するアンケート調査より
(3) まちの魅力を高める都市基盤の整備	滞在人口率	倍	0.86 (H30)	0.93 (R6)	0.86* (R5)	平日14時の滞在人口÷夜間人口（国勢調査） *令和5年6月までの実績値
	昼夜間人口比率	%	88.1 (H27)	90.0 (R2)	87.8 (R2)	昼間人口（国勢調査）÷夜間人口（国勢調査）
(4) 持続的に発展する地域経済の活力づくり	市内事業所数	事業所	5,413 (H28)	5,413 (R3)	5,126 (R3)	経済センサスより
	市内従業者数	人	54,794 (H28)	56,500 (R3)	54,266 (R3)	経済センサスより
(5) 若い世代の就労・結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり	出生数	人	6,514 (H26～30年)	7,500 (R2～6年)	4,183 (R2～5年)	
	子育てしやすい環境や支援への満足度	%	22.9 (H30)	30.0 (R5)	19.9 (R5)	子ども・子育て支援に関するニーズ調査より

※把握している直近の数値

②重要業績評価指標（KPI）の達成状況

基本目標の達成に向けて実施する具体的施策における事業の進捗状況を測るために設定した重要業績評価指標（KPI）では、4割弱の指標が目標を達成し、全指標の約5割が達成率80%以上となった。

基本目標（1）の観光分野では、新型コロナウイルス感染症の影響により観光客数が激減するなど大きな影響が出たものの、歴史や文化などの恵まれた資源を活用し、宇治の持つ多様な魅力を広域的に発信することができた。

また、基本目標（4）の産業分野では令和2年度に開設した新たな起業拠点において市内の起業家支援を行うとともに、異業種交流会、事業承継に向けたセミナーの開催など様々な取組による市内企業の支援を実施することができた。

一方で、基本目標（5）においては、達成状況としては全体の中で最も低い状況となったが、未達成となった項目の中でも達成に向けて事業を進めることができた項目もあり、引き続き、積極的に取組を推進していくことが重要である。

基本目標	重要業績 評価指標 (KPI) 数 ①	目標達成 (100%) ②	概ね達成 (80%) ③	目標 未達成	今後評価※ ④	目標達成 の割合 ②/(①-④)	達成率 80%以上 の割合 ②+③/(①-④)
(1) 確固たる宇治ブランドの展開	12	5	1	4	2	50.0%	60.0%
(2) 市民の宇治への愛着の醸成と市民によるふるさと宇治の創生	17	5	3	8	1	31.3%	50.0%
(3) まちの魅力を高める都市基盤の整備	18	8	1	9	0	44.4%	50.0%
(4) 持続的に発展する地域経済の活力づくり	11	7	0	4	0	63.6%	63.6%
(5) 若い世代の就労・結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり	21	3	2	15	1	15.0%	25.0%
(1)～(5) 合計	79	28	7	40	4	37.3%	46.7%

※各計画における調査時期の設定や新型コロナウイルスの影響などにより、今後調査を実施する項目

(2) 人口動向分析

第2期宇治市人口ビジョン（以下、「人口ビジョン」という。）は平成27年（2015年）の国勢調査人口をもとに、合計特殊出生率や社会増減の目標を踏まえ、推計したものである。

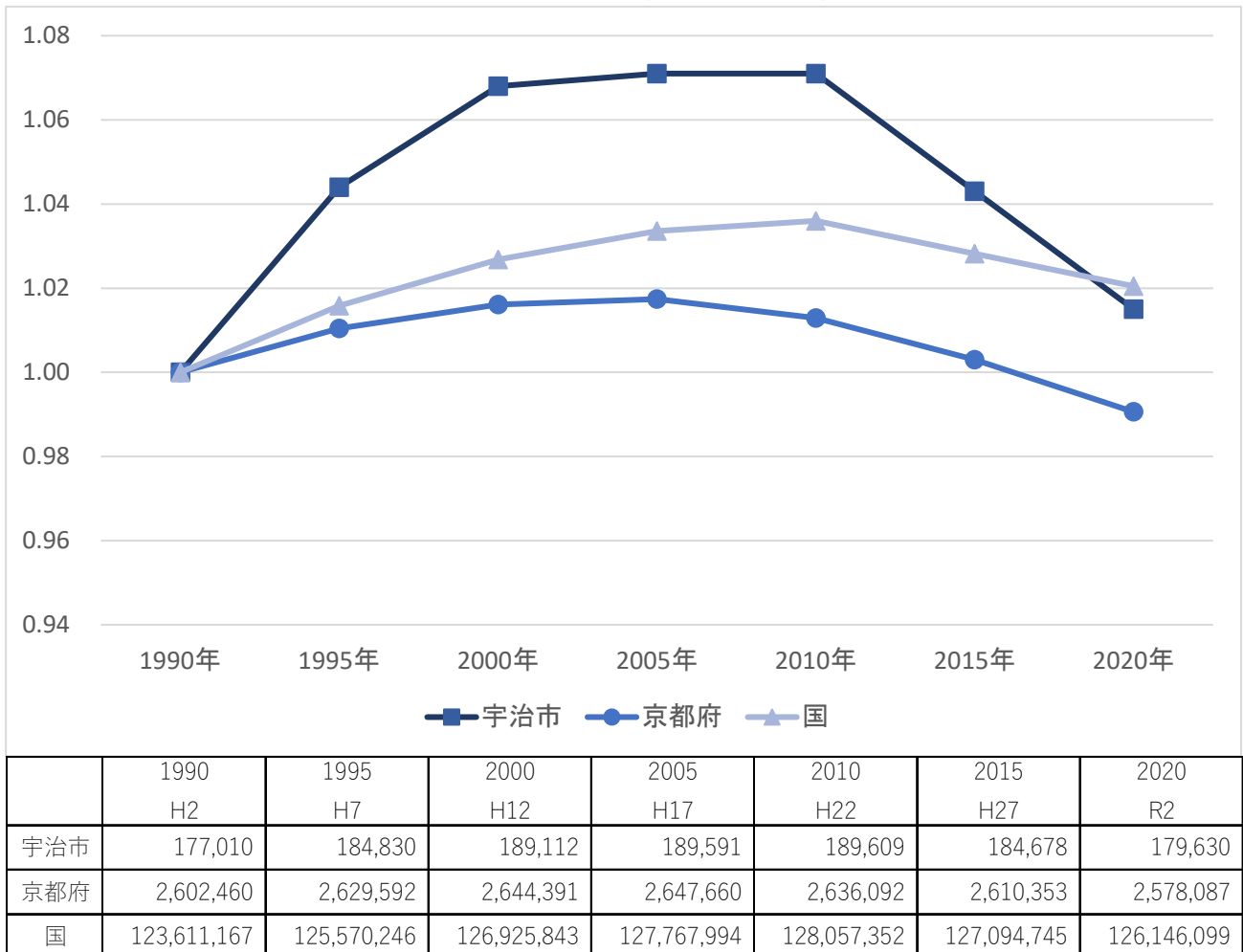
人口ビジョンと国勢調査をもとに算出した推計人口を比較すると、宇治市の人口は令和5年においても人口ビジョンを下回っており、その差は広がっている。

〈第2期人口ビジョンと推計人口の比較〉

	2015 H27	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2060 R42
第2期人口ビジョン(A)	184,678	183,546	183,004	182,462	181,920	181,378	150,786
推計人口(※)(B)	184,678	179,630	178,292	176,915	175,719		
B - A	0	▲ 3,916	▲ 4,712	▲ 5,547	▲ 6,201		

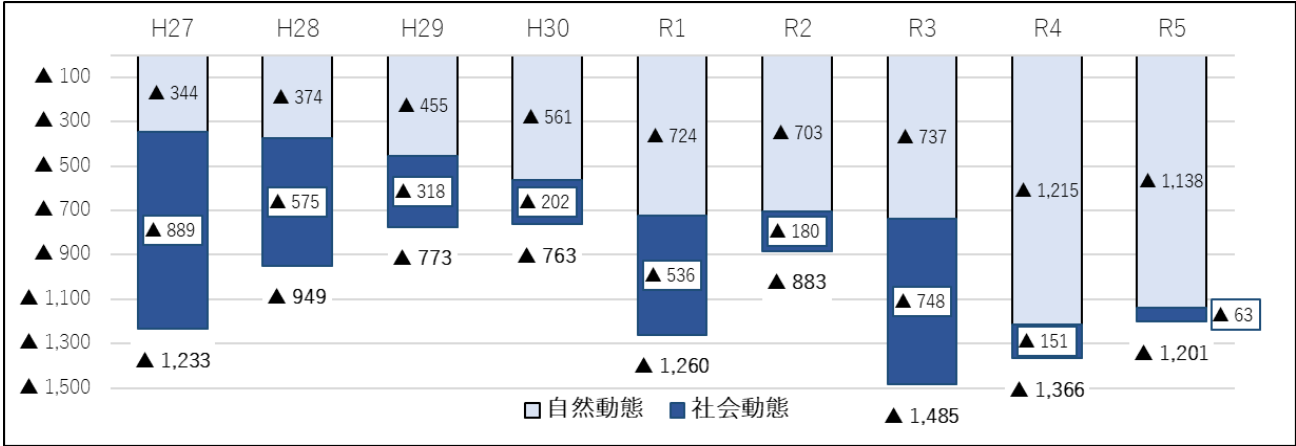
※平成27年・令和2年は国勢調査の人口。令和3年以降は令和2年国勢調査人口をベースに、その後の自然・社会増減を反映した人口（各年10月1日現在）。

<参考>1990年を1とした場合の人口増減の推移（国勢調査人口）



自然動態（出生－死亡）は出生数の伸び悩みや死亡者数の増加により減少が続いている。社会動態（転入－転出）でも減少はしているものの、令和５年の減少幅は創生総合戦略策定後、最も少ない下げ幅となっている。

〈人口動態の推移〉



※自然動態は、当該年中（１月～１２月）の「出生－死亡」の人数
 ※社会動態は、当該年中（１月～１２月）の「転入－転出」の人数

		2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5
自然動態	出生	1,369	1,296	1,246	1,219	1,038	1,118	1,098	1,007	960
	死亡	1,713	1,670	1,701	1,780	1,762	1,821	1,835	2,222	2,098
社会動態	転入	6,249	6,255	6,476	6,463	6,545	6,280	5,888	6,464	6,457
	転出	7,138	6,830	6,794	6,665	7,081	6,460	6,636	6,615	6,520

平成２７年度以降の世代別の社会動態では、児童（０～１７歳）は増加していることから、地方創生の取組の効果が一定表れているものと推測される。一方で１８～２９歳では大幅な減少となっており、引き続き、より効果的な施策の実施に向け、検討を進める必要がある。

〈創生総合戦略策定以降における世代別社会動態〉

平成２７年度～令和５年度の合計										
世代	0-5歳	6-11歳	12-17歳	18-23歳	24-29歳	30-34歳	35-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上
人数	841	67	179	▲ 1,072	▲ 2,957	▲ 208	▲ 162	▲ 53	▲ 260	862
計	▲ 2,763									

※創生総合戦略策定以降の評価を行うため、年度集計（４月～３月）を記載
 ※入力日基準における集計結果
 ※年齢は年度末年齢で集計

児童（０～１７歳）の合計	1,087
--------------	-------

（３）中間総括

数値目標は全て未達成となり、重要業績評価指標（ＫＰＩ）の達成状況においては、達成率８０％以上の指標が全体の５割程度となった。特に『若い世代の就労・結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり』については、達成率８０％以上となった指標が２割程度となるなど、目標達成に向けては厳しい状況となった。

第６次総合計画第１期中期計画において「みんなでつくる子育て・子育てにやさしい地域共生社会」を重点施策として位置づけ、令和４年度から組織横断的な取組を進めており、引き続き、子育てにやさしいまちの実現に向け、子育て・子育て環境の充実を図る。

人口動向においては依然として減少傾向にあるが、創生総合戦略策定以降の世代別社会動態においては、０～１７歳の世代が増加していることから、第２期創生総合戦略において掲げた５つの基本目標に向けた各種取組の推進により、子育て世帯に対して魅力のあるまちづくりを進めていると評価できる。

一方で、社会動態全体では減少が続いており、子育て世帯は増加しているものの、単身者の転出がそれを上回る状況となっている。

また、数値目標や重要業績評価指標（ＫＰＩ）の達成状況では子育て支援施策に関する指標の達成率が低いことに対し、人口動向においては子育て世帯の流入が続いていると推測されることから、実際の社会動態の改善とそれに関する評価に差が生じていると考えられる。

第２期創生総合戦略策定後の新型コロナウイルス感染症の影響をはじめとした社会情勢の変化も踏まえ、次期創生総合戦略の策定にあたっては、より適切な指標の設定に努める必要がある。

第２期創生総合戦略では人口減少及び少子高齢社会に向け、出生率の向上と社会増減０を目標として、本市の特色を活かした施策に取り組むことで持続的に発展するまちを目指してきたが、人口減少に歯止めをかけるには至っていない。

引き続き、人口減少及び少子高齢社会への対応に向け、具体的な施策の見直し・充実を行い、次期創生総合戦略の策定を進める。

5. 基本目標ごとの事業結果及び中間総括

- ①当初目標値を達成したため、目標値を上方修正したもの (一覧：P42)
 ※当初目標値を達成した時点の実績値を太字で表記
- ②関連計画の改定や状況の変化に応じて、目標値等を修正したもの (一覧：P43)
- ③事業名の変更や事業の対象者の拡充などにより指標名や指標全体を修正したもの (一覧：P44)

(1) 『確固たる宇治ブランドの展開』～宇治への新しい人の流れを定着させる～

(目的)

これまでの取組により築き上げてきた本市への新しい人の流れを定着させることにより、観光客をはじめとする交流人口及び関係人口の増加を図り、本市の魅力を実感することを通じて、宇治に住みたい思いの醸成から、転入者を増やすことで人口減少に歯止めをかける。あわせて、本市への継続的に多様な関わり方の仕組みを構築し、本市と関わる関係人口を定住人口の増加につなげていく。

(数値目標)

数値目標	単位	基準値 (年度)	達成状況					目標値 (年度)
			R2	R3	R4	R5	R6	
観光客の宇治市満足度 (飲食・お土産・景観等)	%	55.0～ 93.0 (H28)	—	—	64.4～ 94.5	—		全て85.0 以上 (R7)
観光客のリピーター割合	%	56.3 (H28)	—	—	59.4	—		70.0 (R7)

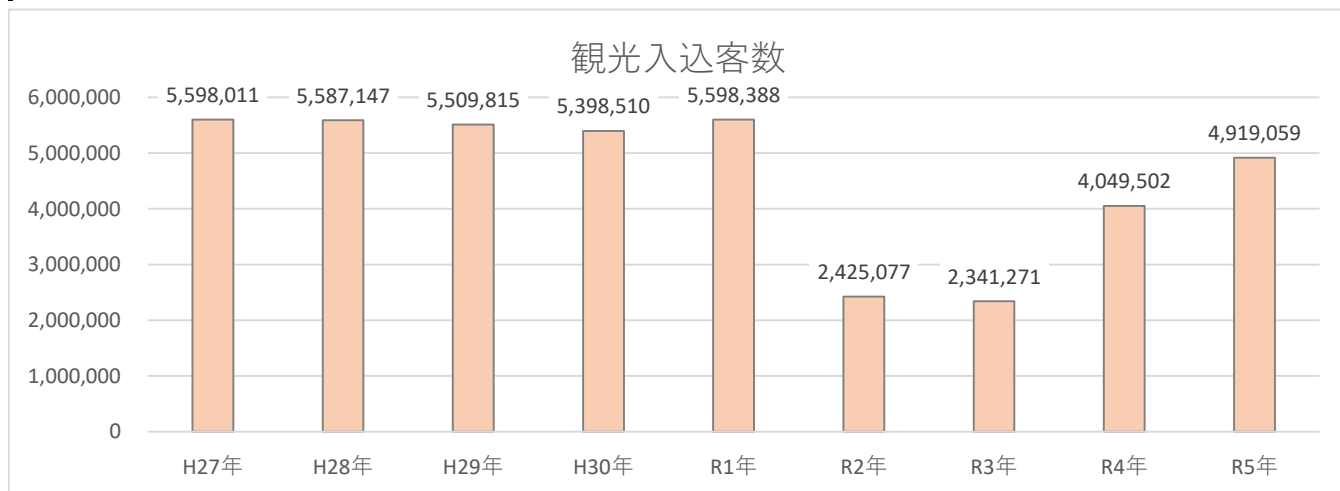
(※) 宇治市観光動向調査より

(中間総括)

数値目標に掲げた観光客の宇治市満足度と観光客のリピーター割合についてはどちらも基準値より改善したものの、目標値の達成には至らなかった。中でも交通状況に対する満足度は64.4%と低く、リピーター割合向上のためにも対策を行う必要がある。

一方で、令和2年以降、新型コロナウイルス感染症の拡大により多大な影響を受けた観光入込客数は令和4年から回復傾向にあり、令和5年には令和元年の9割程度まで回復した。今後は新型コロナウイルス感染症の影響により大きく変化した観光客のニーズやスタイルに応じた的確な取組を検討する必要がある。

引き続き、魅力発信及び観光振興による宇治ブランドの強化に努めるとともに、これまでの取組により本市に興味を持った人に対して訪問意欲を喚起し、訪問後も継続して本市に関わる関係人口の増加から定住促進につなげる段階的な取組を推進する必要がある。



(具体的な施策)

①様々な主体と一体となる魅力発信事業

重要業績評価指標 (K P I)		基準値 (年度)	達成状況					目標値 (年度)
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	
地域ブランド調査 魅力度全国ランキング	位	35 (R1年)	38	27	28	27		25 (R6)
ふるさと応援寄附件数	件	3,410 (H30)	4,765	10,839	11,441	8,812		14,700 (R6)
魅力発信プラットフォーム延べ参加人数	人	39 (H30)	0	18	31	48		250 (累計 (R2~6))

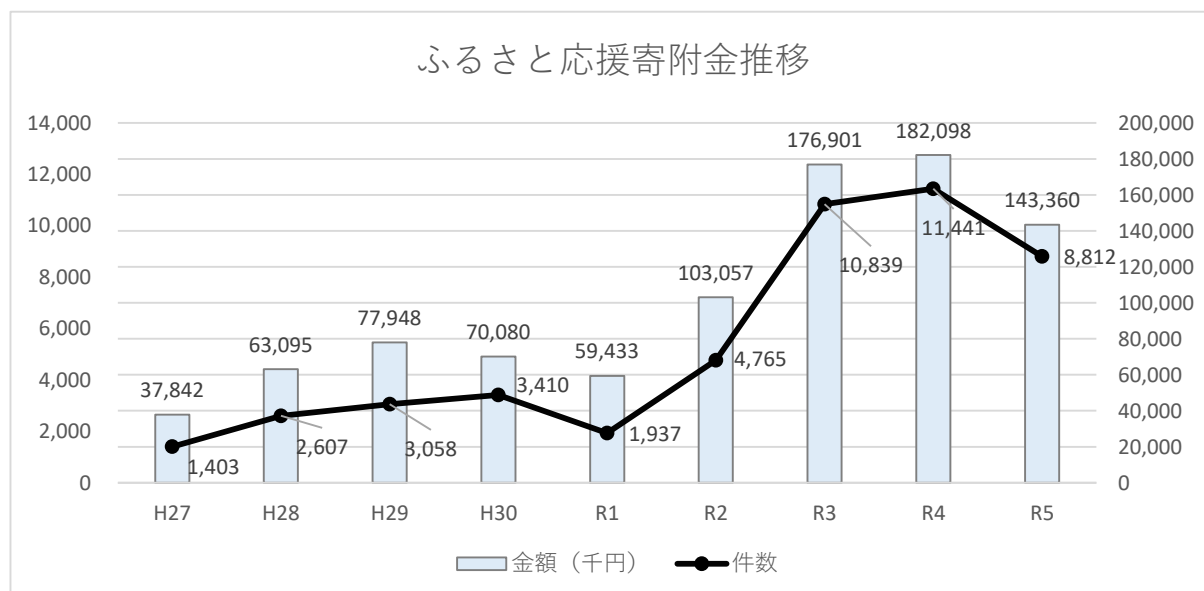
基本目標達成に向けた主な事業

事業名	令和5年度事業結果
ふるさと応援施策推進事業	一部ポータルサイトの切替作業に伴う休止期間などにより、件数・金額ともに減少したものの、新規返礼品として宇治市内での食事や体験等に利用できる電子商品券を導入し、寄附者の訪問意欲の喚起とともに、より多くの市内事業者の参加に向けた取組を行った。
親子で宇治の文化の魅力発見事業	親子ならではの宇治の楽しみ方を発見するとともに、参加者主体の情報発信を通じて、親子目線での新たな宇治の魅力を市内外へPRすることを目的に、親子で参加できる「宇治ならではの」学びの体験を盛り込んだモニターツアーを夏・秋・冬の年3回実施した。

中間総括

地域ブランド調査による魅力度全国ランキングでは令和3年度以降、3年連続で20位台をキープし、ふるさと応援寄附件数は令和5年度では減少したものの、当初目標の4,900件を大きく超え、多くの方に宇治の魅力を発信することができた。

今後も宇治の魅力を発信するため、多様な主体との連携を推進するとともに、体験型観光などを通じて継続的に本市と関わる関係人口の増加を図る。



②観光振興事業

重要業績評価指標（KPI）		基準値 （年度）	達成状況					目標値 （年度）
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	
1人あたりの 平均観光消費額（※）	円	4,046 (H28)	—	—	6,291	—		4,700 (R4)
宇治フィルムコミッション 情報発信件数	件	—	16	24	17	50		50 (R6)

（※）宇治市観光動向調査より

基本目標達成に向けた主な事業	
事業名	令和5年度事業結果
戦略的観光情報発信事業	宇治を舞台にした「響け！ユーフォニアム」の特別編の劇場公開に向け、新しいキャラクターパネルの作成・設置を行った。また、宇治フィルムコミッションにおいて宇治市内でのロケ撮影の誘致・支援を行うとともに、宇治市がロケ地となった番組をSNSで紹介するなど宇治市のPRを行った。
全国鵜飼サミット宇治大会開催事業	宇治市では21年ぶりの開催となる第25回全国鵜飼サミットにおいて、全国の鵜飼関係者が一堂に会し、鵜飼に関する伝統文化の保存・継承及び観光振興などについて意見交換を行うとともに、現在は宇治市でしか行われていない「放ち鵜飼」の実演を行った。

中間総括
宇治を舞台にした「響け！ユーフォニアム」と連携したPRを行うとともに、デジタルスタンプラリーの実施など、実際に宇治を訪問してもらう取組を推進した。また、実施に向けて支援してきた放ち鵜飼については、令和3年度のモニターツアーを経て、令和4年度から一般公開された。これらの新たな観光資源を活かし、さらなる観光誘客を図る。

<大吉山（展望台）でのパネル設置>



<全国鵜飼サミット宇治大会>



③観光インバウンド推進事業

重要業績評価指標（K P I）		基準値 (年度)	達成状況					目標値 (年度)
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	
外国人の1人あたり平均観光消費額（※1）	円	6,227 (H28)	—	—	—	—		7,300 (R4)
外国人観光客の宇治市満足度（名所・観光案内・景観等）（※1）	%	57.4~ 100.0 (H28)	—	—	—	—		全て85.0 以上 (R4)
源氏物語ミュージアムでの小型タブレット端末の貸出件数（※2）	件	8,245 (H30)	貸出 中止*	貸出 中止*	貸出 中止*	4,270		14,000 (R6)

（※1）宇治市観光動向調査より

（新型コロナウイルスの影響による外国人観光客減少のため、令和6年度に調査予定）

（※2）平成30年7月までは音声ガイド機器の貸出

*新型コロナウイルス感染症拡大防止のためタブレットの貸出を中止した

基本目標達成に向けた主な事業	
事業名	令和5年度事業結果
観光インバウンド推進事業	海外の観光動向について調査・分析を行い、様々な国や地域のニーズを踏まえ、海外向け情報誌への記事掲載を行った。また、SNSで活用できるPR動画を作成するなど、宇治市の魅力発信に努めた。
観光おもてなし推進事業	宇治観光の玄関口となる観光案内所などにおいて多言語対応タブレットを配置することにより、案内機能を強化し、誰もが安心して観光できる環境づくりに取り組んだ。市内3か所の観光案内所にて22,123人のインバウンドの方に対し、案内業務を行った。

中間総括
新型コロナウイルス感染症の拡大により、訪日外国人旅行者数が激減するなど大きな影響を受ける中でも、ポストコロナ社会におけるインバウンドの回復を見据え、継続して海外に向けた情報発信を行い、誘客促進を図った。 引き続き、宇治の強みである文化や自然について積極的な情報発信を行い、訪問意欲の喚起に努めるとともに、宇治を訪れた方が快適に過ごせるような環境整備を行い、満足度の向上を図る。

④宇治茶活用事業

重要業績評価指標（K P I）		基準値 （年度）	達成状況					目標値 （年度）
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	
宇治茶や抹茶スイーツを目的に宇治へ来る割合（※）	%	24.1 (H28)	—	—	41.1	—		30.0 (R4)

（※）宇治市観光動向調査より

基本目標達成に向けた主な事業	
事業名	令和5年度事業結果
宇治茶おもてなし推進事業	新規採用職員へのお茶の淹れ方研修の実施や市主催の会議において市内産玉露かりがねの提供を行った。また、京都大作戦2023や京都サンガF.C.宇治市ホームタウンデーなどのイベントにおいて市内産の宇治茶を振る舞い、「宇治のお茶」をPRした。
市内産宇治茶PR事業	市内産宇治茶の特徴である、新芽の時期に茶園に覆いをする「覆下栽培」とお茶摘みさんが新芽を一葉一葉手で摘み取る「手摘み」に注目して、高品質な市内産宇治茶の魅力を広くPRする動画を作成し、宇治市公式Youtubeにて公開した。

中間総括
宇治茶巡りガイドツアーの実施や市営茶室対鳳庵での宇治茶の魅力発信など、宇治茶ブランドの活用を柱とした取組を推進し、宇治茶を目的に宇治へ来る割合は目標値を大幅に上回り、宇治茶に対する満足度も向上した。 引き続き、宇治茶のブランド力の向上に努めるとともに、ブランド力を活かしたさらなる観光誘客を図る。

⑤源氏物語のまちづくり等事業

重要業績評価指標（KPI）		基準値 （年度）	達成状況					目標値 （年度）
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	
源氏物語ミュージアム来館者数	人	97,139 (H30)	46,746	40,444	63,822	147,726		160,000 (R6)

基本目標達成に向けた主な事業	
事業名	令和5年度事業結果
紫式部のまち魅力発信プロモーション事業	大河ドラマ「光る君へ」を契機とし、紫式部ゆかりのまちである越前市・大津市との連携による広域プロモーションや京都アニメーションとの連携によるロゴマーク・キービジュアルの作成に加え、SNS等の活用により、幅広い層への情報発信を行った。
紫式部のまちにぎわい創出事業	お茶と宇治のまち歴史公園において、大河ドラマの世界観や平安時代の宇治の歴史や文化を体感できる展示を行う「光る君へ 宇治 大河ドラマ展」をオープンした。また、文化センターにおいて「光る君へ スペシャルトークショー in宇治」を開催し、紫式部ゆかりの地である宇治の魅力を発信した。

中間総括
大河ドラマ「光る君へ」の放映で注目が集まる機会を捉え、各種取組を実施したことにより、源氏物語ミュージアムの来館者数は達成に向けて順調に推移している。 宇治市がこれまでから取り組んできた「源氏物語のまちづくり」をさらに推進し、宇治にしかない魅力を市内外に発信することで、大河ドラマの放送終了後も継続して観光に来ていただけるよう取り組む。

<京都アニメーションとの連携によるロゴマーク・キービジュアル>



<ロゴマーク>



<キービジュアル>

⑥宇治の魅力の深化事業

重要業績評価指標（KPI）		基準値 (年度)	達成状況					目標値 (年度)
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	
重要文化的景観地区選定面積 (年度末選定面積)	ha	228.5 (H30)	228.5	228.5	228.5	228.5		546.7 (R6)
お茶と宇治のまち歴史公園 ミュージアムの来館者数	人	—	—	8,083	11,687	19,018		115,000 (R6)

基本目標達成に向けた主な事業	
事業名	令和5年度事業結果
文化的景観保護推進事業	重要文化的景観に選定された「宇治の文化的景観」の保全を図るため、景観の重要な構成要素となる建物の改修について所有者等と調整を行うとともに、修理・修景事業として旧京都府茶業会議所、中村藤吉本店の主屋・角屋の3件の工事に補助を行った。
お茶と宇治のまち歴史公園運営事業	宇治ならではの茶摘みや抹茶づくりなど様々な体験メニューを実施し、宇治の魅力に触れる体験型観光を創出した。イベントやマルシェの開催、大河ドラマ展の実施などにより、来園者数は103,477人、入館者数は76,988人となった。

中間総括
重要文化的景観地区において、魅力あふれる宇治の文化的景観を保存するとともに、お茶と宇治のまち歴史公園ではイベントやマルシェの開催、大河ドラマ展の実施など取組を行ったものの目標値の達成に向けては厳しい状況となった。 引き続き、宇治の文化や歴史などの魅力的な資源を活用し、魅力の向上を目指すとともに、天ヶ瀬ダムかわまちづくりをはじめ、新たな観光資源の創出と魅力発信に取り組み、周遊観光の促進を図る。

<光る君へ 宇治 大河ドラマ展>



（２）『市民の宇治への愛着の醸成と市民によるふるさと宇治の創生』

～宇治への愛着から定住促進につなげる～

（目的）

人口減少に歯止めをかけるためには、人口の流入とあわせて、人口の流出抑制を図ることが重要である。市民の宇治への愛着の醸成を図るとともに、行政のみでなく市民自らが、地域のつながりを大切にし、様々な人々が共生する魅力あるふるさと宇治を築くことで、宇治に住み続けたい思いへとつなげ、人口流出抑制を図る。

（数値目標）

数値目標	単位	基準値 (年度)	達成状況					目標値 (年度)
			R2	R3	R4	R5	R6	
市民の宇治への愛着度（※）	%	73.2 (R1)	—	—	72.9	69.6		90.0 (R6)
市民の定住意向（※）	%	47.9 (R1)	—	—	46.3	50.6		70.0 (R6)

（※）定住に関するアンケート調査より（令和5年度は速報値）

（中間総括）

社会動態については令和4年・5年と連続して創生総合戦略策定以降最も少ない減少幅となっており、これまで取り組んできた成果が一定現れていると考えられるものの、市民の愛着度は基準値より減少し、定住意向は改善傾向にあるものの目標値は未達成となった。

宇治への愛着を醸成し、定住意向を高めるためには、市民と行政がともにまちづくりに取り組み、地域の担い手づくりを推進する必要がある。市民ニーズや地域ごとの特性を捉え、様々な主体が集う拠点や仕組みづくりに取り組むとともに、これらを担う人材の発掘・育成のため、小さなことからでもまちづくりに関わる場や機会の充実を図る。

(具体的な施策)

①市民参画・協働によるふるさと宇治創生事業

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 (年度)	達成状況					目標値 (年度)
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	
総合計画等の策定に係る市民懇談会等の参加団体数	団体	—	6	14	14	22		50 (累計) (R2~6)
生涯学習人材バンクの利用率	%	38.9 (H30)	14.1	22.5	50.0	42.2		52.0 (R6)
健康長寿サポーター登録者数 (年度末登録者数)	人	144 (H30)	170	194	214	256		300 (R6)
健康づくり・食育アライアンス加入団体数 (年度末加入団体数)	団体	—	62	73	86	97		100 (R6)

基本目標達成に向けた主な事業	
事業名	令和5年度事業結果
まちづくり活動支援事業	地域に対する興味・愛着を深めてもらうため、宇治市が認定する地区まちづくり協議会の活動内容や地域の写真を展示するうじまちパネル展を開催し、来場者との意見交換を行った。また、まち協交流会を開催し、地区まちづくり協議会間での情報及び課題の共有を行った。
中宇治市民協働推進拠点基本ビジョン策定事業	中宇治地域における市民協働推進拠点について「市民協働でつくるまちづくりの拠点ワークショップ」として市民等と共に考える機会の創出とニーズの把握等を目的に、事前勉強会とまちあるき、活動・場所・しくみをテーマとする全3回のワークショップを実施し、基本ビジョンを策定した。

中間総括
全庁的に市民協働を積極的に推進するため、組織の再編やプロジェクトチームの設置を行い、市職員に対し、市民協働の手法について研修等を行うとともに、地域コミュニティの活性化や地域の交流空間である「まちのリビング」の創出に取り組む団体を支援し、市民参画・協働によるまちづくりに取り組んだ。 引き続き、市民をはじめとする多様な主体と連携し、市民協働によるまちづくりを推進する。

<うじまちパネル展>



<市民協働でつくるまちづくりの拠点ワークショップ>

②誰もが活躍できる共生社会づくり事業

重要業績評価指標（KPI）		基準値 （年度）	達成状況					目標値 （年度）
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	
宇治鳳凰大学受講者数	人	619 (R1)	82	469	374	350		400 (R6)
生涯学習人材バンクの利用率	%	38.9 (H30)	14.1	22.5	50.0	42.2		52.0 (R6)
ここからチャレンジ相談件数	件	85 (H30)	99	166	243	323		450 (累計) (R2~6)
福祉施設利用者の一般就労への移行者数	人	19 (H30)	19	50	79	101		110 (累計) (R2~6)

基本目標達成に向けた主な事業	
事業名	令和5年度事業結果
障害者雇用促進の啓発	市役所1階ロビーにおいて市内の障害者福祉施設による販売や「オープンカフェうじ」の開催、市役所8階喫茶スペースでの毎週月・火・水「かむcomeカフェ」の開催により、障害者雇用の促進・啓発に努めるとともに、障害のある人の多様な働き方を推進した。
男女共同参画施策推進事業	さまざまな分野でチャレンジする女性を支援するため、月に2回「ここからチャレンジ相談」を実施した。また、起業に必要な情報交換やネットワーク・人脈づくりを目的とした「起業カフェyukichi」や、相談者のアウトプットの場である「ここからチャレンジマルシェ」を開催した。

中間総括
高齢者アカデミーの卒業生や障害者福祉施設による市役所8階での喫茶の運営や、JR宇治駅前における「ここからチャレンジマルシェ」の開催により、誰もが自分らしく活躍できる取組を推進した。 引き続き、多くの分野において、多様な主体が活躍できるよう事業を進めるとともに、市民の活躍の機会や交流機会の創出に努める。

③宇治への愛着醸成事業

重要業績評価指標（KPI）		基準値 (年度)	達成状況					目標値 (年度)
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	
魅力発信プラットフォーム延べ参加人数	人	39 (H30)	0	18	31	48		250 (累計) (R2~6)
市立小学校への歴史資料館出前授業実施数	校	16	12	9	10	11		22
	回	22 (H30)	38	27	37	31		66 (R6)
文化芸術振興基本計画策定		—	—	策定				策定 (R3)

基本目標達成に向けた主な事業	
事業名	令和5年度事業結果
未来をつくる食育推進事業	食生活を取り巻く状況が変化中、学校や地域を中心とした「食」を通じたコミュニケーションの場づくりや、次世代の健全な食生活の実践に向け、保育所や小学校での体験型の出張講座や地域で育てた野菜を使った料理教室を実施した。
環境教育充実事業	2050年のゼロカーボンシティ実現に向け、中心世代となる幼児から中学生への環境教育を実施した。学習内容については環境への配慮を身近に感じてもらうため、子どもたちの成長段階に応じた設定としたほか、体験型メニューを取り入れるなど工夫を行った。

中間総括
次世代を担う子どもたちに向けて、「ふるさと宇治」について探求的な学習を行う「宇治学」や食育、環境教育を行うことで、宇治への愛着の醸成とともに、子どもの生きる力を育む環境づくりに取り組んだ。 引き続き、子どもたちの宇治への愛着を醸成する事業に取り組むとともに、地域が主体の交流の場づくりを支援することにより、地域全体で宇治の魅力を再認識する機会の創出に取り組む必要がある。

<いちからつくる体験教室>



<小学生への環境教育>

④誰もが健康で生き生きと暮らせる宇治づくり推進事業

重要業績評価指標（KPI）		基準値 (年度)	達成状況					目標値 (年度)
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	
健康長寿サポーター登録者数 (年度末登録者数)	人	144 (H30)	170	194	214	256		300 (R6)
健康づくり・食育アライアンス加入団体数 (年度末加入団体数)	団体	—	62	73	86	97		100 (R6)
認知症あんしんサポーター養成講座受講者数 (年度末受講済者数)	人	16,984 (H30)	19,043	20,069	21,206	22,706		26,000 (R6)
市民スポーツまつり参加者数 (※)	人	16,000 (H30)	開催 中止	開催 中止	雨天 中止	雨天 中止		30,000 (R6)
コミュニケーションアプリ登録者数（年度末登録者数）	人	3,500 (H30)	7,889	13,318	16,347	19,342		30,000 (R7)

(※) 令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止

令和4・5年度は雨天のためスケート体験教室のみ実施

基本目標達成に向けた主な事業	
事業名	令和5年度事業結果
健康データ分析・地区診断事業	医療・介護・保健等のデータから、地域ごとの健康課題を分析し、地域健康かるてを作成した。また、分析結果をもとに槇島地域をモデル地域として選定し、対象地域の各種団体と健康課題を共有するとともに、地域のイベントに参加するなど、地域住民との顔の見える関係づくりを行った。
つなげる・ひろがるスポーツ振興事業	市民スポーツまつりは雨のため2年連続でスケート体験教室のみの実施となった。一方、地域の団体等と連携し、こどもスポーツフェスタや多世代交流スポーツフェスタを実施したことにより、子どもの運動機会や子育て世代を含めた多世代の交流機会を創出した。

中間総括
認知症や健康づくり・食育に関するアライアンスにおいて関連する各種取組の実施や様々な団体の交流機会の創出により、市民の健康意識の醸成や地域で活動する団体間の連携促進を行った。 今後もスポーツを通じた地域の活性化や、健康づくり・食育アライアンスを中心とした地域活動を通じて、健康づくりを支援する必要がある。

⑤多文化共生促進事業

重要業績評価指標（K P I）		基準値 （年度）	達成状況					目標値 （年度）
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	
行政・生活情報に係るコミュニケーション支援取組数	件	2 (H30)	4	5	8	11		10 (累計) (R6)

基本目標達成に向けた主な事業	
事業名	事業結果
コミュニティ放送広報活動事業	エフエム宇治放送の番組「宇治市探検」において、宇治市に住むベトナムの方に出演していただき、文化や言葉の紹介やベトナム語での市政情報の発信を行う「レッツ多文化共生！シンチャオ♪知りたい！触れたい！ベトナム文化」を放送した。
情報発信力強化事業	外国人住民が暮らしやすいまちづくりを進めるため、外国人住民とのコミュニケーション手段として有効な「やさしい日本語」の活用・普及促進に向けて職員を対象にやさしい日本語研修会を実施し、48人が受講した。

中間総括
市政だよりやごみの出し方、避難所看板の多言語化などにより、必要な情報を利用できるよう取り組みを進めるとともに、研修やイベント、ラジオ放送などを通じて多様な文化や価値観への相互理解の促進に努めた。 今後も外国人住民の増加が見込まれる中、引き続き、外国人が暮らしやすいまちづくりを推進する必要がある。

（３）『まちの魅力を高める都市基盤の整備』 ～人・物の交流から活力ある宇治を築く～

（目的）

今後の新名神高速道路の開通、ＪＲ奈良線の高速化・複線化第二期事業などによる交通環境の大きな変化に即し、さらに社会環境や人口構成の変化にも対応した公共交通機関による市内移動の利便性・安全性の向上も含めた都市基盤の整備は、人や物の交流を活発にし、まちの魅力を高める条件となる。また、通勤・通学者による昼間人口は、長期的に緩やかに上昇し、ベッドタウンと同時に働く場としての側面も徐々に強まっている。

市外から働きに来る人、観光に訪れる人など、様々な目的で本市を訪れる人（滞在人口）を増やし、人・物の交流や地域コミュニティの基盤強化により、まちの活性化を図る。

（数値目標）

数値目標	単位	基準値 (年)	達成状況					目標値 (年)
			R2	R3	R4	R5	R6	
滞在人口率（※１）	倍	0.86 (H30)	0.89	0.89	0.87	0.86*		0.93 (R6)
昼夜間人口比率（※２）	%	88.1 (H27)	87.8	—	—	—	—	90.0 (R2)

（※１）平日１４時の滞在人口÷夜間人口（国勢調査）

（※２）昼間人口（国勢調査）÷夜間人口（国勢調査）

*令和５年６月までの実績値

（中間総括）

ＪＲ奈良線高速化・複線化第二期事業の開業や、それに伴う駅のバリアフリー化及び駅前広場の整備を進め、利便性と安全性の向上を図った。また、都市計画マスタープランの改訂にあたり、地域ごとに実施したまちづくりオープンハウスや意見交換会において、市民等と将来のまちの姿を共有し、パートナーシップによる都市づくりを推進した。

一方で、数値目標である滞在人口率は減少傾向にあり、昼夜間人口比率も基準値を下回る状況となった。引き続き、滞在人口の増加に向け、観光客の滞在時間の延長や多様な働く場の創出に取り組む必要がある。

今後の新名神高速道路の全線開通により、新たな人・物の流れが生まれる機会を捉え、活力のある都市づくりを進めるとともに、市民・事業者とのパートナーシップのもと、誰もが暮らしやすい都市づくりに取り組む。

(具体的な施策)

①まち巡りを仕掛ける基盤づくり事業

重要業績評価指標 (K P I)		基準値 (年度)	達成状況					目標値 (年度)
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	
お茶と宇治のまち歴史公園 ミュージアムの来館者数	人	—	—	8,083	11,687	19,018		115,000 (R6)
1人あたりの平均観光滞在時間 (※)	—	3時間34分 (H28)	—	—	3時間30分	—		4時間10分 (R4)
無電柱化新規整備延長	m	—	0	190				190 (R6)

(※) 宇治市観光動向調査より

基本目標達成に向けた主な事業	
事業名	令和5年度事業結果
文化財指定推進事業	市内各所に所在する貴重な文化財の保護と活用のため、重要文化財松殿山荘修礼講堂などの保存修理や市指定文化財大幣神事を含めた17件に対し、補助を行った。
近鉄小倉駅周辺地区まちづくり基本計画策定事業	市内の代表的な商業集積地である近鉄小倉駅周辺地域の特徴を活かすとともに、ニンテンドーミュージアムの波及効果を取り込み、人を集める新たな魅力の創出と周遊観光の活性化につながるまちづくりを目指し、地権者や企業へのヒアリングを行うなど、まちづくりプランの検討を進めた。

中間総括
令和3年度に市道宇治228号線の無電柱化工事が完了し、宇治川周辺の伝統的な沿道景観との調和のとれたまちづくりを進めることができた。一方で歴史公園ミュージアムの来館者数は改善傾向となっているものの、目標値の達成に向けては厳しい状況となった。 小倉地域のニンテンドーミュージアムの開館を契機に、宇治市の観光の中心である中宇治地域と小倉地域をつなぐ取組を実施し、周遊観光の促進を図る。

<宇治228号線>



着工前



完成後

②人・物の交流の活性化事業

重要業績評価指標（KPI）		基準値 （年度）	達成状況					目標値 （年度）
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	
市内鉄道駅乗客数	万人	2,791 (H29)	2,174	2,273	2,440	集計中*		2,940 (R6)
主要バス停乗降客数	万人	404 (H29)	323	350	371	集計中*		404 (R6)
バリアフリー新法に基づく バリアフリー化済鉄道駅数	駅	11 (H30)	12	12	13	13		14 (R6)

*各公共交通機関へ照会中であり公表は令和7年夏を予定

基本目標達成に向けた主な事業	
事業名	令和5年度事業結果
地域公共交通活性化事業	市内各種イベントにおいて公共交通機関の利用促進に向けた啓発やお出かけマップの配布を行うとともに、小中学生を対象としたバスの乗り方教室を実施するなど公共交通の活性化を図った。また、明星町地区のりあい交通事業の活用により、路線バス運行を継続した。
主要駅、駅前広場及び周辺道路の整備事業	JR六地蔵駅の駅舎移転に伴い、駅前広場の再整備を実施したほか、駅周辺の交通利便性の向上のため、六地蔵33号線の道路改良工事、自動車歩行者専用道路整備を実施した。また、利用者の安全性の向上のため、近鉄小倉駅西側の歩道等整備やJR黄檗駅のバリアフリー化工事に取り組んだ。

中間総括
JR奈良線高速化・複線化第二期事業開業やそれに伴う主要駅のバリアフリー化、地域住民との協働による路線バスの運行、宇治徳洲会病院が運行する送迎車両を活用した高齢者の買い物移動支援など、移動の利便性の向上に向けて取組を推進した。 今後も公共交通の確保・利用促進に努めるとともに、持続可能な移動手段のあり方について検討を進める必要がある。

<JR六地蔵駅前広場>



<六地蔵地区自転車歩行者専用道路>



③豊かな市民生活を実現する社会基盤の整備事業

重要業績評価指標（KPI）		基準値 (年度)	達成状況					目標値 (年度)
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	
公共施設将来像の基本構想策定	—	—	—	策定				策定 (R3)
次期都市計画マスタープランの策定	—	—	—	—	策定			策定 (R3)
長寿命化対策橋梁数 (年度末長寿命化完了数)	橋	6 (H30)	13	15	16	17		17 (R5)
汚水処理人口普及率	%	96.3 (H30)	97.0	97.2	98.1	99.0		99.1 (R5)
中小河川等のBOD負荷量	kg/ 日	33.6 (H30)	測定 不可*	14.9	16.0	13.6		25.1 以下 (R5)

*河川の流水量が少なく測定不可であった

基本目標達成に向けた主な事業	
事業名	令和5年度事業結果
未来につなぐ都市づくりプラン策定事業	都市計画マスタープランをより具体的に進めるためのアクションプランとして位置づけ、策定に取り組んだ。策定にあたっては説明会やパブリックコメントの他、まちづくりオープンハウスとして宇治市内の商業施設等においてプランについてのパネル展示を行い、来場者との意見交換を行った。
長寿命化等公共施設アセットマネジメント推進事業	宇治市公共施設アセットマネジメント推進計画に基づく長寿命化改修工事に向け、生涯学習センター等の調査を実施するとともに、斎場や総合福祉会館などの設計業務を行った。

中間総括
令和3年度の策定を目標としていた都市計画マスタープランについては、新型コロナウイルス感染症の影響で意見交換会等の開催を延期したことにより、令和4年度の策定となったが、将来の都市づくりに関する方向性を示すことができた。 策定した都市計画マスタープランに基づき、将来のまちの発展につながる構想路線を見据えた道づくりの検討に着手するなど、引き続き計画的・効率的な道路等の整備や長寿命化に取り組む。

④地域コミュニティの活性化事業

重要業績評価指標（K P I）		基準値 （年度）	達成状況					目標値 （年度）
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	
地域コミュニティ推進シンポジウム及び地域懇談会の参加人数	人	120 (H30)	140	200	340	470		400 (累計) (R2~6)
市民参画・協働（ワークショップ手法等）職員研修の参加人数	人	—	30	130	200	300		350 (累計) (R2~6)
健康長寿サポーター登録者数 （年度末登録者数）	人	144 (H30)	170	194	214	256		300 (R6)
れもねいだー登録者数 （年度末登録者数）	人	107 (H30)	128	139	147	110		150 (R6)

基本目標達成に向けた主な事業	
事業名	事業結果
地域のつながり促進事業	人と人とのつながりが希薄化している中、地域のつながりの促進に向け、町内会・自治会をはじめ、市民活動団体等が連携した取組を対象として支援する地域コミュニティ活性化事業や、人々が集まるきっかけや継続したつながりを備えた交流空間の創出など、「人」と「空間」に着目した各種取組を行った。
自主防災組織育成事業補助金	地域における自主的な防災訓練及び防災知識の啓発活動などの継続に向けた支援として、町内会や自治会16団体に対して補助金を交付することにより、地域防災力の向上を図った。

中間総括
防災や健康づくりなど様々な観点から地域への関心を高め、地域のつながりを促進する取組や担い手の育成など、地域コミュニティの活性化に向けた各種取組を推進した。 町内会・自治会の加入率の低下や担い手不足が引き続き課題となる中、主体的な地域活動を推進するとともに、地域団体・NPO・事業者などの連携を促進し、協働による地域コミュニティの活性化を図る。

⑤地域の豊かさを維持・向上させる国土強靱化の推進事業

重要業績評価指標（K P I）		基準値 （年度）	達成状況					目標値 （年度）
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	
自主防災組織率	%	73.1 (H30)	74.7	75.2	75.4	76.2		79.0 (R6)
市有建築物の耐震化率	%	93.0 (H27)	98.6	—	—	100.0		100.0 (R7)
雨水地下貯留施設数 （年度末貯留施設数）	箇所	6 (H30)	7	7	8	9		12 (R6)

基本目標達成に向けた主な事業	
事業名	事業結果
災害時地域タイムライン作成支援事業	災害発生時にいつ、どこへ、どのように避難するかを定める「災害時地域タイムライン」の作成に向け、洪水浸水想定区域にある自主防災組織や町内会などへの支援を行った。また、若年層に向けた防災意識の啓発と地域防災力の向上を目的に防災シンポジウムを開催した。
耐震診断・耐震改修推進事業	既存住宅の耐震化を促進するため、防災フェア等防災関係のイベントにおいて、パネル展示やリーフレット・チラシ配布などの啓発活動を行った。また、旧耐震基準で設計されている木造住宅等の耐震診断及び耐震改修について、助成事業を実施した。

中間総括
自主防災組織率については目標未達成となっているものの、自主的な防災訓練等への支援だけでなく、タイムラインの作成に向けた職員派遣や若年層への啓発など、目標達成に向けて取組を推進した。また、市が取り組む市有建築物の耐震化率については目標値を達成した。 自然災害が激甚化・頻発化する中、引き続き、市民への防災意識の普及・啓発により、安全・安心なまちづくりの実現に向けて取組を推進する必要がある。

<防災シンポジウム>



<地域の防災訓練>



（４）『持続的に発展する地域経済の活力づくり』

～宇治に「しごと」と「ひと」の好循環をつくる～

（目的）

若年層の本市への移住・定住につなげていくためには、近隣での働く場の創出が重要であり、持続的に発展する地域経済を実現し、「しごと」と「ひと」の好循環をつくることにより、将来にわたって持続発展できる強い市内産業をつくり、多様な働く場を創出することにより、定住人口を確保し、市民の豊かな暮らしを実現する。

さらに、地域経済の活用づくりや多様な働く場を創出する側面においては、市内企業の発展や市外からの企業の受入・誘致は重要な課題であるため、産業戦略に基づいた取組を推進する。

（数値目標）

数値目標	単位	基準値 (年)	達成状況					目標値 (年)
			R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	
市内事業所数（※）	事業 所	5,413 (H28)	—	5,126	—	—	—	5,413 (R3)
市内従業者数（※）	人	54,794 (H28)	—	54,266	—	—	—	56,500 (R3)

（※）経済センサスより

（中間総括）

市内事業所数・従業員数が減少傾向にある中、新たな産業の創出に向けて産業交流拠点「うじらぼ」を開設し、多様な起業家の輩出を目指して様々なイベントを実施するとともに、円滑な事業承継を進めるため、セミナーや交流会を開催し、アトツギコミュニティの形成支援を行った。

また、市内産業の活性化のため、産業支援拠点「宇治NEXT」において市内事業者の課題やニーズを聞き取り、各種制度の紹介をはじめとした幅広い支援を実施した。

引き続き、事業所数の減少抑制のため、市内企業の発展支援や企業誘致など各種事業に取り組むとともに、人材不足などの課題解決に向けて生産性向上を目的としたDXの推進などの取組を検討する必要がある。

(具体的な施策)

①市内産業の進化・発展事業

重要業績評価指標 (K P I)		基準値 (年度)	達成状況					目標値 (年度)
指標	単位		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	
海外販路における取引数 (※)	社	16	27	36	36	32		25
	品目	220 (H30)	130	130	134	113		300 (R6)
企業支援数 (訪問等による支援数)	社	100 (H30)	88	186	210	165		150 (R6)
W E Bを活用した雇用・就労 支援 (アクセス数)	件	—	41,984	—				3,000 (R3)
農業に係る担い手の法人化経営 体数 (年度末経営体数)	件	6 (H30)	8	7	8	9		10 (R5)
担い手への農地利用集積率	%	29.3 (H30)	27.2	26.2	25.8	28.7		35.0 (R5)

(※) 宇治商工会議所が実施する販売開拓数

基本目標達成に向けた主な事業	
事業名	令和5年度事業結果
市内企業PR動画作成事業	WEBを活用した雇用・就労支援の一環として、市内製造業を取材し、求職者向けのプロモーション動画の作成を行うことにより、市内製造業の人材確保を支援した。作成した動画は各事業者のホームページで公開されたほか、企業説明の場などで活用されている。
中小企業事業承継支援事業	市内事業者の円滑な事業承継の促進による廃業件数の抑制と持続的な経営支援を目的に、家業の後継者・後継者候補を対象とした「アトツギらば LEADERS CAMP」を実施し、参加者同士の自発的な交流を通じたアトツギコミュニティの創出と活性化による成長支援を行った。

中間総括
新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の一部について実施が困難な状況になったため、海外販路における取引品目数は基準値を下回ったものの、取引社数や企業支援数、WEBを活用した雇用・就労支援については目標達成となった。農業に関する指標についてはどちらも未達成となっており、引き続き新たな担い手の確保に取り組むとともに、農業経営の安定化や効率化への支援を行う必要がある。

②交流連携の強化事業

重要業績評価指標（K P I）		基準値 (年度)	達成状況					目標値 (年度)
指標	単位		R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	
農商工が連携した新商品 開発等への支援件数	件	—	0	1	1	1		6 (累計) (R2~6)
異業種交流会の開催	回	—	2	7	10	15		14 (累計) (R2~6)
製造業の情報発信数	社	—	28	83	137	186		230 (累計) (R2~6)

基本目標達成に向けた主な事業	
事業名	令和5年度事業結果
農業情報発信事業	市内産農産物の情報発信・販路拡大支援として市内農業者と飲食業などの事業者の対面方式による「農業者×市内事業者マッチング商談会」を開催した。宇治市内で米や野菜などを育てる農業者8名と市内の飲食に関する事業者11名が参加し、2件のマッチングにつながった。
中小企業情報発信事業	市内製造業の情報発信による販路拡大や雇用の確保を目的とし、工場見学ツアーの実施やものづくり企業によるワークショップなどを行うとともに、「2024宇治市ものづくり企業ガイドブック」を作成し、近畿圏内の製造業者等に配布することで市内製造業を幅広くPRした。

中間総括
市内事業者間の交流促進による販路拡大や新たな価値の創出に向け、セミナーや交流会を開催し、事業者同士のマッチングを支援するとともに、理系大学研究室との連携によるセミナーや意見交換会の開催により、市内事業者のイノベーション促進を図った。事業を通じて実際にマッチングにつながった事例もあり、引き続き、産学連携や事業者間の交流促進による新たな商品や技術開発、取引の拡大に努める。

③新たな産業創出事業

重要業績評価指標（KPI）		基準値 (年度)	達成状況					目標値 (年度)
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	
新たな起業拠点の整備	箇所	—	1	—				1以上 (累計) (R2~3)
創業支援補助件数	件	7 (H30)	6	19	31	41		43 (累計) (R2~6)
起業ニーズ掘り起しのための 創業塾等の開催数	回	—	3	19	32	56		40 (累計) (R2~6)

基本目標達成に向けた主な事業	
事業名	令和5年度事業結果
中小企業交流促進事業	事業者間の交流・連携強化による新たな価値の創出に向け、セミナーや交流会を開催した。また、起業家育成プログラムとして起業前・起業直後の段階における機運醸成セミナー「Uji Local Venture Meet-UP」を開催し、ローカルビジネスに取り組む新たな担い手の育成・交流促進を図った。
こども未来キャンパス事業	小中学生を対象とし、社会とつながる体験を通じて今後多様な働き方を選択し、挑戦できるようになることを目指す「宇治市こども未来キャンパス」と高校生・大学生を対象とし、地域と関わりながら課題解決に向けた事業を具現化する「宇治市未来キャンパス」を実施した。

中間総括
新たな産業の創出や企業に対する支援を実施するため、産業交流拠点「うじらぼ」を開設し、コワーキングスペースとして活用するとともに、市内事業者の交流を促進する様々なイベントの開催や子ども向けの起業スクールの実施などの取組を推進した。 引き続き、時代のニーズに合わせた多様な起業家の輩出による担い手の確保や企業誘致などによる新たな産業の創出に取り組む必要がある。

<Uji Local Venture Meet-UP>



<こども未来キャンパス>

（５）『若い世代の就労・結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり』

～子どもが輝く未来の宇治を築く～

（目的）

子育て世代の本市への移住・定住につなげていくためには、宇治で結婚・出産・子育てをしたいと思えるイメージの形成とそれらの実現に向けた支援及び環境づくりにより、住みたい、住み続けたいまちになることが必要である。結婚から安心して子どもを産み育てられる切れ目のない支援と地域で子どもを見守り交流できる環境づくりなど、子育て世代のニーズを把握する中で、その希望をかなえるまちを実現するとともに、次代のまちづくりを担う子どもたちが、宇治で子育てに夢を持ち、家庭を築き、子どもを産み育てたいと思えるまちを実現する。

また、宇治の未来を担う子どもを育むため、学力向上に向けた取組など、教育・家庭環境のより一層の充実を図る。

（数値目標）

数値目標	単位	基準値 (年度)	達成状況					目標値 (年度)
			R2	R3	R4	R5	R6	
出生数	人	6,514 (H26～30年)	1,118	2,216	3,223	4,183		7,500 (累計) (R2～6年)
子育てしやすい環境や支援への満足度（※）	%	22.9 (H30)	—	—	—	19.9		30.0 (R5)

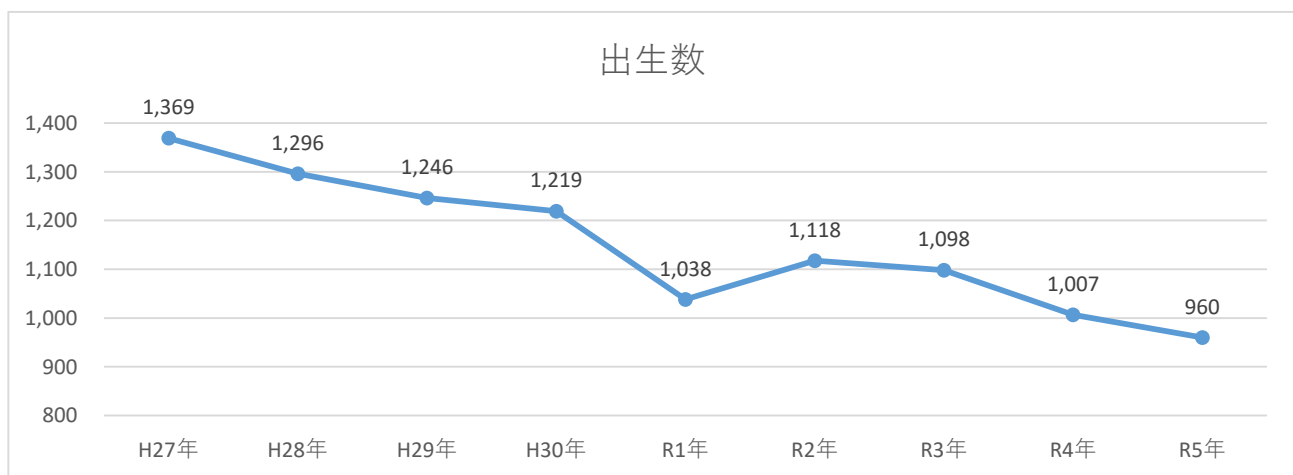
（※）子ども・子育て支援に関するニーズ調査より

（中間総括）

子育てにやさしいまちの実現に向け、妊娠から出産・子育てまでの切れ目のない支援や子育て世帯が安心して出かけられる環境整備などの各種事業を推進してきたが、出生数は令和2年以降減少傾向にあり、令和5年には1,000人を切るなど、目標値の達成に向けては厳しい状況となった。

一方で、創生総合戦略策定以降の社会動態では0～17歳の転入超過が続いていることから、子育て世帯に向けた施策については一定効果が出ているものと推測しており、今後も子育て世帯のニーズを把握し、効果的な取組を検討する必要がある。

引き続き、結婚・出産・子育てに関する若者の不安を解消するため、就労支援や雇用創出に向けた取組を実施するとともに、子育てにやさしい風土づくりをはじめ、地域や社会で支え合う子育てにやさしいまちづくりを推進する必要がある。



(具体的な施策)

①若い世代の就労支援事業

重要業績評価指標 (K P I)		基準値 (年度)	達成状況					目標値 (年度)
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	
20歳代後半から30歳代前半の就業率 (※)	%	74.6 (H27年)	69.1	—	—	—	—	80.0 (R2年)
大学・大学院・短大卒業予定者及び既卒者対象の製造業合同企業説明会の来場者数	人	37 (H30)	48	23	26	14		50 (R6)
奨学資金返還支援者数	人	—	50	92	130	163		250 (累計) (R2~6)

(※) 25歳から34歳の就業者 (国勢調査) ÷ 25歳から34歳の人数 (国勢調査)

基本目標達成に向けた主な事業	
事業名	令和5年度事業結果
中小企業人材確保支援事業	宇治市内の中小企業の人材確保を支援するため、京都産業会館ホールにおいて宇治市主催の「宇治市ものづくり企業合同企業説明会」を開催し、求職者とのマッチングの機会を提供した。20社が参加し、14人の求職者が来場したが、採用にはつながらなかった。

中間総括
就職活動の早期化や売り手市場の状況下で、対面式の合同説明会の来場者数の減少が課題となっている。一方で、若い世代の就業率も基準値を下回る結果となっており、働く場所としての市内事業者の認知度を高めるための情報発信の強化に取り組むとともに、地域で働きたい人とのマッチング支援に取り組む必要がある。

②結婚・出産支援事業

重要業績評価指標（KPI）		基準値 （年度）	達成状況					目標値 （年度）
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	
出産しやすい環境や支援への満足度（※1）	%	21.5 (H30)	—	—	—	19.2		30.0 (R5)
産後ケア事業の利用者数	人	宿泊型 —	8	20	13	26		20
		訪問型 —	39	64	53	58		65
		日帰り型 —	20	37	43	51		15 (R6)
妊婦面談率（※2）	%	100.0 (H30)	99.9	99.6	99.9	99.9		100.0 (R6)
妊婦歯科健診受診率	%	32.9 (H30)	31.0	34.5	37.4	34.8		65.0 (R5)

（※1）子ども・子育て支援に関するニーズ調査より

（※2）妊婦面談数÷妊娠届出数

基本目標達成に向けた主な事業	
事業名	事業結果
出産・子育てあんしんサポート事業	妊娠期から出産・子育てまでを一体的に支援するため、妊娠届提出時・妊娠8か月時・出生後において継続して面談を実施する伴走型相談支援及び出産・子育てあんしんサポート給付金等の支給による経済的支援を行った。
産後ケア事業	産後において支援を必要とする母子に対しての心身のケアや育児支援等、母子の健康増進のため、宿泊型・日帰り型・訪問型の3種の支援を実施した。令和5年度より、多胎児の保護者負担軽減のため、乳児数に応じて利用日数を増加し、健やかな育児ができるよう支援した。

中間総括
出産後の母親の孤立感の解消や子どもの健やかな成長支援に向けて、妊娠期から母親に寄り添った相談支援を実施するとともに、産後においても必要な支援を実施できるよう取組を推進した。 出生数の増加に向け、引き続き、宇治で出産・子育てしたいと思えるイメージの形成と安心して出産できる環境づくりに取り組む必要がある。

③子育て支援環境充実事業

重要業績評価指標（KPI）		基準値 （年度）	達成状況					目標値 （年度）
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	
子育てをする上で気軽に相談できる人や場所がある（ある）割合（※） （保護者の割合）	%	就学前児童	—	—	—	90.8		95.0
		92.4				85.6		90.0
		小学生						
		87.9				82.5		85.0 (R5)
		中高生等						
		84.3 (H30)						
待機児童数（国定義後）	人	0 (H30)	0	0	0	0		0 (R6)

（※）子ども・子育て支援に関するニーズ調査より

基本目標達成に向けた主な事業	
事業名	事業結果
地域子育て支援拠点事業	市内10か所の子育て支援拠点において、産前から就学前の子どもとその保護者が気軽に集い、交流する場を提供するとともに、子育てに関する相談や情報提供を行った。また、よくある質問については子育て情報誌に反映するなど、子育てに関する情報発信の充実に取り組んだ。
子育ておうえん環境整備事業	乳幼児がいる家庭でも気軽に外出し、安心して過ごせるよう、モデルエリアである中宇治地域、小倉地域、木幡・黄檗地域の店舗や団体を対象に、授乳室や子ども用トイレの設置、子育て世代イベントの開催などに対する支援を行った。

中間総括
子育て世代が安心して出産・育児を行うことができるよう、地域で楽しみながら子育てができる環境づくりに向け、親子の交流の場づくりや情報発信の充実、出かけやすい環境整備などを推進した。 引き続き、共働き世帯やひとり親世帯の増加により多様化する保育ニーズへの対応や仕事と子育てを両立できる環境づくりに取り組む必要がある。

<「うちの子育て宇治」トークセッション>



<宇治子育て情報誌>



④学習環境等充実事業

重要業績評価指標（KPI）		基準値 （年度）	達成状況					目標値 （年度）
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	
家庭学習の定着度 （授業以外の勉強が平日1日 当たり30分に満たない子ども の割合）（※1）	%	小学6年生 19.9 （全国平均） 13.0	—	小学6年生 19.9 （全国平均） 13.0	小学6年生 25.0 （全国平均） 14.7	小学6年生 23.2 （全国平均） 16.0		小学6年生 13.0以下
		中学3年生 15.9 （全国平均） 9.9 （R3）		中学3年生 15.9 （全国平均） 9.9	中学3年生 20.1 （全国平均） 13.4	中学3年生 21.4 （全国平均） 15.9		中学1年生 9.9以下 （R6）
将来の夢がある子どもの割合 （※2）	%	小学生 71.5	—	—	—	66.9		小学生 75.0
		中高生 49.7 （H30）				42.8		中高生 50.0 （R5）
学習者用PC・タブレット端 末の整備率	人/台	12.1 （H30）	1	1	1	1		1 （R5）
学校図書館図書標準に対する 図書整備率が達成している小 学校・中学校数	校	小学校 20/22	22/22	22/22	22/22	22/22		全校達成 （R6）
		中学校 3/10 （H30）	6/10	6/10	8/10	9/10		
学校施設長寿命化計画の策定		—	策定					策定 （R2）

（※1）全国学力・学習状況調査の項目変更により評価指標変更

（※2）子ども・子育て支援に関するニーズ調査より

基本目標達成に向けた主な事業	
事業名	事業結果
学びのステップアップ事業	小学校2・3年生を対象に学力調査を実施し、調査結果の分析データを活用することで強みと弱みを把握して授業の改善に生かすとともに、日常の学習記録データと合わせた分析を行い、基礎学力の定着と家庭での学習習慣の確立を図った。
ICT授業アドバイザー設置事業	教員のICT活用を支援し、学校・教員間でのICT活用状況の差を解消するため、ICT利活用についての専門的な知識を有するICT授業アドバイザーを設置した。月に2回、各校を訪問し、ICTの活用事例の紹介や効果的な活用方法の提案などを行った。

中間総括
1人に1台、学習用タブレット端末を整備するとともに、ICT授業アドバイザーを配置し、効果的なICTの活用に向け、取組を推進した。また、学力調査結果をAIドリルと連携し、個別最適な学習課題に取り組むことにより、基礎学力の定着を図った。 引き続き、地域・家庭との連携により、教育・学習環境の充実に取り組む必要がある。

⑤切れ目のない連携教育推進事業

重要業績評価指標（K P I）		基準値 （年度）	達成状況					目標値 （年度）
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	
中学校入学に対する不安割合 （中学1年生は「今、学習や生活について不安や悩みがある」割合）（※）	%	小学6年生 50.4	—	—	小学6年生 45.2	小学6年生 54.0		小学6年生 47.0以下
		中学1年生 28.0 （H30）			—	—		中学1年生 25.2以下 （R6）
通常の学級に在籍する発達障害を含む障害のある児童生徒に対する個別の教育指導計画	%	75.8 （H30）	72.5	76.5	77.7	78.8		100.0 （R6）

（※）小中一貫教育に係る意識等調査より

基本目標達成に向けた主な事業	
事業名	事業結果
小中一貫教育推進事業	小中一貫教育を推進するため、ラーニングコーディネーター・教科連携教員を全中学校ブロックに配置し、系統的・継続的指導の充実を図った。また、「宇治市小中一貫教育推進協議会」による取組状況の進行管理を行った。
多様な学びの場創造事業	障害の有無に関わらず共に学ぶ「インクルーシブ教育システム」の構築を目指し、障害のある子どもへの適切な支援と学びの場の保障のため、モデル校に特別支援教育について専門性の高いインクルーシブサポーターを配置し、きめ細やかな支援体制の構築などについて研究を進めた。

中間総括
小中一貫教育の特色ある教育活動として「宇治学」を実施するなど義務教育9年間の学びの連続性を意識した系統的・継続的な指導による学力定着・向上に向けた取組を推進することができた。 今後は令和8年度の開校に向け、西小倉地域小中一貫校の整備を進めるとともに、一人ひとりの多様性に配慮したインクルーシブな教育を推進する必要がある。

⑥地域等協働子育て環境充実事業

重要業績評価指標（KPI）		基準値 （年度）	達成状況					目標値 （年度）
指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	
子どもが自分から近所の人にあいさつする割合（※1）	%	小学生	—	—	—	69.5		小学生
		76.5				66.5		80.0
		中高生等						中高生等
		76.6 (H30)						80.0 (R5)
青少年育成協議会のジュニアリーダーとして活動した人数	人	12 (H30)	活動 中止*	活動 中止*	11	13		20以上 (R6)
放課後子ども教室延べ参加人数	人	4,157 (H30)	3,746	2,601	4,110	4,023		6,000以上 (R6)
各中学校ブロックで開催する地域懇談会の平均参加人数	人	90 (H30)	開催 中止*	開催 中止*	開催 中止*	38		100以上 (R6)
児童生徒が地域活動に参加した割合（※2）	%	小学校	—	—	小学6年生	小学6年生		小学6年生
		60.0			50.4	51.0		58.1以上
		中学校			中学3年生	中学3年生		中学3年生
		30.9 (H30)			31.8	29.8		43.7以上 (R6)

（※1）子ども・子育て支援に関するニーズ調査より

（※2）全国学力・学習状況調査より

*新型コロナウイルス感染症拡大防止のため活動等を中止した

基本目標達成に向けた主な事業	
事業名	事業結果
地域学校協働活動推進事業	全宇治市立小中学校において、学校運営協議会と地域学校協働活動を一体的に推進するコミュニティ・スクールを導入し、登下校の見守りや学習支援、防災シンポジウムでの発表など様々な取組を行い、「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」を目指し、地域と連携した。
地域安全・安心見守り事業	日常生活の中で防犯活動への参加機会を増やす「ながら」防犯の推進のため、パトラン京都山城チームとの連携や商業施設での啓発活動、事業者の協力による社用車へのマグネットシートの貼付などを行い、市民との協働による地域や子どもの見守り活動に取り組んだ。

中間総括
令和4年度から全市立小中学校においてコミュニティ・スクールを導入し、身近な地域住民が子どもを見守り支える仕組みを構築することができた。また「ながら防犯」の推進により、日常生活の中での防犯活動への参加機会を増やすことで、地域防犯力の向上に向けた取組を推進した。引き続き、家庭・学校・地域の連携の強化と協働の推進に取り組む必要がある。

6. 国の地方創生関係交付金を活用した事業

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）

※補助率1/2

令和5年度事業

あなたとともに「心やすらぐ地域の暮らし」を ～みんなが主役の地域振興事業～（令和3年度～令和7年度）

（事業概要）

京都府全域において取り組んできた観光地域づくりのこれまでの成果を、産業振興・雇用創出なども含めた地域振興につなげるため、観光を入口とした圏域内の関係人口の創出拡大や地域の活力づくりに取り組む。

（数値目標）

重要業績評価指標（KPI）		基準値 （年度）	達成状況				目標値 （年度）
指標	単位		R3	R4	R5	R6	
観光客の宇治市満足度（※1） （飲食・お土産・景観等）	%	55.0～ 93.0 (H28)	—	63.5～ 94.5	—		全て85.0 以上 (R4)
観光客のリピーター割合 （※1）	%	56.3 (H28)	—	59.4	—		70.0 (R4)
市民の宇治への愛着度 （※2）	%	73.2 (R1)	—	72.9	69.6		90.0 (R6)
市民の定住意向 （※2）	%	47.9 (R1)	—	46.3	50.6		70.0 (R6)

（※1）宇治市観光動向調査より

（※2）定住に関するアンケート調査より

（主な事業）

事業名	事業費（実績） （千円）	財源内訳	
		交付金	その他
お茶の京都DMO協議会負担金	14,814	7,407	7,407
まちあるきガイドツアー事業費	118	59	59
観光活性化事業補助金	1,000	500	500
放ち鶴飼事業補助金	3,300	1,650	1,650
高品質茶ブランド力強化事業費	5,286	2,643	2,643
茶・茶園品評会出品奨励費	6,194	3,097	3,097
市内産宇治茶PR事業費	1,505	753	752
歴史まちづくりサミット開催費	2,064	1,032	1,032
天ヶ瀬ダムかわまちづくり推進費	4,556	2,278	2,278
自主防災組織育成事業補助金	632	316	316
地域のつながり促進事業費	2,185	1,093	1,092
地域安全・安心見守り事業費	6,814	3,406	3,408
地域福祉活動応援事業費	1,047	523	524
地域ボランティア等担い手育成事業費	1,000	500	500
山間地域移動支援事業費	300	150	150
高齢者免許返納支援事業費	800	400	400

高齢者買物移動支援事業費	206	103	103
働きやすい農業支援事業費	116	58	58
農業用施設等導入チャレンジ事業費	1,711	856	855
空き家対策事業費	173	87	86
空き家利活用推進事業費	127	63	64
合計	53,948	26,974	26,974

(評価・課題)

宇治茶や鶴飼など宇治の伝統ある資源の活用や新たな都市整備による観光資源の創出に取り組むとともに、市内への移住・定住の促進に向け、空き家の活用への補助を行った。また、地域内での助け合いや地域活動への支援を行い、住みよいまちの実現に向けて取組を推進することができた。

引き続き、宇治の魅力を広く発信するとともに、地域の活性化に向けた取組を進める必要がある。

「子育て、子育てにやさしい」京都創生プロジェクト事業（令和４～７年度）

（事業概要）

子育て世代の外出支援とタイアップした商店街の活性化支援や、課題である子どもの外遊び環境へアプローチする体験・交流の場の創出、子育て世代の仕事づくり等の拠点群を集中的に形成するとともに、地元の住民・企業と協働し、地域全体で子どもを見守り、子育てを支援する体制整備により、子育てにやさしいまちづくりを進める。

（数値目標）

重要業績評価指標（KPI）		基準値 (年度)	達成状況			目標値 (年度)
指標	単位		R4	R5	R6	
出生数	人	6,514 (H26～30年)	3,223 (R2～4年)	4,183 (R2～5年)		7,500 (累計) (R2～6年)
子育てしやすい環境や支援への満足度（※）	%	22.9 (H30)	—	19.9		30.0 (R5)

（※）子ども・子育て支援に関するニーズ調査より

（主な事業）

事業名	事業費（実績） (千円)	財源内訳	
		交付金	その他
地域のつながり促進事業費	1,263	631	632
こども未来キャンパス事業費	13,252	6,626	6,626
子育ておうえん環境整備事業費	4,121	2,060	2,061
宇治茶ふれあい事業費	817	409	408
空き家活用促進まちづくり支援事業費	1,000	500	500
公園でつなぐ子育てにやさしいまち創出事業費	10,286	5,143	5,143
合計	30,739	15,369	15,370

（評価・課題）

子育て世代の外出支援や子どもの外遊びを促進する体験・交流の場の創出のため、地域の店舗や空き家を活用した多世代が集まりやすい空間創出への補助を行うとともに、安心して遊べる公園の整備と親子を対象とした体操教室などのイベントの実施など、子育てしやすい環境整備を推進することができた。

引き続き、地域で子どもを見守り、子育てを支援する体制を整備し、子育てにやさしいまちの実現に向けて取り組む必要がある。

文化庁京都移転を契機とした京都からの文化創造・発信事業（令和５～７年度）

（事業概要）

文化庁京都移転や大阪・関西万博の開催等、国内外から注目が集まる機会が続く中、伝統と最先端の文化が共存する多様性と寛容性のある文化を土台として、多様な魅力の向上による観光誘客、うるおいや活力があり、豊かさを感じられる社会の実現、地域文化の担い手の増加に取り組むことで、文化の力でにぎわいのある地域づくりを目指す。

（数値目標）

重要業績評価指標（ＫＰＩ）		基準値 （年度）	達成状況			目標値 （年度）
指標	単位		R5	R6	R7	
市民の宇治への愛着度	%	2,459 (R1)	69.6			2,915 (R4)
文化芸術振興基本計画策定		— (R1)	令和3年度策定済み			策定 (R3)

（主な事業）

事業名	事業費（実績） （千円）	財源内訳	
		交付金	その他
紫式部文学賞受賞費	8,993	4,496	4,497
宇治十帖スタンプラリー開催費	8,619	4,310	4,309
文化芸術活動動画配信事業費	1,310	655	655
高校生文化芸術祭典事業費	2,740	1,370	1,370
五感で楽しむ古の文化講座開催費	536	268	268
つむぐみらい文化芸術活動支援事業費	244	122	122
文化の都・京都プロジェクトin宇治事業費	1,600	800	800
合計	24,042	12,021	12,021

（評価・課題）

文化芸術振興の基盤づくりのため、文化芸術団体による学校や福祉施設等への出張レッスンなど地域連携の取組に支援を行うとともに、若い世代の発表の機会や交流の場を提供することで次世代の文化芸術の担い手の育成に向け、取組を推進することができた。

引き続き、文化芸術に触れる機会の創出と次世代の担い手の育成に向け、取組を進める必要がある。

宇治市・大津市間における平安文化観光推進事業（令和５～７年度）

（事業概要）

宇治市及び大津市両市において大河ドラマ「光る君へ」の放映や北陸新幹線の開通、大阪・関西万博の開催などを契機とし、平安文化をテーマとした広域的な観光事業を展開することで、まちの魅力を発信し、国内外からの観光客をはじめとした様々な目的で両市を訪れる人を増やし、地域事業者の収益の向上や新たな雇用の創出などにより地域経済の活性化を目指す。

（数値目標）

重要業績評価指標（KPI）		基準値 (年度)	達成状況			目標値 (年度)
指標	単位		R5	R6	R7	
宇治市へ訪れた観光客の飲食店利用率	%	81.0 (R4)	—			90.0 (R7)
京都を訪れた観光客の宇治市への来訪率	%	42.0 (R4)	—			60.0 (R7)

（主な事業）

事業名	事業費（実績） (千円)	財源内訳	
		交付金	その他
紫式部のまちにぎわい創出事業費	44,555	22,277	22,278
紫式部のまち魅力発信プロモーション事業費	48,593	24,297	24,296
源氏物語ミュージアム特別企画展示費	1,070	535	535
源氏物語ミュージアム広報活動費	1,144	572	572
歴史文化体験事業費	2,558	1,279	1,279
合計	97,920	48,960	48,960

（評価・課題）

大津市との連携による平安文化観光ルートの形成による話題性の創出やPR力の強化を図り、京都観光を目的とする来訪者への認知度向上に向け取組を推進した。

引き続き、認知度の向上に取り組むとともに、観光統計データの活用による市場ニーズに応じた事業の見直しを行い、観光消費額の増加に向けて取組を進める必要がある。

7. 重要業績評価指標（KPI）目標値修正一覧

①当初目標値達成

当初目標値を達成したため、目標値の上方修正を行った。

重要業績評価指標（KPI）		基準値	当初目標値	達成時の実績値	修正後目標値	掲載ページ
指標	単位	(年度)	(年度)	(達成年度)	(年度)	
地域ブランド調査 魅力度全国ランキング	位	35 (R1)	29 (R6)	27 (R3)	25 (R6)	8
ふるさと応援寄附件数	件	3,410 (H30)	4,900 (R6)	10,839 (R3)	14,700 (R6)	8
生涯人材バンクの利用率	%	38.9 (H30)	38.9 (R3)	50.0 (R4)	52.0 (R6)	15、16
コミュニケーションアプリ登録者数（年度末登録者数）	人	3,500 (H30)	9,300 (R6)	13,318 (R3)	30,000 (R7)	18
行政・生活情報に係るコミュニケーション支援取組数	件	2 (H30)	7 (R6)	8 (R4)	10 (累計) (R6)	19
長寿命化対策橋梁数 (年度末長寿命化完了数)	橋	6 (H30)	15 (R5)	15 (R3)	17 (R5)	23
市民参画・協働（ワークショップ手法等）職員研修の参加人数	人	— —	150 (累計) (R2～6)	200 (累計) (R2～4)	350 (累計) (R2～6)	24
異業種交流会の開催	回	—	4 (累計) (R2～3)	7 (累計) (R2～3)	14 (累計) (R2～6)	28
製造業の情報発信数	社	—	60 (累計) (R2～3)	83 (累計) (R2～3)	230 (累計) (R2～6)	28
創業支援補助件数	件	7 (H30)	7 (累計) (R2～3)	19 (累計) (R2～3)	43 (累計) (R2～6)	29
企業ニーズ掘り起しのための創業塾等の開催数	回	—	8 (累計) (R2～3)	19 (累計) (R2～3)	40 (累計) (R2～6)	29

②当初目標年度到達

関連計画の改定や状況の変化に応じて、目標値等の修正を行った。

重要業績評価指標（K P I）		基準値	当初目標値	修正時の実績値	修正後目標値	掲載ページ
指標	単位	(年度)	(年度)	(年度)	(年度)	
重要文化的景観地区選定面積 (年度末選定面積)	ha	228.5 (H30)	520.0 (R4)	228.5 (R4)	546.7 (R6)	13
宇治鳳凰大学受講者数	人	619 (R1)	650 (R3)	469 (R3)	400 (R6)	16
雨水地下貯留施設数 (年度末貯留施設数)	箇所	6 (H30)	9 (R3)	9 (R5)	12 (R6)	25
農商工が連携した新商品開発 等への支援件数	件	—	4 (R2～3)	1 (R3)	6 (R2～6)	28
児童生徒が地域活動に参加した割合	%	小学校 60.0	小学6年生 65.0以上	— (R3)	小学6年生 58.1以上	36
		中学校 30.9 (H30)	中学1年生 39.7以上 (R3)		中学3年生 43.7以上 (R6)	

③指標の変更

対象者を拡充し、高校生に限らない多様な主体によるプラットフォームにおいて、効果的な魅力発信を推進することから指標の修正を行った。

重要業績評価指標（KPI）		基準値	当初目標値	修正時の実績値	修正後目標値	掲載ページ
指標	単位	(年度)	(年度)	R2	(年度)	
高校生版魅力発信プラットフォーム延べ参加人数 ↓ 魅力発信プラットフォーム延べ参加人数	人	39 (H30)	250 (累計) (R2~6)	0		8、17

特定の公共施設の構想を示すものではなく、公共施設の将来像を示すという本来の事業主旨にあわせ、事業名称を変更したことから指標についても修正を行った。

重要業績評価指標（KPI）		基準値	当初目標値	修正時の実績値	修正後目標値	掲載ページ
指標	単位	(年度)	(年度)	R2	(年度)	
未来型公共施設構想策定 ↓ 公共施設将来像の基本構想策定	—	—	策定 (R3年度)	—		23

指標としていた文部科学省「全国学力・学習状況調査」の項目変更により、指標・基準値・目標値の変更を行った。

重要業績評価指標（KPI）		基準値	当初目標値	修正時の実績値	修正後目標値	掲載ページ
指標	単位	(年度)	(年度)	R3	(年度)	
(旧) 家庭学習の定着度 (授業以外に1時間以上勉強している割合)	%	小学6年生 56.0 (全国平均) 66.2 中学3年生 66.1 (全国平均) 70.6 (H30)	全国平均以上 (R3)	小学6年生 55.8 (全国平均) 62.5 中学3年生 69.6 (全国平均) 75.9 (R3)		34



(新) 家庭学習の定着度 (授業以外の勉強が平日1日当たり30分に満たない子どもの割合)	%	小学6年生 19.9 (全国平均) 13.0 中学3年生 15.9 (全国平均) 9.9 (R3)	— —	— —	小学6年生 13.0以下 中学1年生 9.9以下 (R6)	34
---	---	---	------------	------------	---	----

定住・転入・転出に関するアンケート調査について

目次

(1) 調査の目的.....	1
(2) 調査方法.....	1
(3) 回収結果.....	1
(4) 調査結果の注意点.....	1
(5) アンケート結果による分析.....	2

定住に関するアンケート調査結果

1. 仕事について.....	9
2. 結婚について.....	13
3. 出産・子育てについて.....	16
4. デジタルの活用について.....	18
5. 宇治市の行政・市民参加について.....	24
6. 宇治市の暮らしやすさについて.....	30
7. これからのまちづくりについて.....	41
8. 回答者属性.....	46

転入に関するアンケート調査結果..... 50

転出に関するアンケート調査結果..... 56

(1) 調査の目的

次期創生総合戦略の策定にあたって、就職や結婚・出産などの世帯構成の変化など、社会移動のきっかけが多いと考えられる世代に対し、これまでの定住促進施策の効果測定や定住促進に寄与する取組の検討材料の収集等を目的とし、定住者・転入者・転出者それぞれを対象とした調査を実施した。

(2) 調査方法

調査対象	定住者	市内在住の 18 歳から 49 歳 (3,000 人)
	転入者	令和 2 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日の期間に転入した 18 歳以上 (1,500 人)
	転出者	令和 2 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日の期間に転出した 18 歳以上 (1,500 人)
抽出方法	住民基本台帳より無作為抽出	
配布方法	郵送	
回答方法	調査票への記入後返送または WEB から回答	
調査期間	令和 6 年 6 月 19 日～令和 6 年 7 月 5 日	

(3) 回収結果

	調査票配布数	有効回収票数	うち WEB 回答	有効回収率
定住者	3,000	814	305	27.1%
転入者	1,500	538	217	35.9%
転出者	1,500	367	141	24.5%

(4) 調査結果の注意点

- ・ 回答は、各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（％）で示してある。小数点第 2 位を四捨五入しているため、比率の合計が 100.0％を前後することがある。
- ・ 複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が 100.0％を超える。なお、複数回答を求める質問については、図表上に「(複数回答)」と表記している。
- ・ クロス集計では、「無回答・無効」を省略しているため、各項目の合計値とは一致しない。

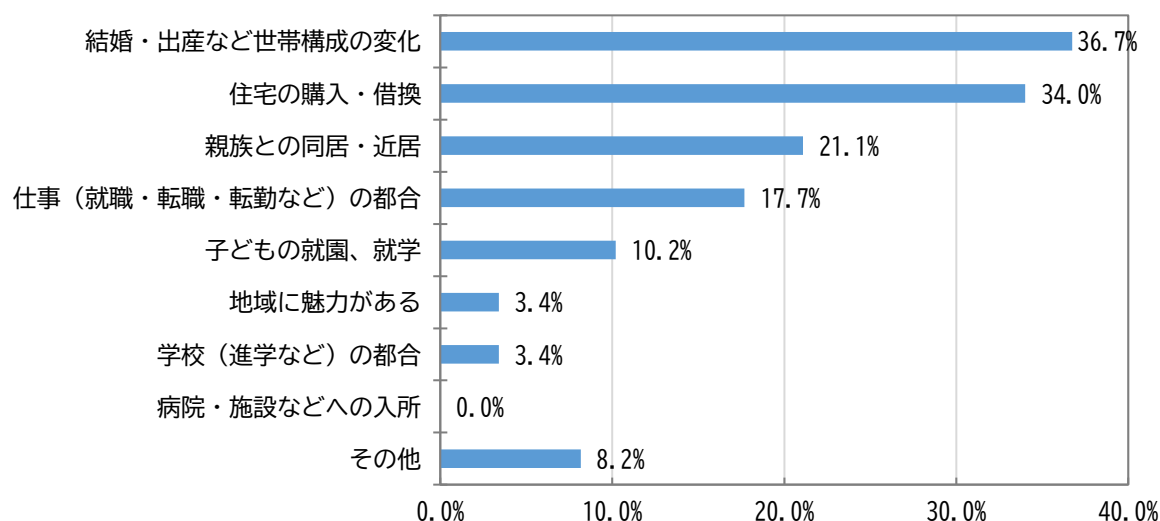
(5) アンケート結果による分析

① 0～17 歳の社会増の要因（子のいる 20～40 歳代の回答状況）

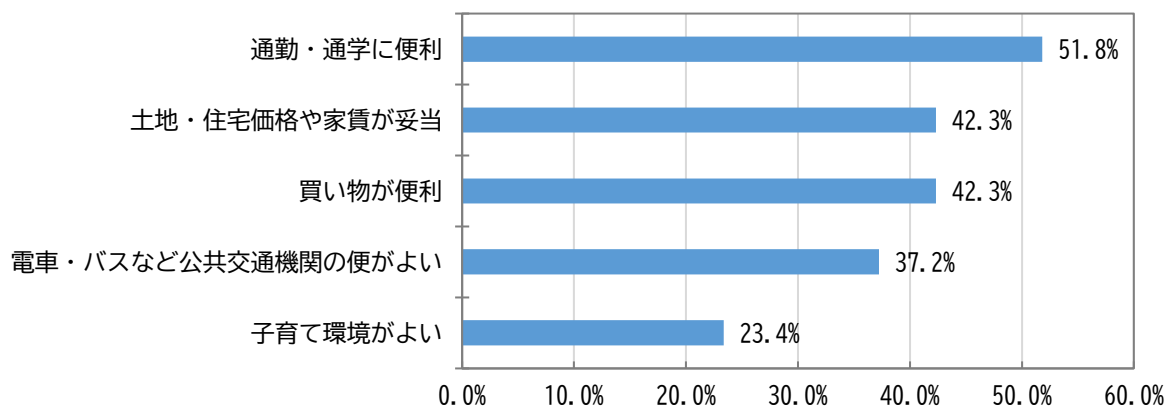
0～17 歳で転入が多い理由のひとつとして、子育て世帯が、通勤や買い物等の利便性や土地価格、子育て環境の良さといった観点から、転出先として宇治市を選択していることが考えられる。

- ・ 転入アンケート回答者の 20.4%が、転入理由に「結婚・出産など世帯構成の変化」を挙げている。
- ・ 子のいる 20～40 歳代を 0～17 歳の子育て世帯と想定し（以下、子育て世帯とする。）、該当者の転入理由をみると、結婚・出産について「住宅の購入・借換」が多くなっている。また自由回答として、「子育て環境が良いと聞いた」といった子育てに関する意見が挙げられた。
- ・ 子育て世帯の転入について、住まいを決める際に重視した点をみると、最も多いのが「通勤・通学に便利」で 51.8%、ついで「土地・住宅価格や家賃が妥当」、「買い物が便利」が 42.3%となっている。また、23.4%が「子育て環境がよい」と回答している。

子育て世帯×【転入問 7】 転入の理由



子育て世帯×【転入問 8】 住まいを決める際に重視した点（上位 5 項目）

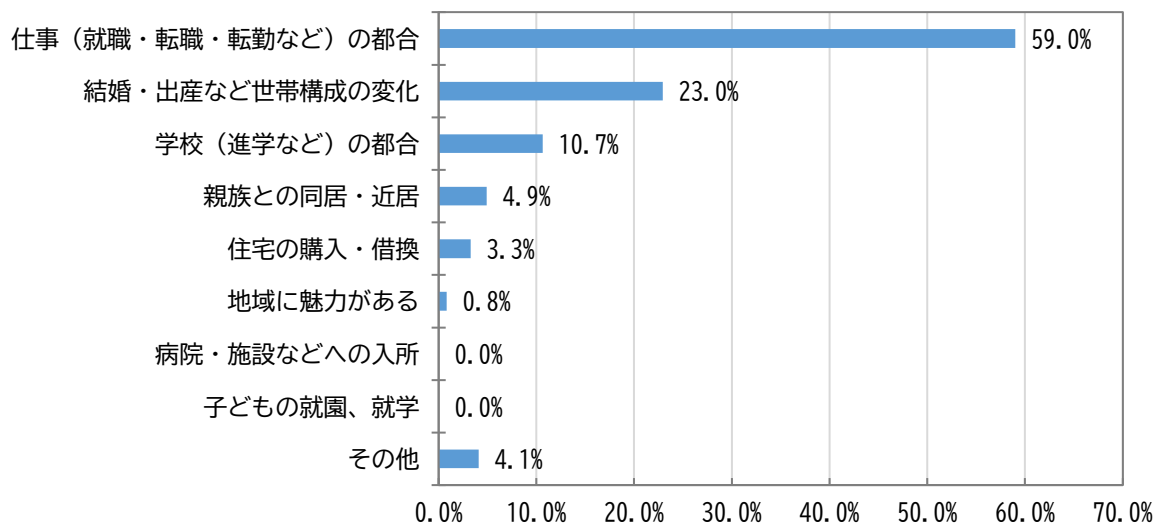


② 18 歳から 29 歳の社会減の要因

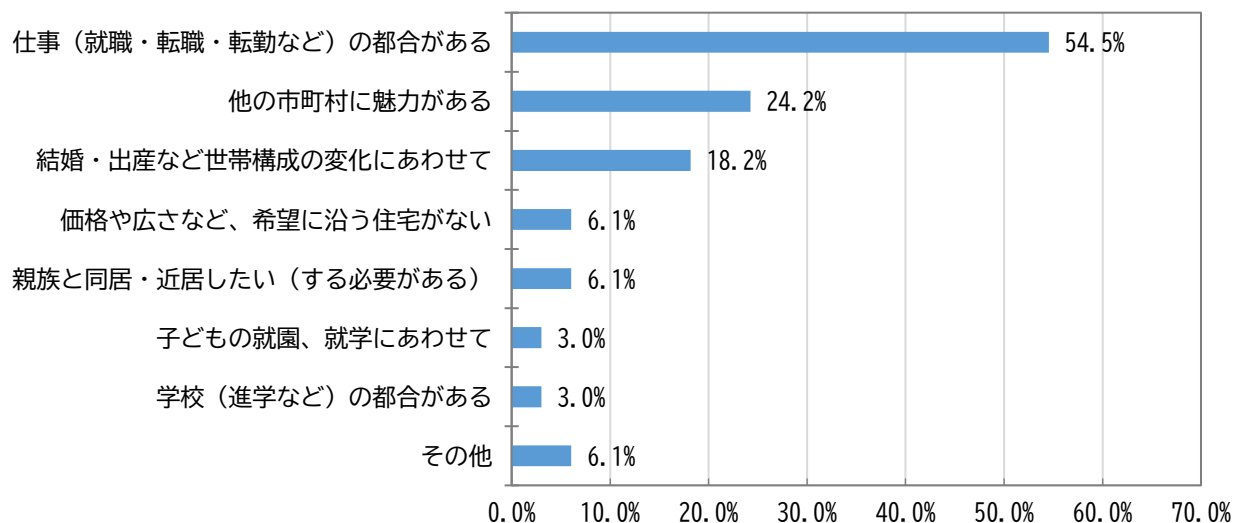
18～29 歳の転出には、仕事の都合による影響が大きいと考えられる。また定住者の転出意向をみると、仕事の都合のほか他市町村に魅力を感じるという意見も一定数みられた。

- ・ 18～29 歳の転出理由をみると、最も多いのが「仕事（就職・転職・転勤など）の都合」で 59.0%、ついで「結婚・出産など世帯構成の変化」が 23.0%となっている。
- ・ 市外へ引っ越す意向がある 18～29 歳の宇治市在住者について、その理由をみると、上記転出理由と同様に「仕事の都合」が 54.5%で最も多い。ついで多いのは「他の市町村に魅力がある」で 24.2%となっている。その内容としては、京都市等の近隣市に魅力を感じる、行政サービス等の差、関東への転出意欲等が挙げられた。

年齢（18～29 歳）×【転出問 8】転出の理由



年齢（18～29 歳）×【定住問 26】「市外へ引っ越したい（引っ越す予定）」の理由

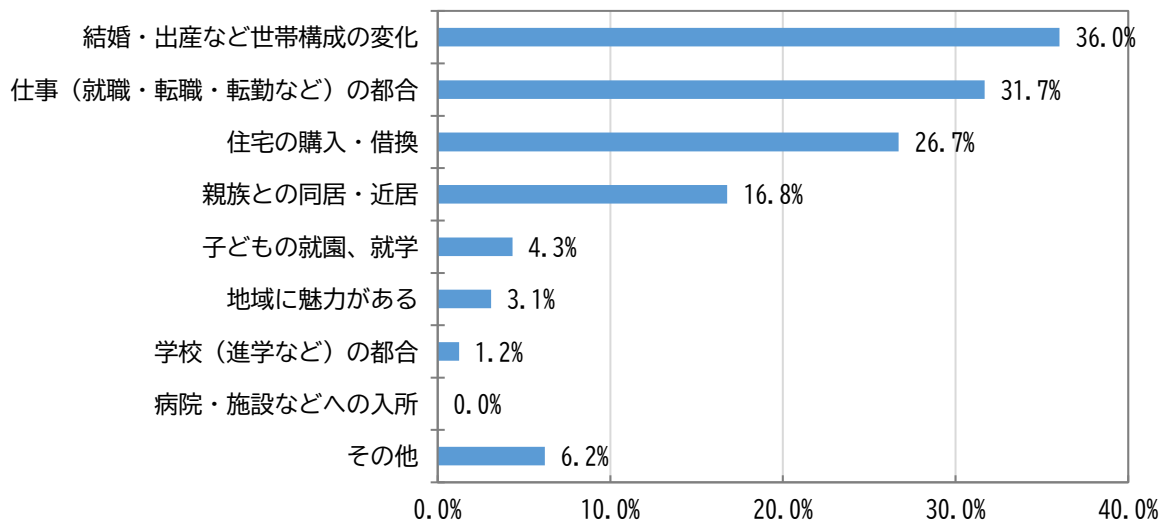


③ 30 歳代の転入の要因

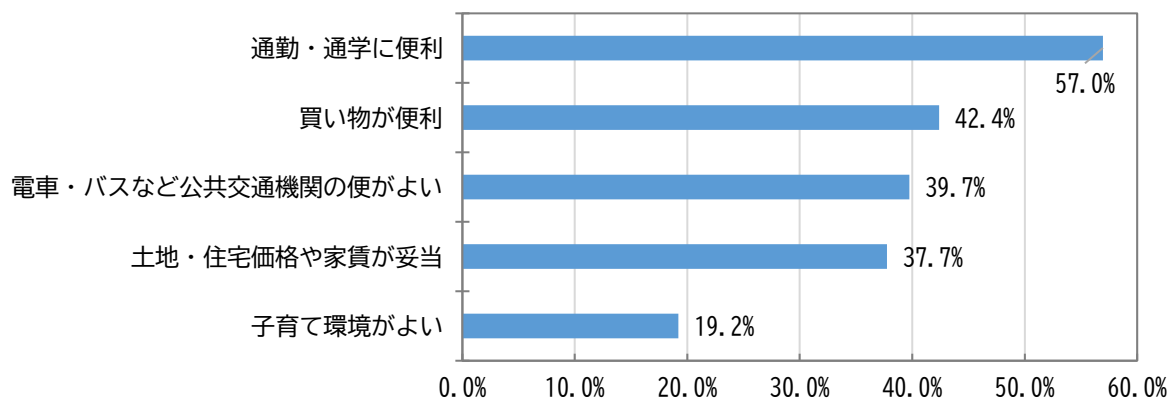
30 歳代では、結婚・出産を機に、通勤や買い物等の利便性、土地価格といった観点から宇治市へ転入する人が多く、これらが 30 歳代の転入の要因になっていると考えられる。

- ・ 30 歳代の転入理由をみると、最も多いのが「結婚・出産など世帯構成の変化」の 36.0%、ついで「仕事（就職・転職・転勤など）の都合」が 31.7%となっている。
- ・ 30 歳代の転入について、住まいを決める際に重視した点をみると、最も多いのが「通勤・通学に便利」で 57.0%、ついで「買い物が便利」が 42.4%、「電車・バスなどの公共交通機関の便がよい」が 39.7%となっている。また、19.2%が「子育て環境がよい」と回答している。

年齢（30～39 歳）×【転入問 7】転入の理由



年齢（30～39 歳）×【転入問 8】住まいを決める際に重視した点（上位 5 項目）

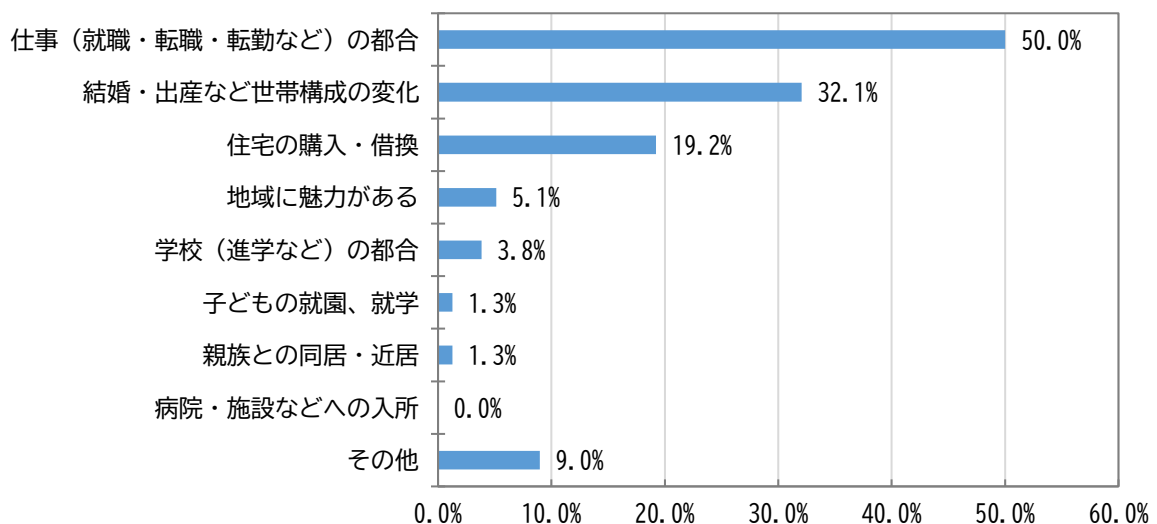


④ 30 歳代の転出の要因

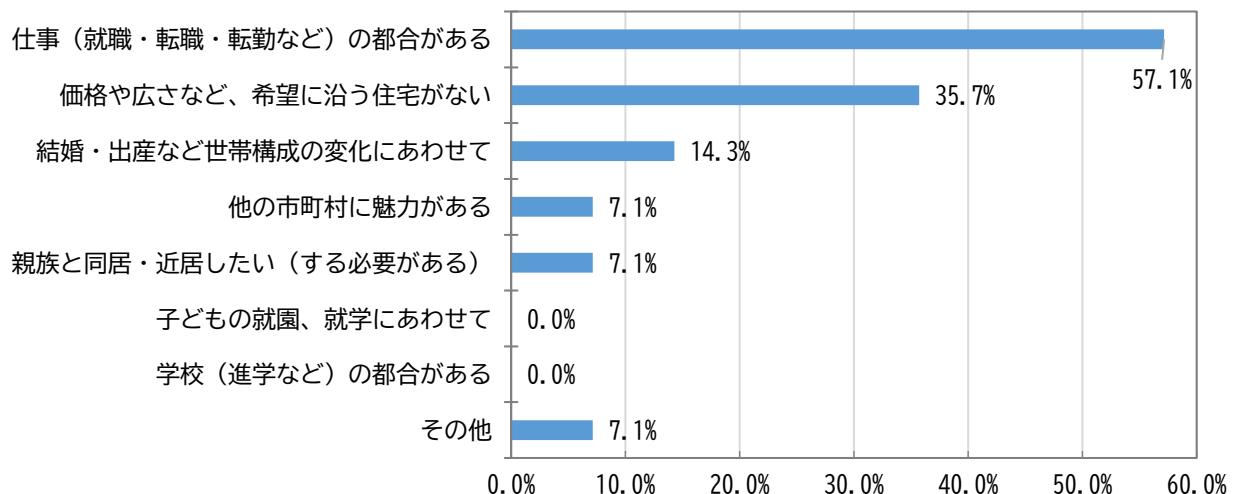
30 歳代の転出には、18～29 歳の転出と同様に仕事の都合による影響が大きいと考えられる。
また、30 歳代になると結婚・出産や住宅購入を機とした転出が増え、希望に沿う住宅がないことによる転出もみられる。

- ・ 30 歳代の転出理由をみると、最も多いのが「仕事（就職・転職・転勤など）の都合」の 50.0%、ついで「結婚・出産など世帯構成の変化」の 32.1%となっている。
- ・ 市外へ引っ越す意向がある 30～39 歳の宇治市在住者について、その理由をみると、上記転出理由と同様に「仕事の都合」が 57.1%で最も多い。ついで多いのは「価格や広さなど、希望に沿う住宅がない」で 35.7%となっている。

年齢（30～39 歳）×【転出問 8】転出の理由



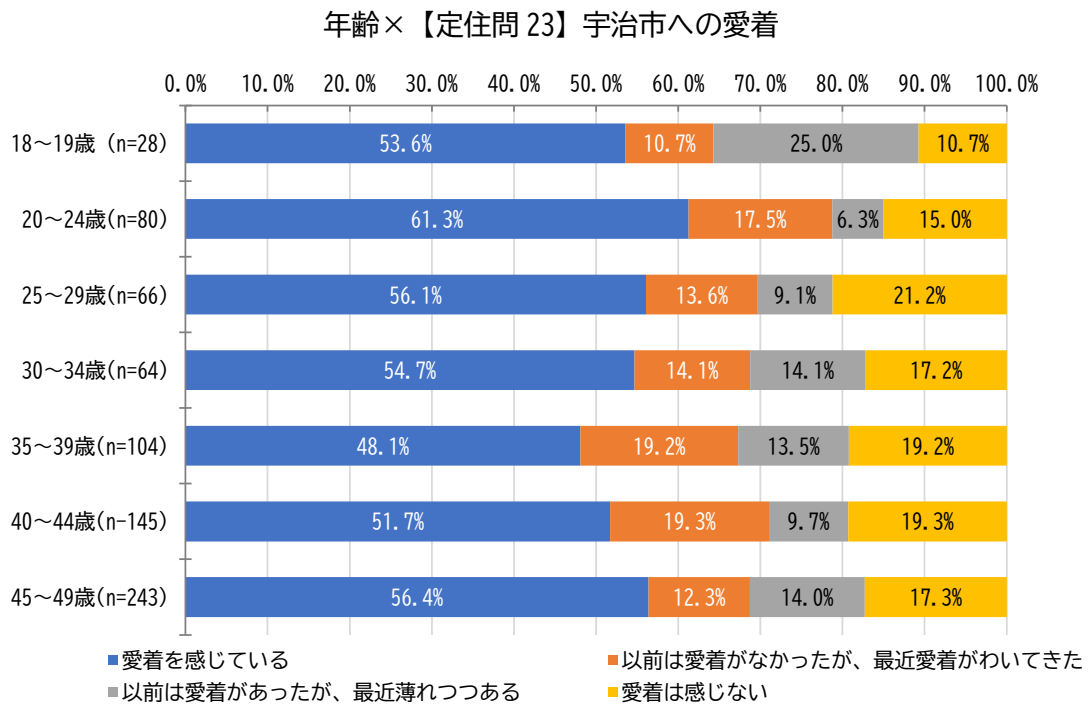
年齢（30～39 歳）×【定住問 26】「市外へ引っ越したい（引っ越す予定）」の理由



⑤ 18 歳から 49 歳の宇治市への愛着

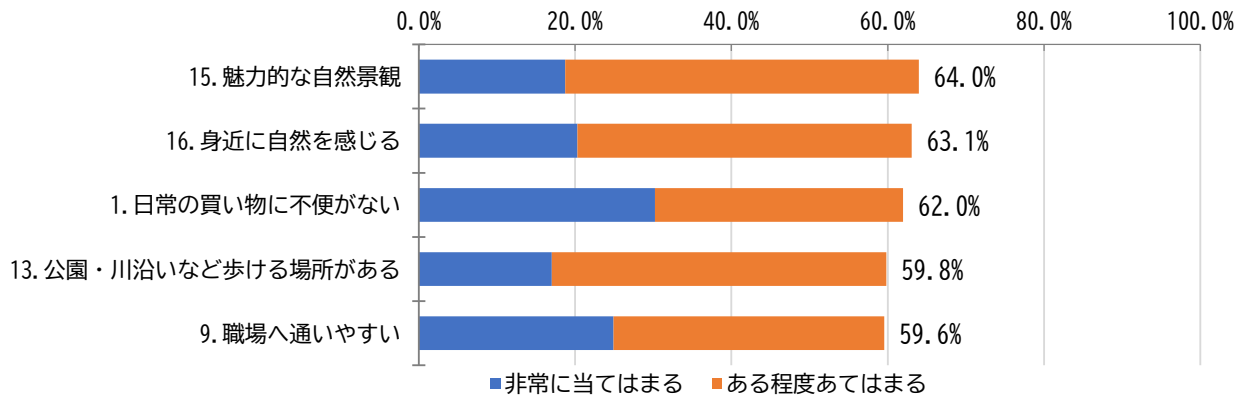
年代別の愛着度では 20～24 歳が最も高くなっている。また、現在のまちづくりについての満足度をみると、愛着を感じている人は、特に自然環境や日常生活に関する項目の満足度が高く、愛着が薄れつつある人では行政の情報発信や子育て支援に関する項目などで満足度が低くなっている。

- ・年代ごとの宇治市への愛着をみると、特に 20～24 歳で愛着を感じている人の割合が高くなっている。一方で、愛着が薄れつつある人の割合は、18～19 歳で最も高くなっている。



- ・「愛着を感じている」人について、暮らしに関する項目ごとの満足度をみると、自然環境や日常生活に関する項目で満足度が高くなっている。

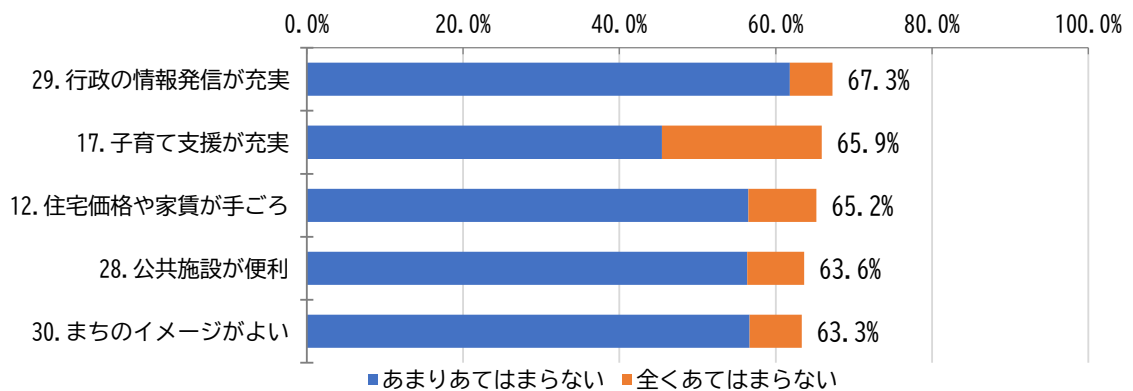
【定住問 30】満足度※（上位 5 項目）×【定住問 23】宇治市への愛着（愛着を感じている）



※「どちらともいえない」を除いたときの「非常にあてはまる」および「ある程度あてはまる」の割合

- ・「愛着は感じない」場合でも、「以前は愛着があったが、最近薄れつつある」場合よりも満足度は高い傾向にある。「愛着が薄れつつある」人について、暮らしに関する項目ごとの満足度をみると、行政の情報発信や子育て支援に関する項目などで満足度が低い。

【定住問 30】不満度※（上位 5 項目）×【定住問 23】宇治市への愛着（愛着が薄れつつある）



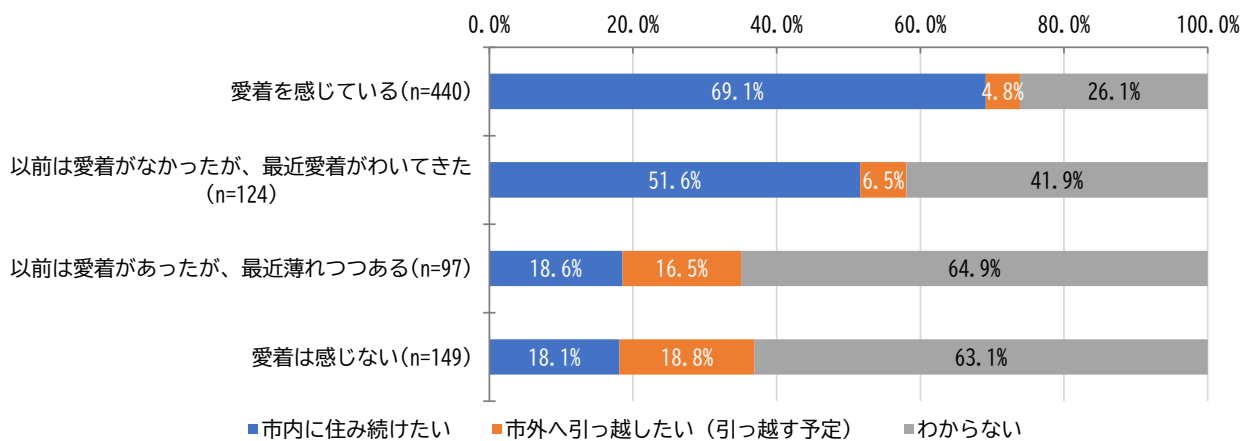
※「どちらともいえない」を除いたときの「あまりあてはまらない」および「全くあてはまらない」の割合

⑥ 18 歳から 49 歳の宇治市での定住意向

宇治市への愛着がある人ほど定住意向がある一方で、愛着がないと回答した人であっても約2割は宇治市に住み続けたいと回答している。「市外へ引っ越したい（引っ越す予定）」と回答した人では「地元で就労しやすい」という項目について不満に思っている割合が高く、仕事の都合により転出を検討する人が多いと考えられる。

- ・「愛着を感じている」人ほど「市内に住み続けたい」の割合が高くなっている。
- ・「市外へ引っ越したい（引っ越す予定）」であっても、約4割は「愛着を感じている」または「以前は愛着がなかったが、最近愛着がわいてきた」と回答している。

【定住問 23】宇治市への愛着 × 【定住問 24】今後宇治市に住みつづけたいか



- ・宇治市のまちづくりに関する項目ごとの重要度について、「市内に住み続けたい」または「わからない」と回答した人の約半数が、以下の項目に力を入れてほしいとしている。
 - 4. 移動しやすい交通環境の充実、9. 子育てしやすいまちづくり、11. 災害に強いまちづくり
- ・暮らしに関する項目ごとの満足度について、「市外へ引っ越したい（引っ越す予定）」と回答した人で不満を感じる割合が高かった項目として、以下の項目が挙げられる。
 - 3. 楽しい時間が過ごせる場所がある、10. 地元の就労がしやすい、28. 公共施設が便利

令和6年度 定住に関するアンケート調査結果

回答者数： n=814

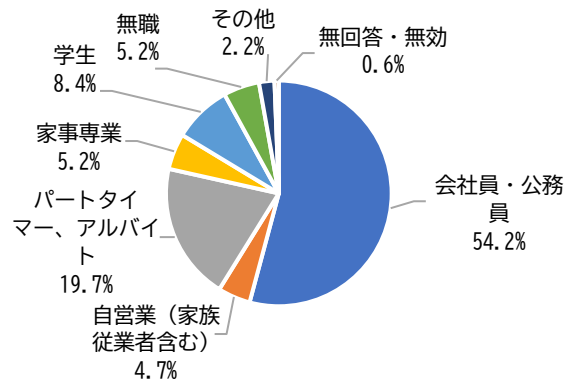
1. 仕事について

【問1】 あなたのご職業について教えてください（あてはまるもの1つに○）

「会社員・公務員」が54.2%と最も多く、ついで「パートタイマー、アルバイト」が19.7%、「学生」が8.4%となっています。

選択肢	合計	割合
会社員・公務員	441	54.2%
自営業（家族従業者含む）	38	4.7%
パートタイマー、アルバイト	160	19.7%
家事専業	42	5.2%
学生	68	8.4%
無職	42	5.2%
その他	18	2.2%
無回答・無効	5	0.6%
回答者数	814	100.0%

無回答	2	0.2%
無効	3	0.4%

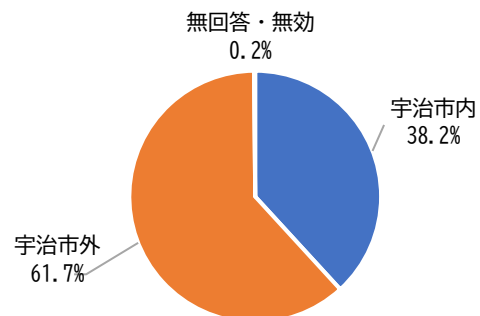


【問2】 問1で「会社員・公務員」、「自営業」、「パートタイマー、アルバイト」と回答された方にお伺いします。現在の職場はどちらですか。（あてはまるもの1つに○）

「宇治市外」が61.7%と最も多く、ついで「宇治市内」が38.2%となっています。

選択肢	合計	割合
宇治市内	244	38.2%
宇治市外	394	61.7%
無回答・無効	1	0.2%
回答者数	639	100.0%

無回答	1	0.2%
無効	0	0.0%

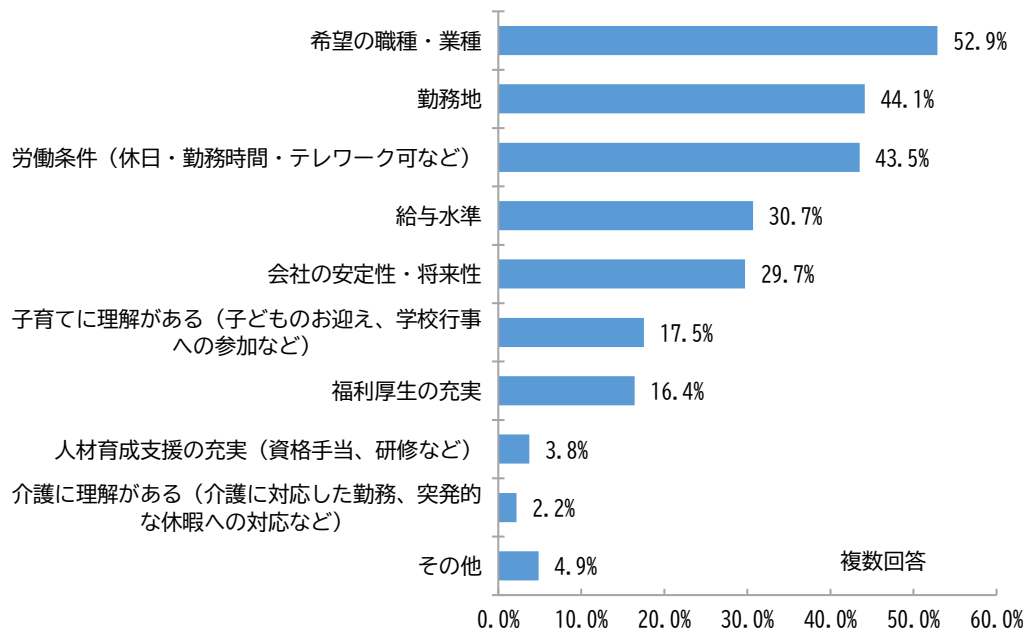


【問3】 問1で「会社員・公務員」、「自営業」、「パートタイマー、アルバイト」と回答された方にお伺いします。現在の仕事に就く際、重視したことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「希望の職種・業種」が52.9%と最も多く、ついで「勤務地」が44.1%、「労働条件（休日・勤務時間・テレワーク可など）」が43.5%となっています。

選択肢	合計	割合
希望の職種・業種	338	52.9%
給与水準	196	30.7%
会社の安定性・将来性	190	29.7%
勤務地	282	44.1%
労働条件（休日・勤務時間・テレワーク可など）	278	43.5%
福利厚生充実	105	16.4%
人材育成支援の充実（資格手当、研修など）	24	3.8%
子育てに理解がある（子どものお迎え、学校行事への参加など）	112	17.5%
介護に理解がある（介護に対応した勤務、突発的な休暇への対応など）	14	2.2%
その他	31	4.9%
無回答・無効	3	0.5%
回答者数	639	100.0%

無回答	3	0.5%
無効	0	0.0%

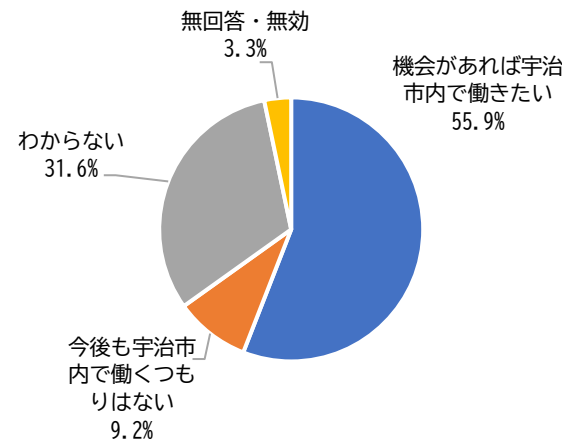


【問4】 問1で「家事専業」、「学生」、「無職」と回答された方にお伺いします。今後、宇治市内で働く機会があれば、働きたいと思いますか。（あてはまるもの1つに○）

「機会があれば宇治市内で働きたい」が55.9%と最も多く、ついで「わからない」が31.6%、「今後も宇治市内で働くつもりはない」が9.2%となっています。

選択肢	合計	割合
機会があれば宇治市内で働きたい	85	55.9%
今後も宇治市内で働くつもりはない	14	9.2%
わからない	48	31.6%
無回答・無効	5	3.3%
回答者数	152	100.0%

無回答	4	2.6%
無効	1	0.7%

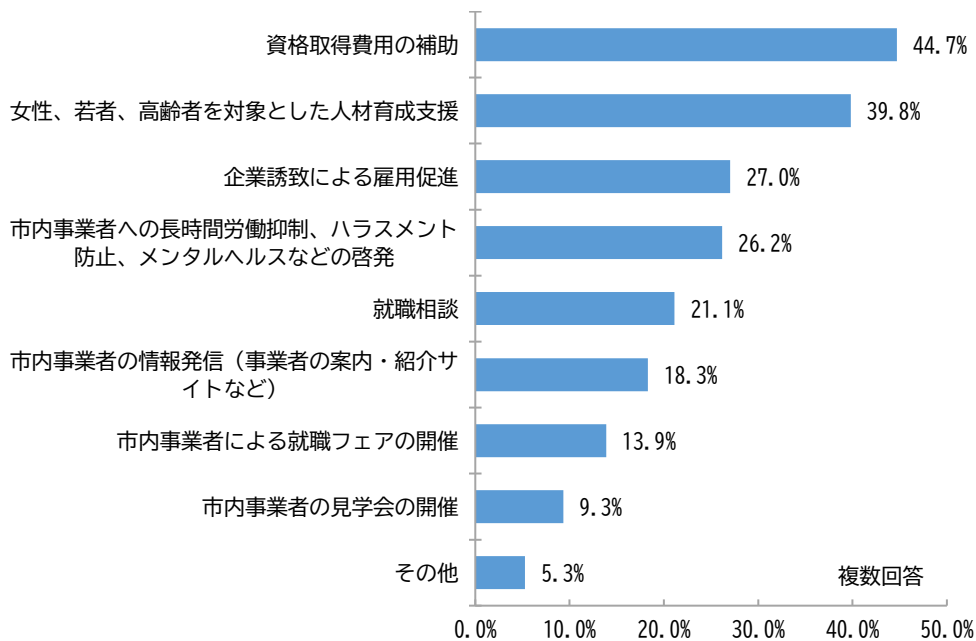


【問5】 就労・雇用について、行政にどのような支援を望みますか。（あてはまるものすべてに○）

「資格取得費用の補助」が44.7%と最も多く、ついで「女性、若者、高齢者を対象とした人材育成支援」が39.8%、「企業誘致による雇用促進」が27.0%となっています。

選択肢	合計	割合
女性、若者、高齢者を対象とした人材育成支援	324	39.8%
就職相談	172	21.1%
市内事業者による就職フェアの開催	113	13.9%
資格取得費用の補助	364	44.7%
企業誘致による雇用促進	220	27.0%
市内事業者の見学会の開催	76	9.3%
市内事業者の情報発信（事業者の案内・紹介サイトなど）	149	18.3%
市内事業者への長時間労働抑制、ハラスメント防止、メンタルヘルスなどの啓発	213	26.2%
その他	43	5.3%
無回答・無効	60	7.4%
回答者数	814	100.0%

無回答	60	7.4%
無効	0	0.0%



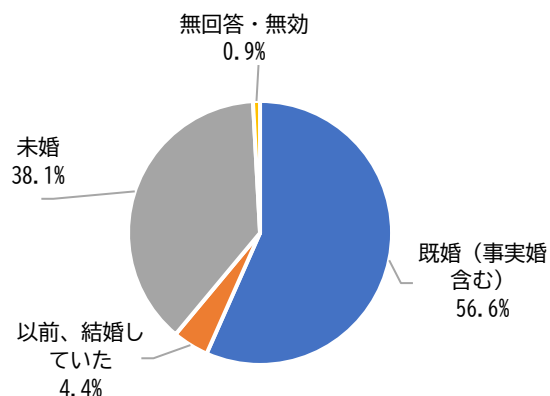
2. 結婚について

【問6】 結婚の状況について教えてください。（あてはまるもの1つに○）

「既婚（事実婚含む）」が56.6%と最も多く、ついで「未婚」が38.1%、「以前、結婚していた」が4.4%となっています。

選択肢	合計	割合
既婚（事実婚含む）	461	56.6%
以前、結婚していた	36	4.4%
未婚	310	38.1%
無回答・無効	7	0.9%
回答者数	814	100.0%

無回答	7	0.9%
無効	0	0.0%

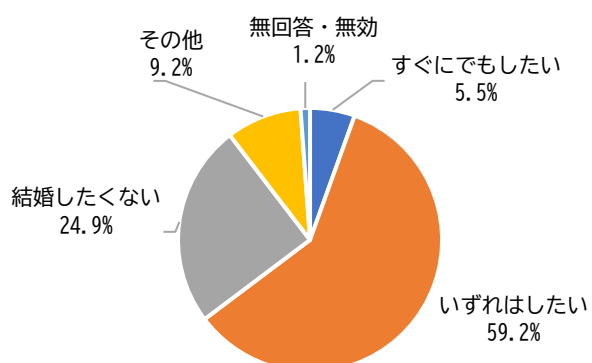


【問7】 問6で「以前、結婚していた」または「未婚」と回答された方にお伺いします。今後、結婚したいと思いますか。（あてはまるもの1つに○）

「いずれはしたい」が59.2%と最も多く、ついで「結婚したくない」が24.9%、「すぐにでもしたい」が5.5%となっています。

選択肢	合計	割合
すぐにでもしたい	19	5.5%
いずれはしたい	205	59.2%
結婚したくない	86	24.9%
その他	32	9.2%
無回答・無効	4	1.2%
回答者数	346	100.0%

無回答	3	0.9%
無効	1	0.3%

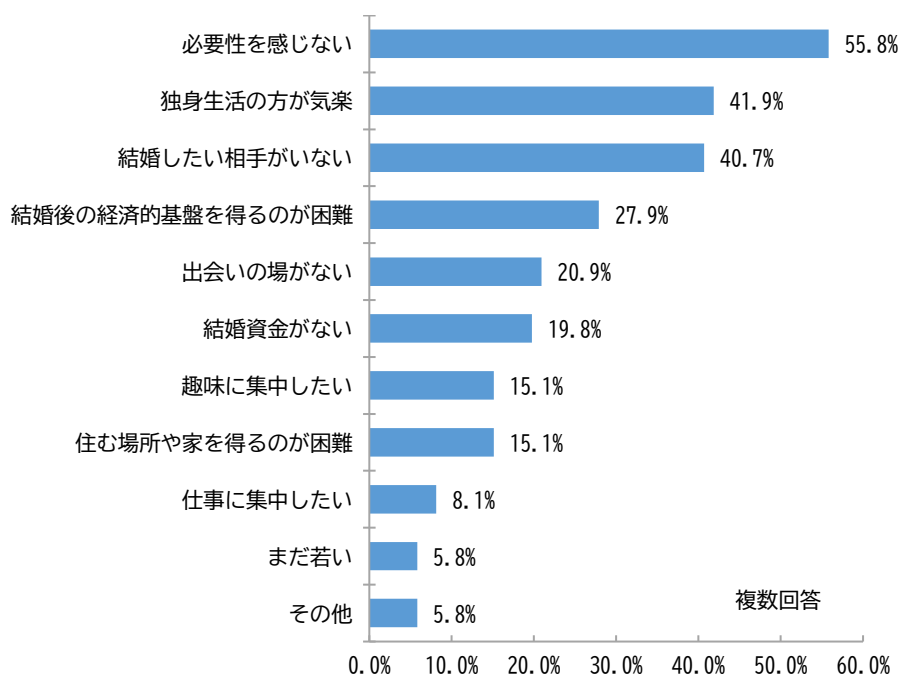


【問8】 問7で「結婚したくない」と回答された方にお伺いします。結婚したくない理由について教えてください。（あてはまるものすべてに○）

「必要性を感じない」が55.8%と最も多く、ついで「独身生活の方が気楽」が41.9%、「結婚したい相手がいない」が40.7%となっています。

選択肢	合計	割合
まだ若い	5	5.8%
必要性を感じない	48	55.8%
仕事に集中したい	7	8.1%
趣味に集中したい	13	15.1%
独身生活の方が気楽	36	41.9%
結婚したい相手がいない	35	40.7%
出会いの場がない	18	20.9%
結婚資金がない	17	19.8%
結婚後の経済的基盤を得るのが困難	24	27.9%
住む場所や家を得るのが困難	13	15.1%
その他	5	5.8%
無回答・無効	1	1.2%
回答者数	86	100.0%

無回答	1	1.2%
無効	0	0.0%

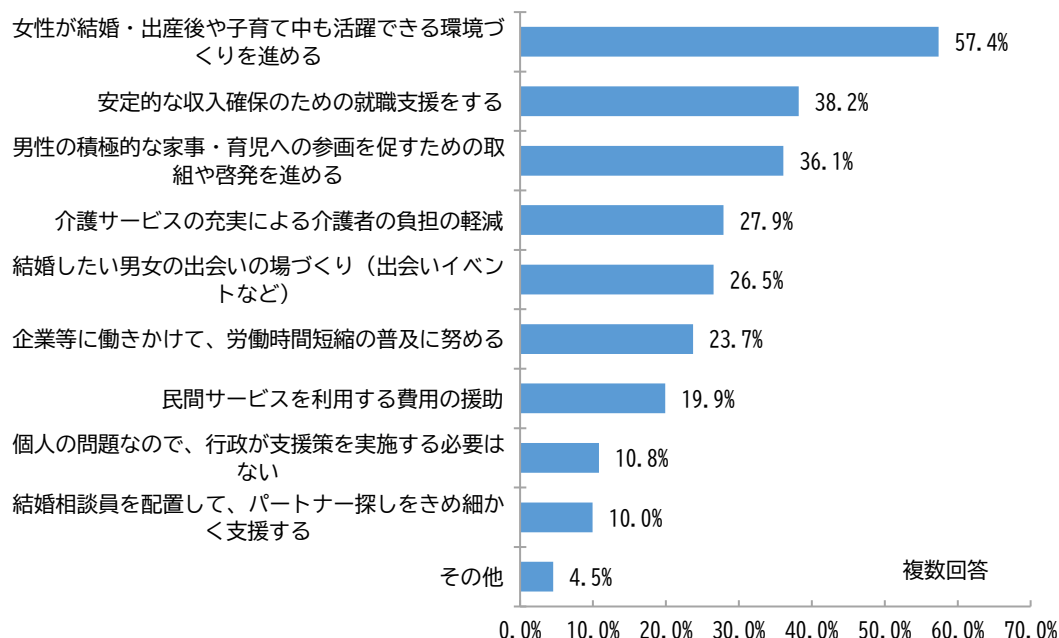


【問9】結婚の支援のために、行政が実施することが望ましい施策はどのようなものと考えますか。（あてはまるものすべてに○）

「女性が結婚・出産後や子育て中も活躍できる環境づくりを進める」が57.4%と最も多く、ついで「安定的な収入確保のための就職支援をする」が38.2%、「男性の積極的な家事・育児への参画を促すための取組や啓発を進める」が36.1%となっています。

選択肢	合計	割合
結婚したい男女の出会いの場づくり（出会いイベントなど）	216	26.5%
結婚相談員を配置して、パートナー探しをきめ細かく支援する	81	10.0%
民間サービスを利用する費用の援助	162	19.9%
安定的な収入確保のための就職支援をする	311	38.2%
企業等に働きかけて、労働時間短縮の普及に努める	193	23.7%
女性が結婚・出産後や子育て中も活躍できる環境づくりを進める	467	57.4%
男性の積極的な家事・育児への参画を促すための取組や啓発を進める	294	36.1%
介護サービスの充実による介護者の負担の軽減	227	27.9%
個人の問題なので、行政が支援策を実施する必要はない	88	10.8%
その他	37	4.5%
無回答・無効	44	5.4%
回答者数	814	100.0%

無回答	44	5.4%
無効	0	0.0%

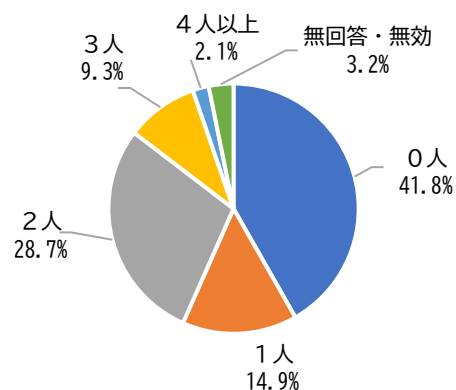


3. 出産・子育てについて

【問１０】あなたのお子さんは何人ですか。（あてはまるもの１つに○）

「０人」が41.8%と最も多く、ついで「２人」が28.7%、「１人」が14.9%となっています。

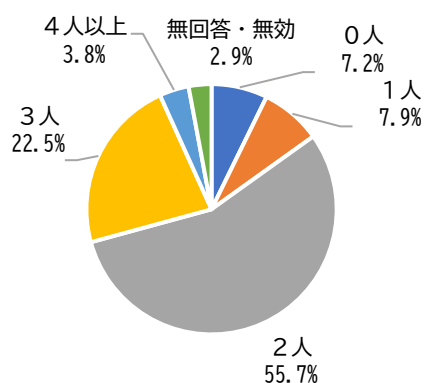
選択肢	合計	割合
0人	340	41.8%
1人	121	14.9%
2人	234	28.7%
3人	76	9.3%
4人以上	17	2.1%
無回答・無効	26	3.2%
回答者数	814	100.0%
無回答	26	3.2%
無効	0	0.0%



【問１１】あなたが理想と考える子どもの数は何人ですか。（あてはまるもの１つに○）

「２人」が55.7%と最も多く、ついで「３人」が22.5%、「１人」が7.9%となっています。

選択肢	合計	割合
0人	59	7.2%
1人	64	7.9%
2人	453	55.7%
3人	183	22.5%
4人以上	31	3.8%
無回答・無効	24	2.9%
回答者数	814	100.0%
無回答	20	2.5%
無効	4	0.5%

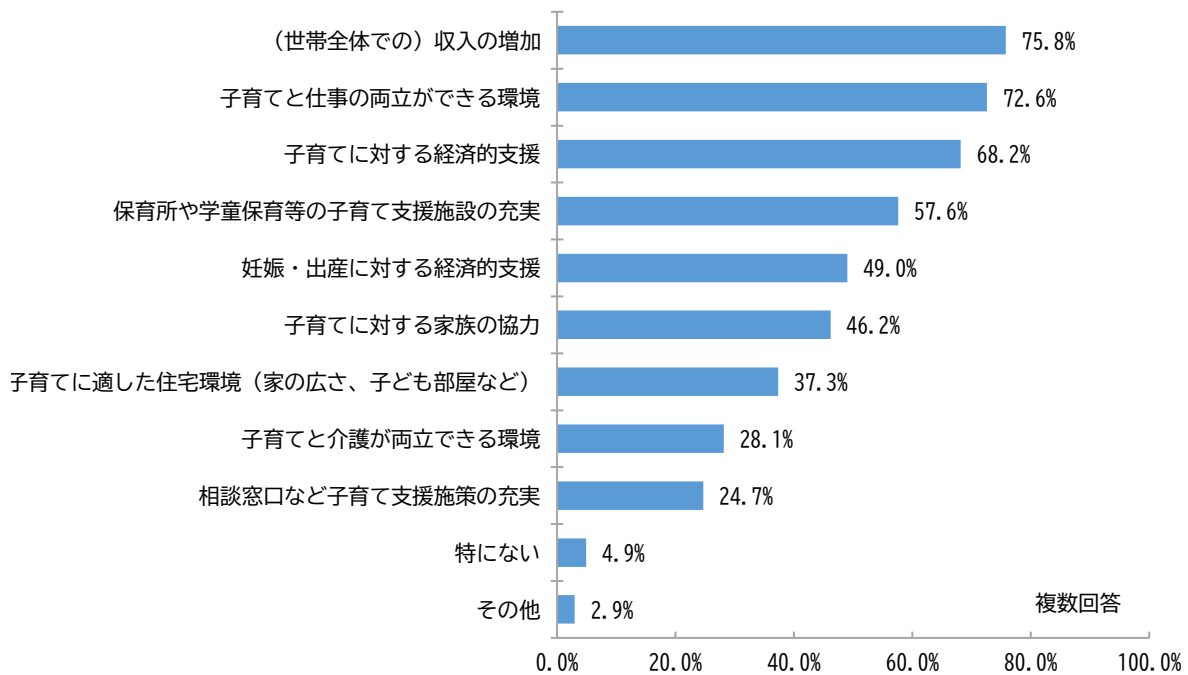


【問１２】 理想とする子どもの数をかなえるために、必要なことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「（世帯全体での）収入の増加」が75.8%と最も多く、ついで「子育てと仕事の両立ができる環境」が72.6%、「子育てに対する経済的支援」が68.2%となっています。

選択肢	合計	割合
（世帯全体での）収入の増加	617	75.8%
子育てと仕事の両立ができる環境	591	72.6%
子育てと介護が両立できる環境	229	28.1%
妊娠・出産に対する経済的支援	399	49.0%
子育てに対する経済的支援	555	68.2%
子育てに対する家族の協力	376	46.2%
子育てに適した住宅環境（家の広さ、子ども部屋など）	304	37.3%
保育所や学童保育等の子育て支援施設の充実	469	57.6%
相談窓口など子育て支援施策の充実	201	24.7%
特にない	40	4.9%
その他	24	2.9%
無回答・無効	20	2.5%
回答者数	814	100.0%

無回答	20	2.5%
無効	0	0.0%

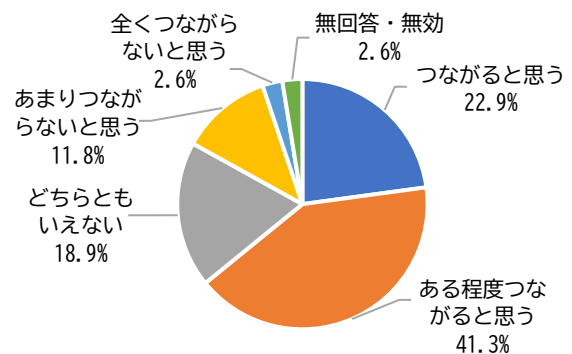


【問13】 宇治市では子育てにやさしいまちの実現に向けた取組の一環として、下記のような取組を行っています。これらの取組は、子育てしやすい環境づくりにつながると思いますか。（あてはまるもの1つに○）

「ある程度つながると思う」が41.3%と最も多く、ついで「つながると思う」が22.9%、「どちらともいえない」が18.9%となっています。

選択肢	合計	割合
つながると思う	186	22.9%
ある程度つながると思う	336	41.3%
どちらともいえない	154	18.9%
あまりつながらないと思う	96	11.8%
全くつながらないと思う	21	2.6%
無回答・無効	21	2.6%
回答者数	814	100.0%

無回答	21	2.6%
無効	0	0.0%



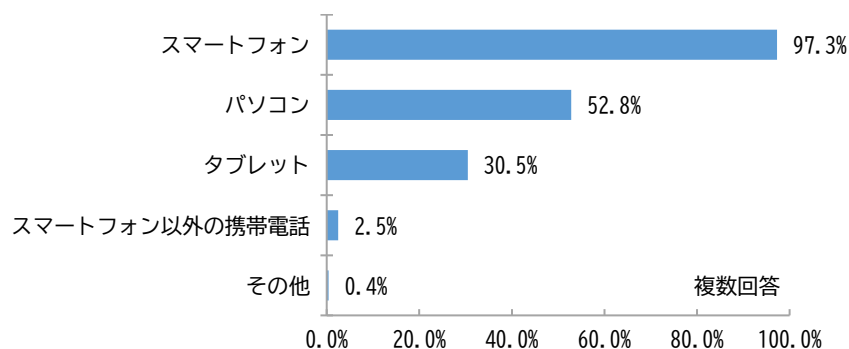
4. デジタルの活用について

【問14】 あなたはどのような通信機器を利用していますか。（あてはまるものすべてに○）

「スマートフォン」が97.3%と最も多く、ついで「パソコン」が52.8%、「タブレット」が30.5%となっています。

選択肢	合計	割合
スマートフォン	792	97.3%
スマートフォン以外の携帯電話	20	2.5%
タブレット	248	30.5%
パソコン	430	52.8%
その他	3	0.4%
無回答・無効	9	1.1%
回答者数	814	100.0%

無回答	9	1.1%
無効	0	0.0%

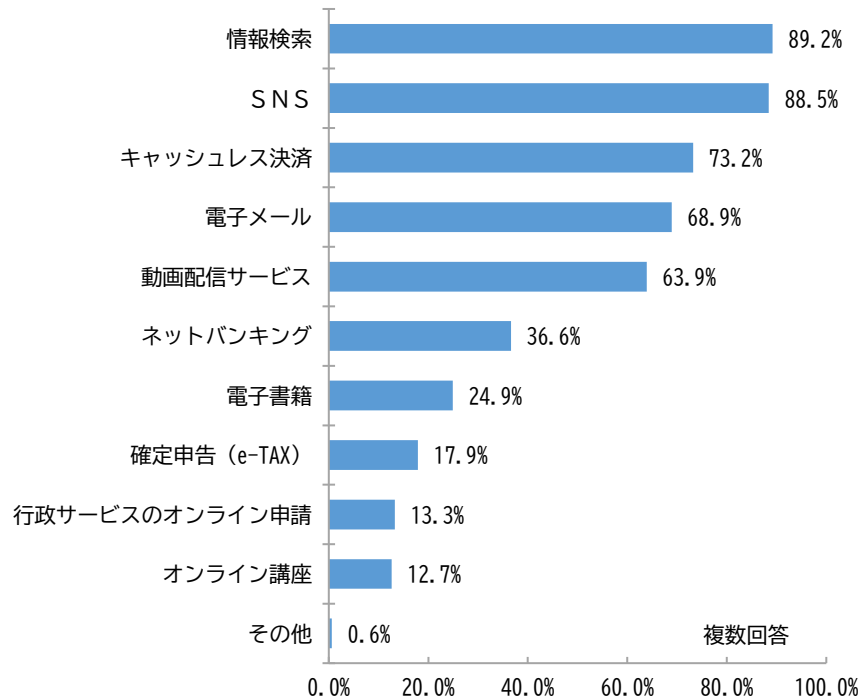


【問15】 あなたが利用しているサービスはどれですか。（あてはまるものすべてに○）

「情報検索」が89.2%と最も多く、ついで「SNS」が88.5%、「キャッシュレス決済」が73.2%となっています。

選択肢	合計	割合
情報検索	726	89.2%
電子メール	561	68.9%
SNS	720	88.5%
動画配信サービス	520	63.9%
電子書籍	203	24.9%
オンライン講座	103	12.7%
キャッシュレス決済	596	73.2%
ネットバンキング	298	36.6%
確定申告（e-TAX）	146	17.9%
行政サービスのオンライン申請	108	13.3%
その他	5	0.6%
無回答・無効	9	1.1%
回答者数	814	100.0%

無回答	9	1.1%
無効	0	0.0%



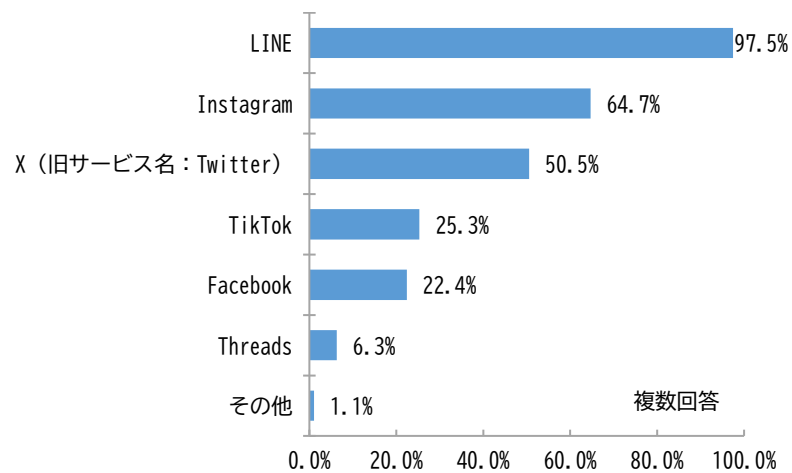
【問16】 問15で「SNS」と回答した方にお伺いします。あなたが利用しているSNSはどれですか。
(あてはまるものすべてに○)

「LINE」が97.5%と最も多く、ついで「Instagram」が64.7%、「X（旧サービス名：Twitter）」が50.5%となっています。

選択肢	合計	割合
LINE	731	97.5%
X（旧サービス名：Twitter）	379	50.5%
Instagram	485	64.7%
Threads	47	6.3%
Facebook	168	22.4%
TikTok	190	25.3%
その他	8	1.1%
無回答・無効	1	0.1%
回答者数	750	100.0%

無回答	1	0.1%
無効	0	0.0%

※問16の集計結果は、問15で「SNS」と回答していない場合の回答も含む。



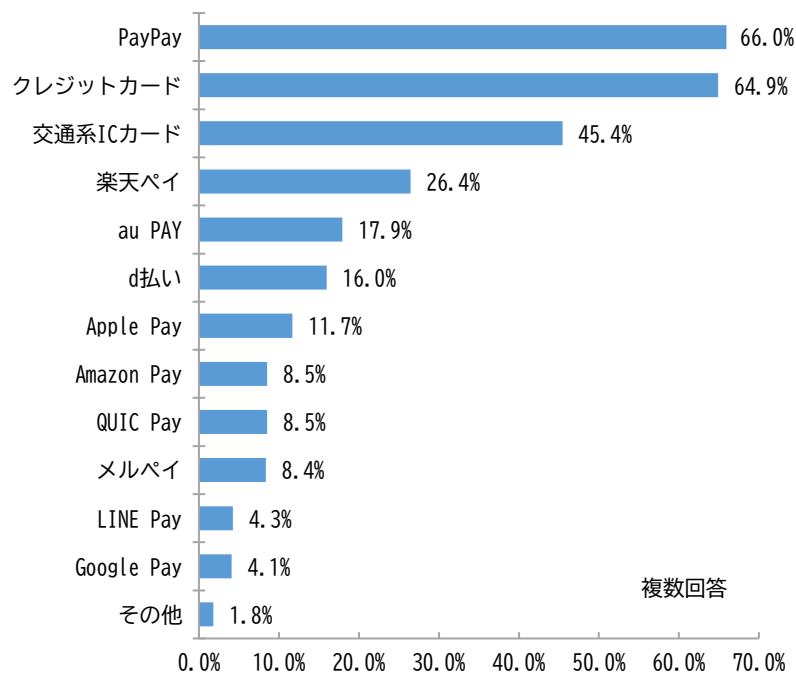
【問17】 問15で「キャッシュレス決済」と回答した方にお伺いします。あなたが利用しているキャッシュレス決済はどれですか。（あてはまるものすべてに○）

「PayPay」が66.0%と最も多く、ついで「クレジットカード」が64.9%、「交通系ICカード」が45.4%となっています。

選択肢	合計	割合
PayPay	434	66.0%
LINE Pay	28	4.3%
d払い	105	16.0%
au PAY	118	17.9%
楽天ペイ	174	26.4%
メルペイ	55	8.4%
Apple Pay	77	11.7%
Google Pay	27	4.1%
Amazon Pay	56	8.5%
QUIC Pay	56	8.5%
交通系ICカード	299	45.4%
クレジットカード	427	64.9%
その他	12	1.8%
無回答・無効	5	0.8%
回答者数	658	100.0%

無回答	5	0.8%
無効	0	0.0%

※問17の集計結果は、問15で「キャッシュレス決済」と回答していない場合の回答も含む。

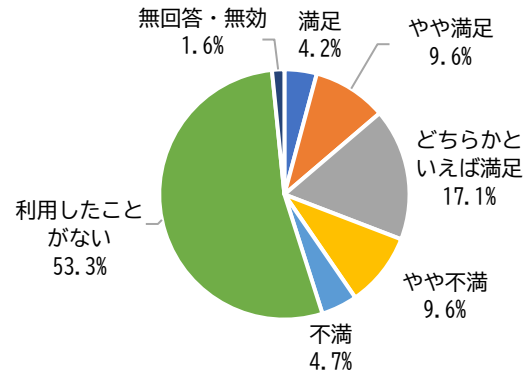


【問１８】 宇治市のデジタル行政サービスの満足度を教えてください。（あてはまるもの１つに○）

「利用したことがない」が53.3%と最も多く、ついで「どちらかといえば満足」が17.1%、「やや満足」が9.6%となっています。

選択肢	合計	割合
満足	34	4.2%
やや満足	78	9.6%
どちらかといえば満足	139	17.1%
やや不満	78	9.6%
不満	38	4.7%
利用したことがない	434	53.3%
無回答・無効	13	1.6%
回答者数	814	100.0%

無回答	12	1.5%
無効	1	0.1%

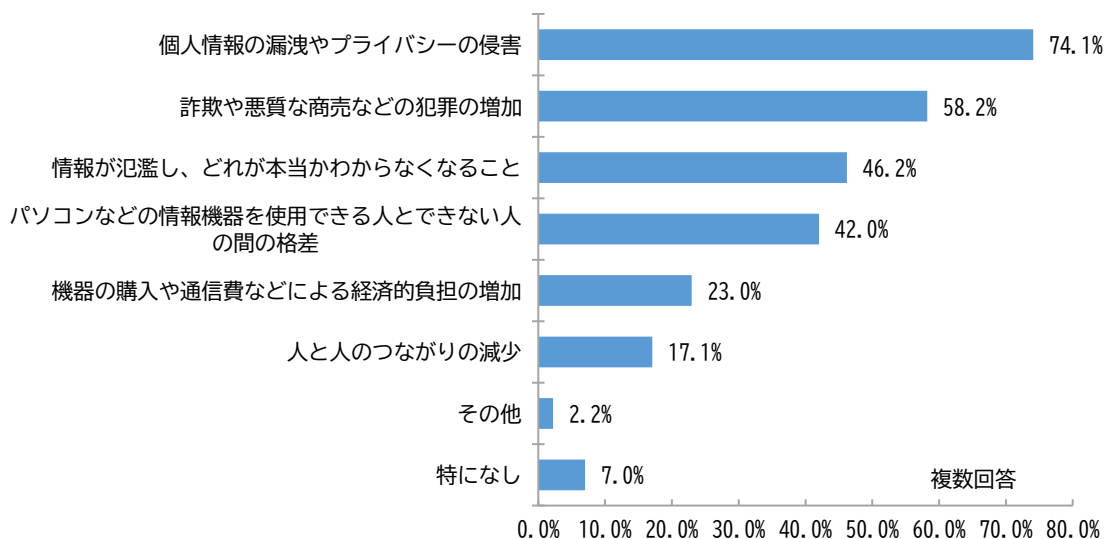


【問１９】 今後デジタル化が進むことについて不安に思うことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「個人情報の漏洩やプライバシーの侵害」が74.1%と最も多く、ついで「詐欺や悪質な商売などの犯罪の増加」が58.2%、「情報が氾濫し、どれが本当かわからなくなること」が46.2%となっています。

選択肢	合計	割合
個人情報の漏洩やプライバシーの侵害	603	74.1%
情報が氾濫し、どれが本当かわからなくなること	376	46.2%
詐欺や悪質な商売などの犯罪の増加	474	58.2%
パソコンなどの情報機器を使用できる人とできない人の間の格差	342	42.0%
機器の購入や通信費などによる経済的負担の増加	187	23.0%
人と人のつながりの減少	139	17.1%
特になし	57	7.0%
その他	18	2.2%
無回答・無効	11	1.4%
回答者数	814	100.0%

無回答	11	1.4%
無効	0	0.0%

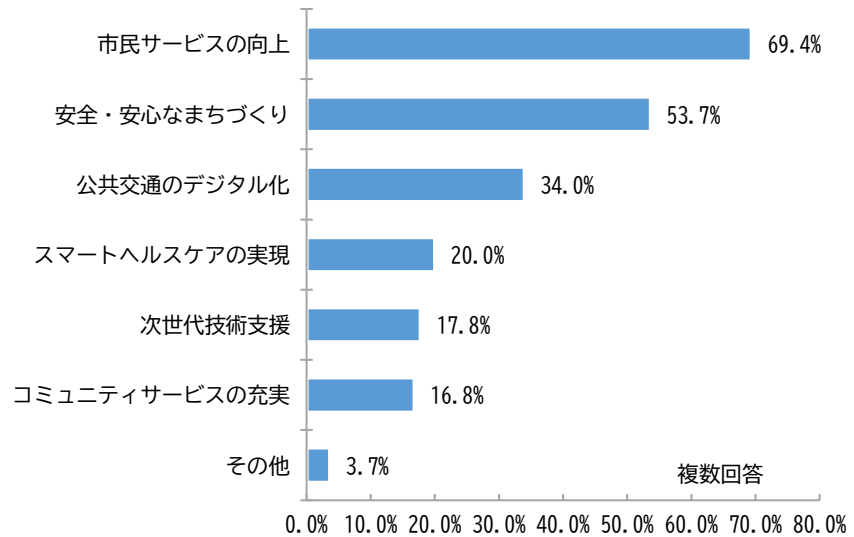


【問20】 あなたが推進してほしいと思うデジタル化の取組は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「市民サービスの向上」が69.4%と最も多く、ついで「安全・安心なまちづくり」が53.7%、「公共交通のデジタル化」が34.0%となっています。

選択肢	合計	割合
公共交通のデジタル化	277	34.0%
スマートヘルスケアの実現	163	20.0%
コミュニティサービスの充実	137	16.8%
市民サービスの向上	565	69.4%
次世代技術支援	145	17.8%
安全・安心なまちづくり	437	53.7%
その他	30	3.7%
無回答・無効	33	4.1%
回答者数	814	100.0%

無回答	33	4.1%
無効	0	0.0%



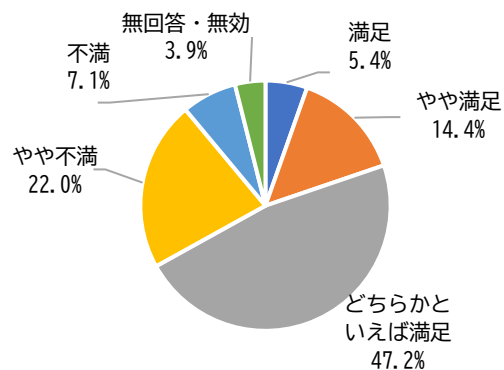
5. 宇治市行政・市民参加について

【問２１】 宇治市の行政サービスの評価（満足度）について教えてください。

「どちらかといえば満足」が47.2%と最も多く、ついで「やや不満」が22.0%、「やや満足」が14.4%となっています。

選択肢	合計	割合
満足	44	5.4%
やや満足	117	14.4%
どちらかといえば満足	384	47.2%
やや不満	179	22.0%
不満	58	7.1%
無回答・無効	32	3.9%
回答者数	814	100.0%

無回答	32	3.9%
無効	0	0.0%

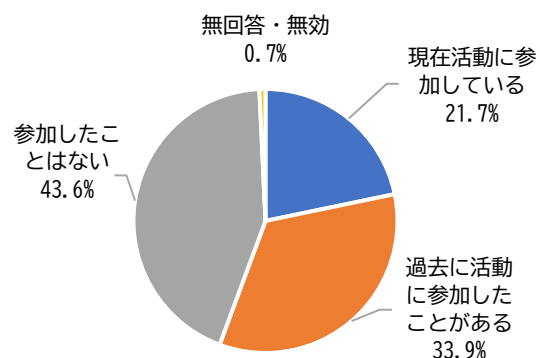


【問２２】 身近な地域での活動経験について教えてください。（あてはまるもの１つに○）

「参加したことはない」が43.6%と最も多く、ついで「過去に活動に参加したことがある」が33.9%、「現在活動に参加している」が21.7%となっています。

選択肢	合計	割合
現在活動に参加している	177	21.7%
過去に活動に参加したことがある	276	33.9%
参加したことはない	355	43.6%
無回答・無効	6	0.7%
回答者数	814	100.0%

無回答	6	0.7%
無効	0	0.0%

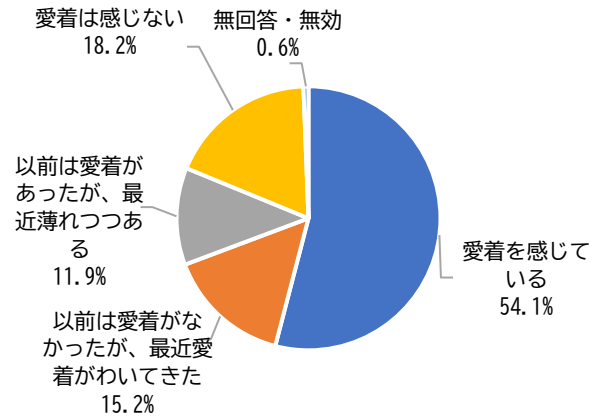


【問２３】 あなたは、宇治市に愛着を感じていますか。（あてはまるもの１つに○）

「愛着を感じている」が54.1%と最も多く、ついで「愛着は感じない」が18.2%、「以前は愛着がなかったが、最近愛着がわいてきた」が15.2%となっています。

選択肢	合計	割合
愛着を感じている	440	54.1%
以前は愛着がなかったが、最近愛着がわいてきた	124	15.2%
以前は愛着があったが、最近薄れつつある	97	11.9%
愛着は感じない	148	18.2%
無回答・無効	5	0.6%
回答者数	814	100.0%

無回答	4	0.5%
無効	1	0.1%

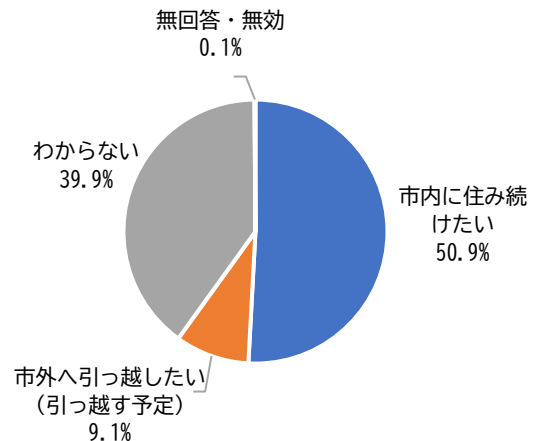


【問２４】 あなたは、今後宇治市に住み続けたいと思いますか。（あてはまるもの１つに○）

「市内に住み続けたい」が50.9%と最も多く、ついで「わからない」が39.9%、「市外へ引っ越したい（引っ越す予定）」が9.1%となっています。

選択肢	合計	割合
市内に住み続けたい	414	50.9%
市外へ引っ越したい（引っ越す予定）	74	9.1%
わからない	325	39.9%
無回答・無効	1	0.1%
回答者数	814	100.0%

無回答	1	0.1%
無効	0	0.0%

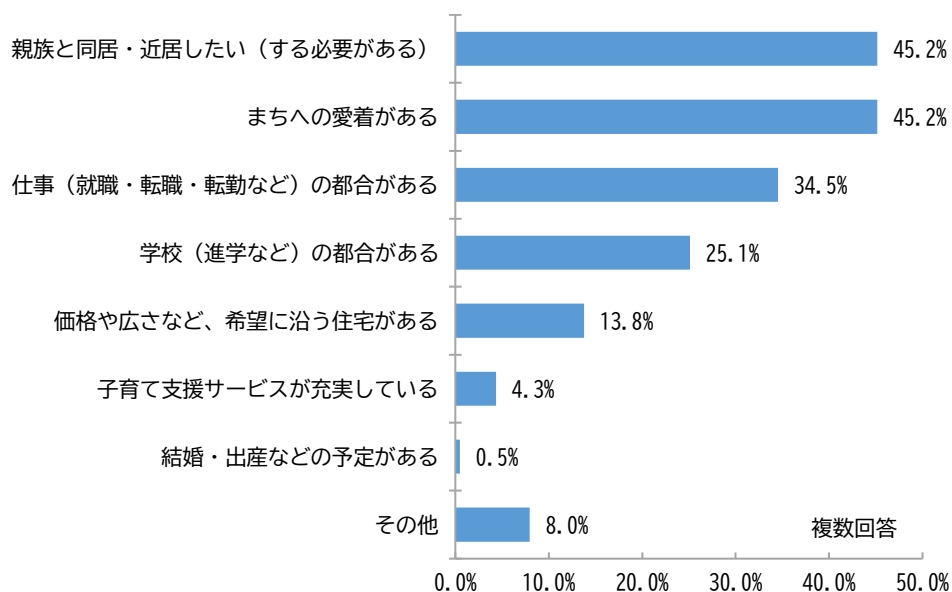


【問25】 問24で「市内に住み続けたい」と回答された方にお伺いします。その理由を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

「親族と同居・近居したい（する必要がある）」、「まちへの愛着がある」が45.2%と最も多く、ついで「仕事（就職・転職・転勤など）の都合がある」が34.5%、「学校（進学など）の都合がある」が25.1%となっています。

選択肢	合計	割合
親族と同居・近居したい（する必要がある）	187	45.2%
学校（進学など）の都合がある	104	25.1%
仕事（就職・転職・転勤など）の都合がある	143	34.5%
結婚・出産などの予定がある	2	0.5%
子育て支援サービスが充実している	18	4.3%
価格や広さなど、希望に沿う住宅がある	57	13.8%
まちへの愛着がある	187	45.2%
その他	33	8.0%
無回答・無効	7	1.7%
回答者数	414	100.0%

無回答	7	1.7%
無効	0	0.0%

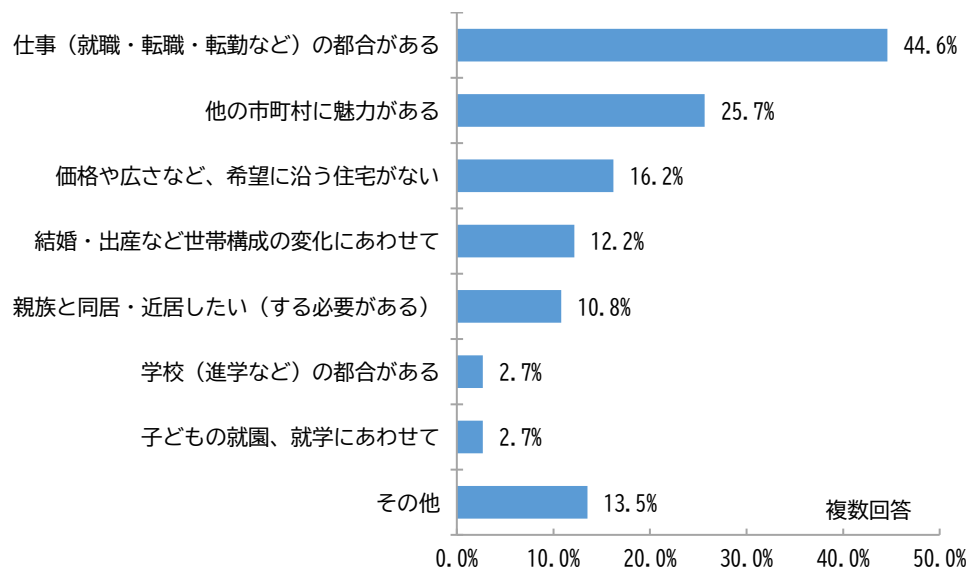


【問26】 問24で「市外へ引っ越したい（引っ越す予定）」と回答された方にお伺いします。その理由を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

「仕事（就職・転職・転勤など）の都合がある」が44.6%と最も多く、ついで「他の市町村に魅力がある」が25.7%、「価格や広さなど、希望に沿う住宅がない」が16.2%となっています。

選択肢	合計	割合
親族と同居・近居したい（する必要がある）	8	10.8%
学校（進学など）の都合がある	2	2.7%
仕事（就職・転職・転勤など）の都合がある	33	44.6%
結婚・出産など世帯構成の変化にあわせて	9	12.2%
子どもの就園、就学にあわせて	2	2.7%
価格や広さなど、希望に沿う住宅がない	12	16.2%
他の市町村に魅力がある	19	25.7%
その他	10	13.5%
無回答・無効	1	1.4%
回答者数	74	100.0%

無回答	1	1.4%
無効	0	0.0%

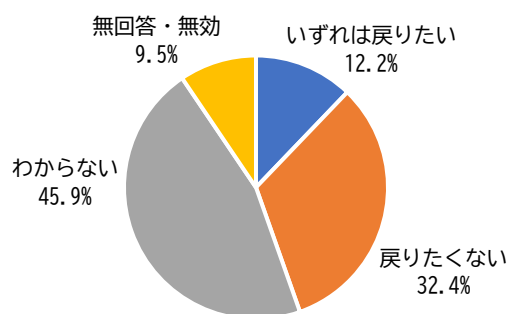


【問27】 問24で「市外へ引っ越したい（引っ越す予定）」と回答された方にお伺いします。いずれは宇治市に戻りたいと思いますか。（あてはまるもの1つに○）

「わからない」が45.9%と最も多く、ついで「戻りたくない」が32.4%、「いずれは戻りたい」が12.2%となっています。

選択肢	合計	割合
いずれは戻りたい	9	12.2%
戻りたくない	24	32.4%
わからない	34	45.9%
無回答・無効	7	9.5%
回答者数	74	100.0%

無回答	7	9.5%
無効	0	0.0%

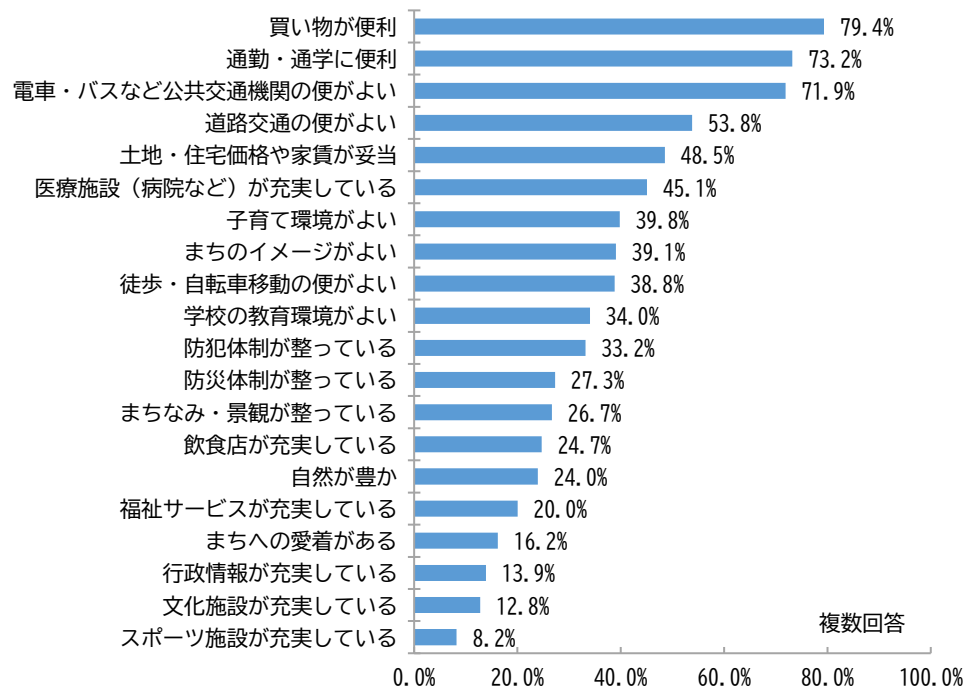


【問28】 あなたは住む場所を選ぶ際、どのようなことを重視しますか。（あてはまるものすべてに○）

「買い物が便利」が79.4%と最も多く、ついで「通勤・通学に便利」が73.2%、「電車・バスなど公共交通機関の便がよい」が71.9%となっています。

選択肢	合計	割合
買い物が便利	646	79.4%
飲食店が充実している	201	24.7%
通勤・通学に便利	596	73.2%
電車・バスなど公共交通機関の便がよい	585	71.9%
道路交通の便がよい	438	53.8%
徒歩・自転車移動の便がよい	316	38.8%
土地・住宅価格や家賃が妥当	395	48.5%
防災体制が整っている	222	27.3%
防犯体制が整っている	270	33.2%
まちへの愛着がある	132	16.2%
まちのイメージがよい	318	39.1%
自然が豊か	195	24.0%
まちなみ・景観が整っている	217	26.7%
スポーツ施設が充実している	67	8.2%
文化施設が充実している	104	12.8%
行政情報が充実している	113	13.9%
子育て環境がよい	324	39.8%
学校の教育環境がよい	277	34.0%
医療施設（病院など）が充実している	367	45.1%
福祉サービスが充実している	163	20.0%
無回答・無効	18	2.2%
回答者数	814	100.0%

無回答	18	2.2%
無効	0	0.0%



6. 宇治市の暮らしやすさについて

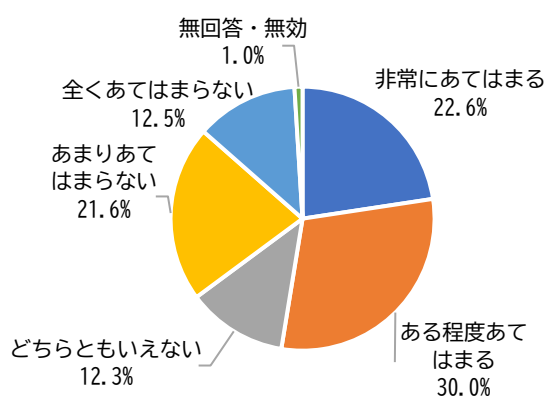
【問30】 宇治市のまちづくりについて、現在の満足度をお答えください。（項目ごとにあてはまるもの1つに○）

1. 日常の買い物に不便がない

「ある程度あてはまる」が30.0%と最も多く、ついで「非常にあてはまる」が22.6%、「あまりあてはまらない」が21.6%となっています。

選択肢	合計	割合
非常にあてはまる	184	22.6%
ある程度あてはまる	244	30.0%
どちらともいえない	100	12.3%
あまりあてはまらない	176	21.6%
全くあてはまらない	102	12.5%
無回答・無効	8	1.0%
回答者数	814	100.0%

無回答	8	1.0%
無効	0	0.0%

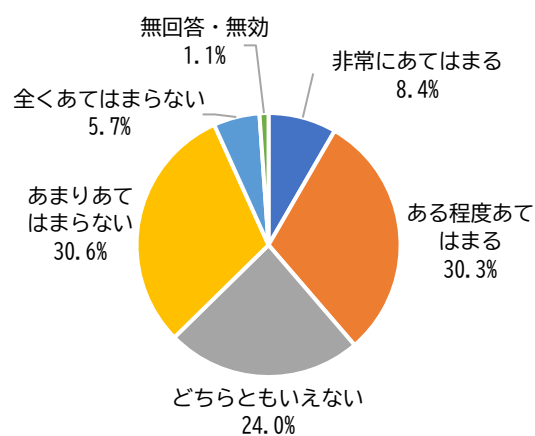


2. 飲食店が充実している

「あまりあてはまらない」が30.6%と最も多く、ついで「ある程度あてはまる」が30.3%、「どちらともいえない」が24.0%となっています。

選択肢	合計	割合
非常にあてはまる	68	8.4%
ある程度あてはまる	247	30.3%
どちらともいえない	195	24.0%
あまりあてはまらない	249	30.6%
全くあてはまらない	46	5.7%
無回答・無効	9	1.1%
回答者数	814	100.0%

無回答	9	1.1%
無効	0	0.0%

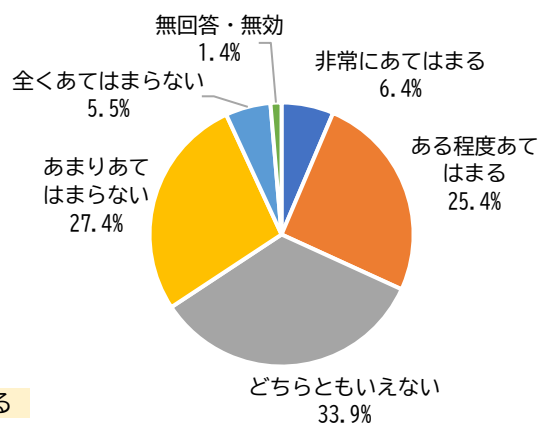


3. 楽しい時間を過ごせる場所がある

「どちらともいえない」が33.9%と最も多く、ついで「あまりあてはまらない」が27.4%、「ある程度あてはまる」が25.4%となっています。

選択肢	合計	割合
非常にあてはまる	52	6.4%
ある程度あてはまる	207	25.4%
どちらともいえない	276	33.9%
あまりあてはまらない	223	27.4%
全くあてはまらない	45	5.5%
無回答・無効	11	1.4%
回答者数	814	100.0%

無回答	11	1.4%
無効	0	0.0%

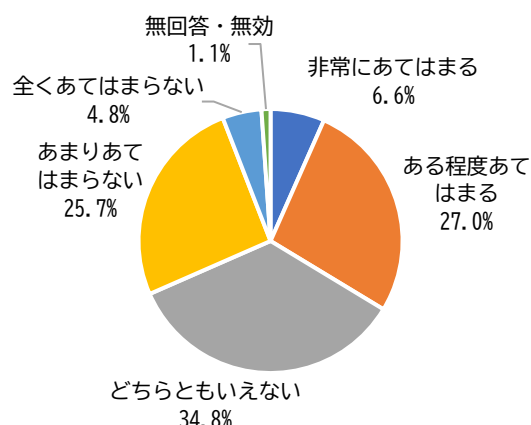


4. 体育館やジムなどの運動・スポーツ施設が充実している

「どちらともいえない」が34.8%と最も多く、ついで「ある程度あてはまる」が27.0%、「あまりあてはまらない」が25.7%となっています。

選択肢	合計	割合
非常にあてはまる	54	6.6%
ある程度あてはまる	220	27.0%
どちらともいえない	283	34.8%
あまりあてはまらない	209	25.7%
全くあてはまらない	39	4.8%
無回答・無効	9	1.1%
回答者数	814	100.0%

無回答	9	1.1%
無効	0	0.0%

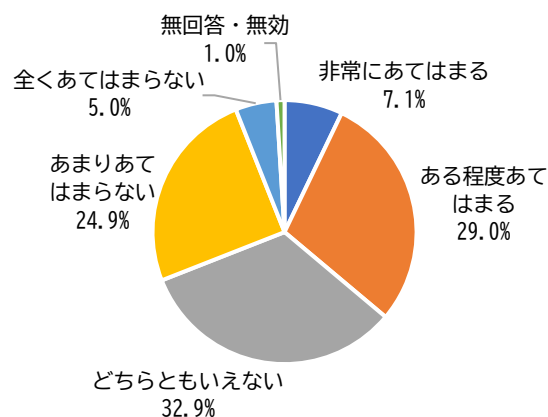


5. 図書館や文化会館など文化施設が充実している

「どちらともいえない」が32.9%と最も多く、ついで「ある程度あてはまる」が29.0%、「あまりあてはまらない」が24.9%となっています。

選択肢	合計	割合
非常にあてはまる	58	7.1%
ある程度あてはまる	236	29.0%
どちらともいえない	268	32.9%
あまりあてはまらない	203	24.9%
全くあてはまらない	41	5.0%
無回答・無効	8	1.0%
回答者数	814	100.0%

無回答	8	1.0%
無効	0	0.0%

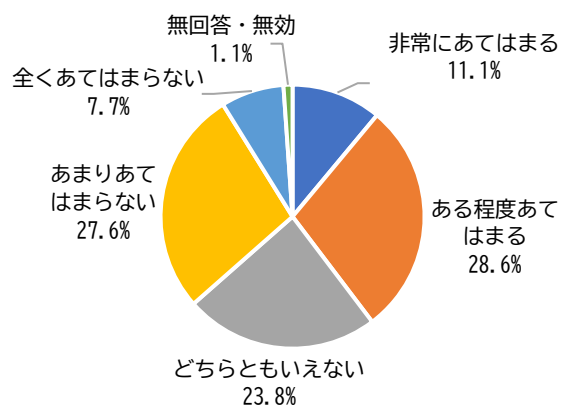


6. バスや鉄道などの公共交通機関が充実している

「ある程度あてはまる」が28.6%と最も多く、ついで「あまりあてはまらない」が27.6%、「どちらともいえない」が23.8%となっています。

選択肢	合計	割合
非常にあてはまる	90	11.1%
ある程度あてはまる	233	28.6%
どちらともいえない	194	23.8%
あまりあてはまらない	225	27.6%
全くあてはまらない	63	7.7%
無回答・無効	9	1.1%
回答者数	814	100.0%

無回答	9	1.1%
無効	0	0.0%

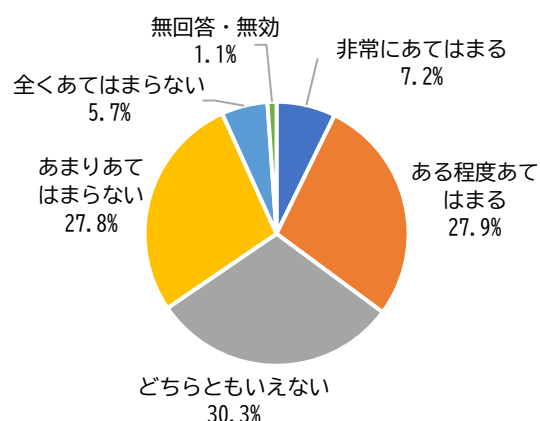


7. 市内の道路は安全で快適に利用できる

「どちらともいえない」が30.3%と最も多く、ついで「ある程度あてはまる」が27.9%、「あまりあてはまらない」が27.8%となっています。

選択肢	合計	割合
非常にあてはまる	59	7.2%
ある程度あてはまる	227	27.9%
どちらともいえない	247	30.3%
あまりあてはまらない	226	27.8%
全くあてはまらない	46	5.7%
無回答・無効	9	1.1%
回答者数	814	100.0%

無回答	9	1.1%
無効	0	0.0%

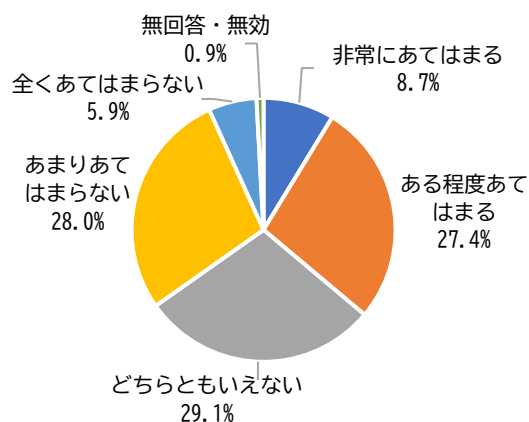


8. 徒歩や自転車での移動がしやすい

「どちらともいえない」が29.1%と最も多く、ついで「あまりあてはまらない」が28.0%、「ある程度あてはまる」が27.4%となっています。

選択肢	合計	割合
非常にあてはまる	71	8.7%
ある程度あてはまる	223	27.4%
どちらともいえない	237	29.1%
あまりあてはまらない	228	28.0%
全くあてはまらない	48	5.9%
無回答・無効	7	0.9%
回答者数	814	100.0%

無回答	7	0.9%
無効	0	0.0%

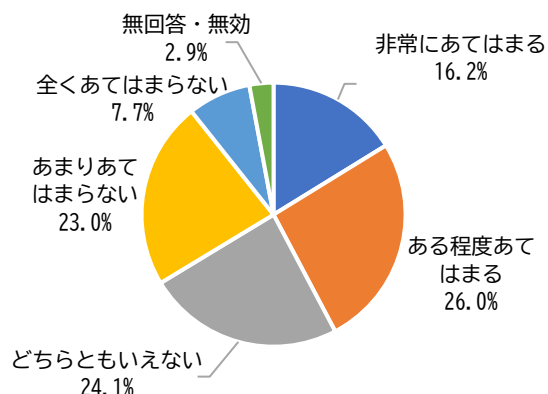


9. 自宅から職場へ通いやすい

「ある程度あてはまる」が26.0%と最も多く、ついで「どちらともいえない」が24.1%、「あまりあてはまらない」が23.0%となっています。

選択肢	合計	割合
非常にあてはまる	132	16.2%
ある程度あてはまる	212	26.0%
どちらともいえない	196	24.1%
あまりあてはまらない	187	23.0%
全くあてはまらない	63	7.7%
無回答・無効	24	2.9%
回答者数	814	100.0%

無回答	24	2.9%
無効	0	0.0%

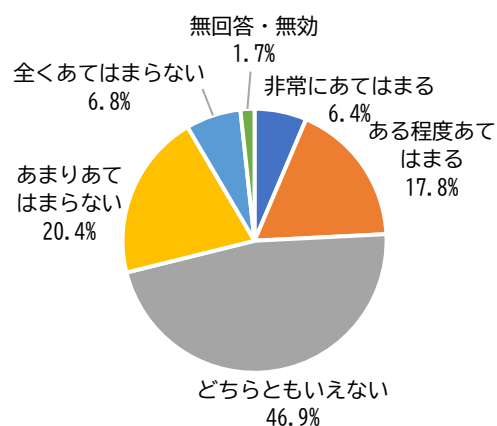


10. 地元で就労しやすい

「どちらともいえない」が46.9%と最も多く、ついで「あまりあてはまらない」が20.4%、「ある程度あてはまる」が17.8%となっています。

選択肢	合計	割合
非常にあてはまる	52	6.4%
ある程度あてはまる	145	17.8%
どちらともいえない	382	46.9%
あまりあてはまらない	166	20.4%
全くあてはまらない	55	6.8%
無回答・無効	14	1.7%
回答者数	814	100.0%

無回答	14	1.7%
無効	0	0.0%

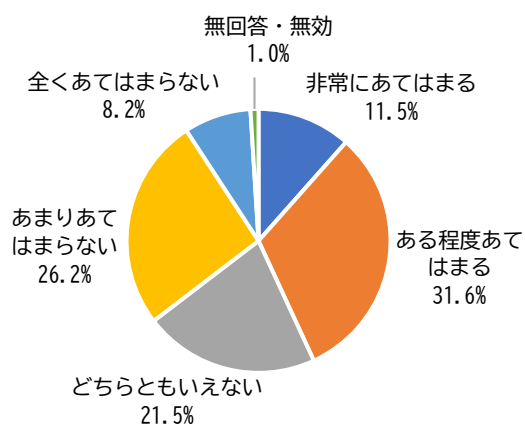


11. 騒音などが少なく、まちが静かである

「ある程度あてはまる」が31.6%と最も多く、ついで「あまりあてはまらない」が26.2%、「どちらともいえない」が21.5%となっています。

選択肢	合計	割合
非常にあてはまる	94	11.5%
ある程度あてはまる	257	31.6%
どちらともいえない	175	21.5%
あまりあてはまらない	213	26.2%
全くあてはまらない	67	8.2%
無回答・無効	8	1.0%
回答者数	814	100.0%

無回答	8	1.0%
無効	0	0.0%

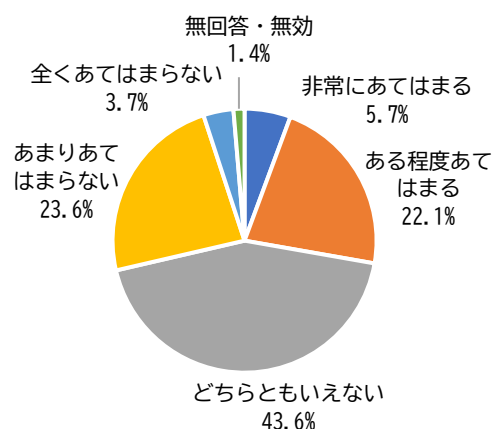


12. 土地・住宅価格や家賃が手頃である

「どちらともいえない」が43.6%と最も多く、ついで「あまりあてはまらない」が23.6%、「ある程度あてはまる」が22.1%となっています。

選択肢	合計	割合
非常にあてはまる	46	5.7%
ある程度あてはまる	180	22.1%
どちらともいえない	355	43.6%
あまりあてはまらない	192	23.6%
全くあてはまらない	30	3.7%
無回答・無効	11	1.4%
回答者数	814	100.0%

無回答	11	1.4%
無効	0	0.0%

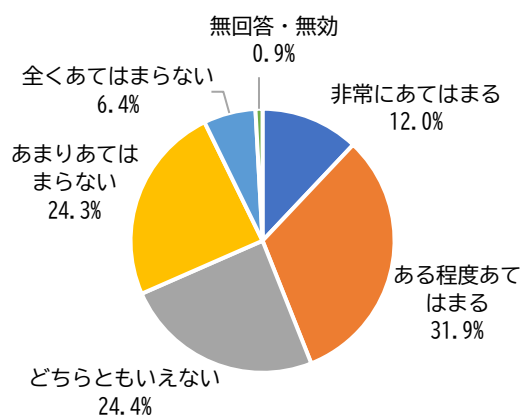


13. 公園や川沿いなど心地よく歩ける場所がある

「ある程度あてはまる」が31.9%と最も多く、ついで「どちらともいえない」が24.4%、「あまりあてはまらない」が24.3%となっています。

選択肢	合計	割合
非常にあてはまる	98	12.0%
ある程度あてはまる	260	31.9%
どちらともいえない	199	24.4%
あまりあてはまらない	198	24.3%
全くあてはまらない	52	6.4%
無回答・無効	7	0.9%
回答者数	814	100.0%

無回答	7	0.9%
無効	0	0.0%

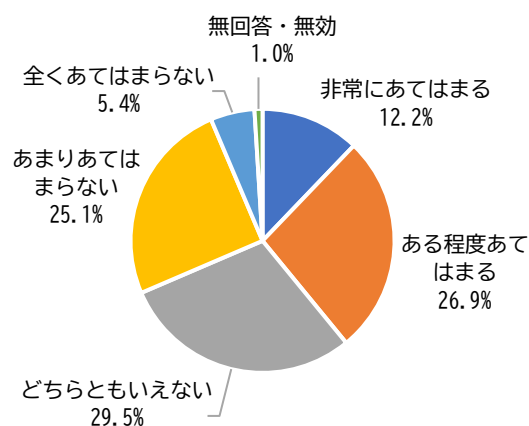


14. 魅力的な都市景観がある

「どちらともいえない」が29.5%と最も多く、ついで「ある程度あてはまる」が26.9%、「あまりあてはまらない」が25.1%となっています。

選択肢	合計	割合
非常にあてはまる	99	12.2%
ある程度あてはまる	219	26.9%
どちらともいえない	240	29.5%
あまりあてはまらない	204	25.1%
全くあてはまらない	44	5.4%
無回答・無効	8	1.0%
回答者数	814	100.0%

無回答	8	1.0%
無効	0	0.0%

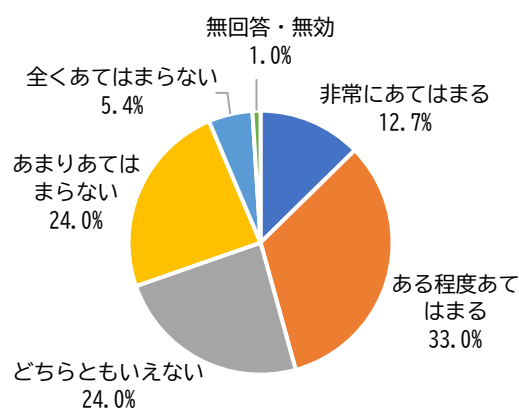


15. 魅力的な自然景観がある

「ある程度あてはまる」が33.0%と最も多く、ついで「どちらともいえない」、「あまりあてはまらない」が24.0%となっています。

選択肢	合計	割合
非常にあてはまる	103	12.7%
ある程度あてはまる	269	33.0%
どちらともいえない	195	24.0%
あまりあてはまらない	195	24.0%
全くあてはまらない	44	5.4%
無回答・無効	8	1.0%
回答者数	814	100.0%

無回答	7	0.9%
無効	1	0.1%

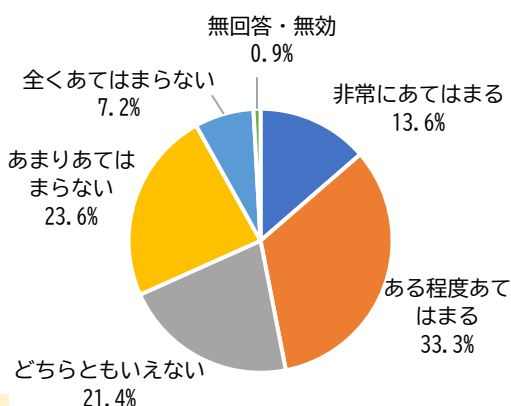


16. 身近に自然を感じることができる

「ある程度あてはまる」が33.3%と最も多く、ついで「あまりあてはまらない」が23.6%、「どちらともいえない」が21.4%となっています。

選択肢	合計	割合
非常にあてはまる	111	13.6%
ある程度あてはまる	271	33.3%
どちらともいえない	174	21.4%
あまりあてはまらない	192	23.6%
全くあてはまらない	59	7.2%
無回答・無効	7	0.9%
回答者数	814	100.0%

無回答	7	0.9%
無効	0	0.0%

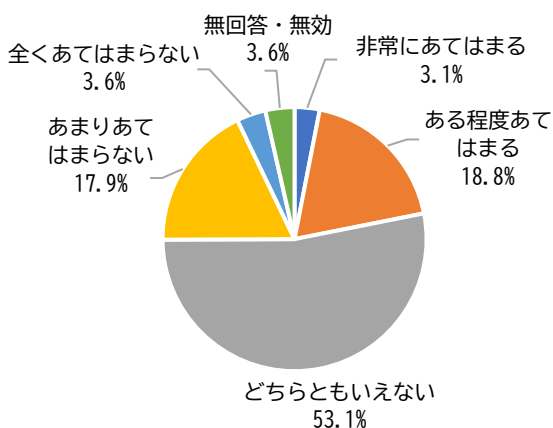


17. 自治体による出産・子育て支援の施策が充実している

「どちらともいえない」が53.1%と最も多く、ついで「ある程度あてはまる」が18.8%、「あまりあてはまらない」が17.9%となっています。

選択肢	合計	割合
非常にあてはまる	25	3.1%
ある程度あてはまる	153	18.8%
どちらともいえない	432	53.1%
あまりあてはまらない	146	17.9%
全くあてはまらない	29	3.6%
無回答・無効	29	3.6%
回答者数	814	100.0%

無回答	29	3.6%
無効	0	0.0%

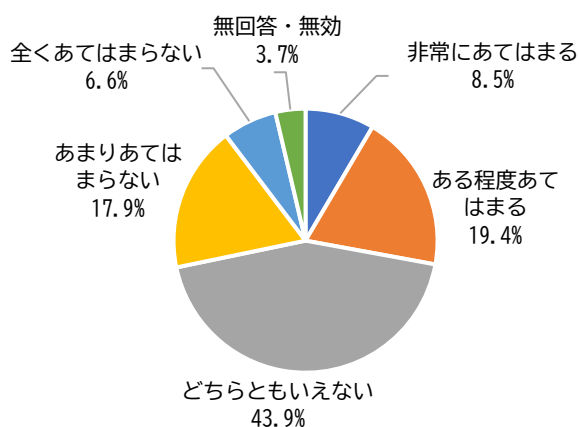


18. 子育てについて相談できる相手が近くにいる

「どちらともいえない」が43.9%と最も多く、ついで「ある程度あてはまる」が19.4%、「あまりあてはまらない」が17.9%となっています。

選択肢	合計	割合
非常にあてはまる	69	8.5%
ある程度あてはまる	158	19.4%
どちらともいえない	357	43.9%
あまりあてはまらない	146	17.9%
全くあてはまらない	54	6.6%
無回答・無効	30	3.7%
回答者数	814	100.0%

無回答	30	3.7%
無効	0	0.0%

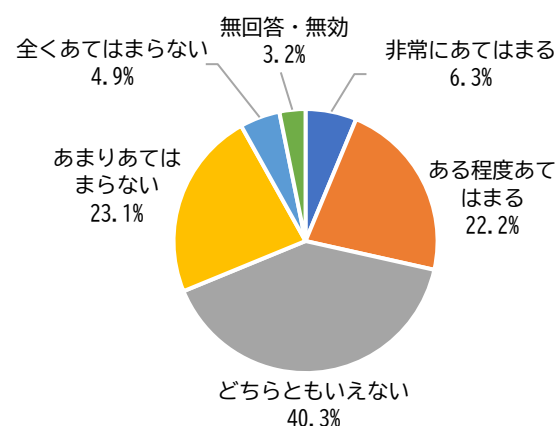


19. 子どもが安心して遊べる場所がある

「どちらともいえない」が40.3%と最も多く、ついで「あまりあてはまらない」が23.1%、「ある程度あてはまる」が22.2%となっています。

選択肢	合計	割合
非常にあてはまる	51	6.3%
ある程度あてはまる	181	22.2%
どちらともいえない	328	40.3%
あまりあてはまらない	188	23.1%
全くあてはまらない	40	4.9%
無回答・無効	26	3.2%
回答者数	814	100.0%

無回答	26	3.2%
無効	0	0.0%

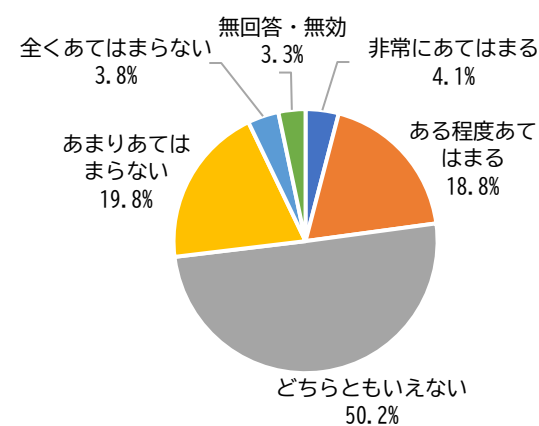


20. 教育環境が整っている

「どちらともいえない」が50.2%と最も多く、ついで「あまりあてはまらない」が19.8%、「ある程度あてはまる」が18.8%となっています。

選択肢	合計	割合
非常にあてはまる	33	4.1%
ある程度あてはまる	153	18.8%
どちらともいえない	409	50.2%
あまりあてはまらない	161	19.8%
全くあてはまらない	31	3.8%
無回答・無効	27	3.3%
回答者数	814	100.0%

無回答	26	3.2%
無効	1	0.1%

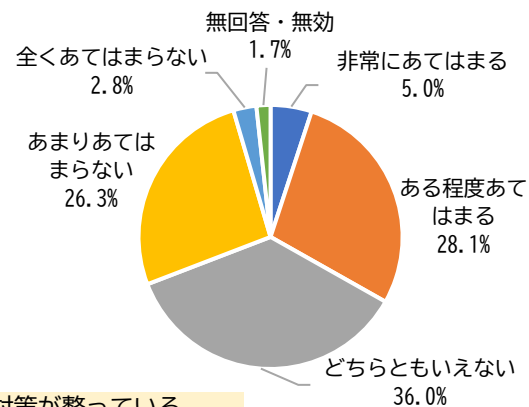


21. 自宅の近くに避難場所があるなど防災対策が整っている

「どちらともいえない」が36.0%と最も多く、ついで「ある程度あてはまる」が28.1%、「あまりあてはまらない」が26.3%となっています。

選択肢	合計	割合
非常にあてはまる	41	5.0%
ある程度あてはまる	229	28.1%
どちらともいえない	293	36.0%
あまりあてはまらない	214	26.3%
全くあてはまらない	23	2.8%
無回答・無効	14	1.7%
回答者数	814	100.0%

無回答	14	1.7%
無効	0	0.0%

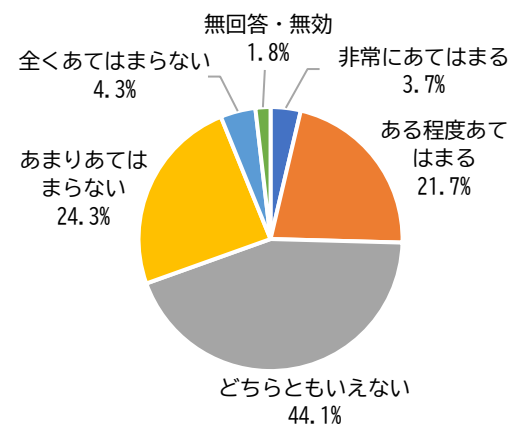


22. 交番・街灯・防犯カメラや住民による見守りなど防犯対策が整っている

「どちらともいえない」が44.1%と最も多く、ついで「あまりあてはまらない」が24.3%、「ある程度あてはまる」が21.7%となっています。

選択肢	合計	割合
非常にあてはまる	30	3.7%
ある程度あてはまる	177	21.7%
どちらともいえない	359	44.1%
あまりあてはまらない	198	24.3%
全くあてはまらない	35	4.3%
無回答・無効	15	1.8%
回答者数	814	100.0%

無回答	15	1.8%
無効	0	0.0%

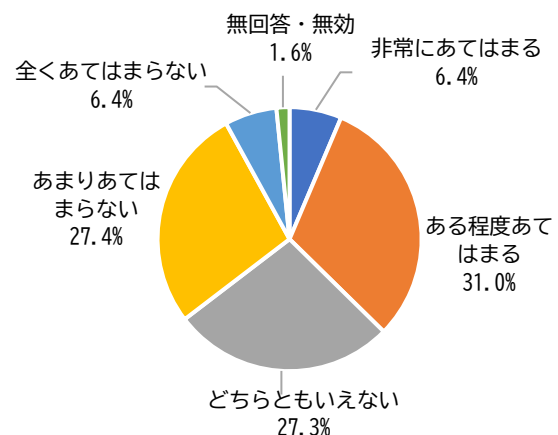


23. 歩道や信号が整備されている

「ある程度あてはまる」が31.0%と最も多く、ついで「あまりあてはまらない」が27.4%、「どちらともいえない」が27.3%となっています。

選択肢	合計	割合
非常にあてはまる	52	6.4%
ある程度あてはまる	252	31.0%
どちらともいえない	222	27.3%
あまりあてはまらない	223	27.4%
全くあてはまらない	52	6.4%
無回答・無効	13	1.6%
回答者数	814	100.0%

無回答	13	1.6%
無効	0	0.0%

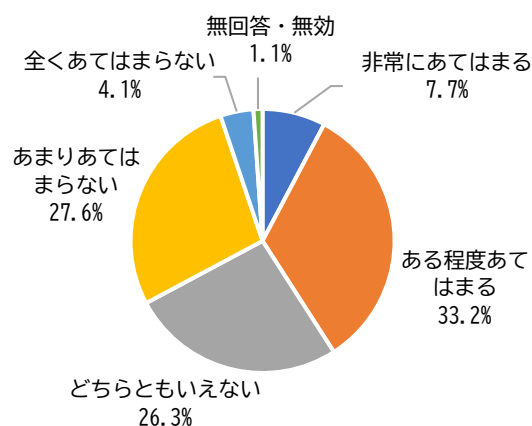


24. 医療機関が充実している

「ある程度あてはまる」が33.2%と最も多く、ついで「あまりあてはまらない」が27.6%、「どちらともいえない」が26.3%となっています。

選択肢	合計	割合
非常にあてはまる	63	7.7%
ある程度あてはまる	270	33.2%
どちらともいえない	214	26.3%
あまりあてはまらない	225	27.6%
全くあてはまらない	33	4.1%
無回答・無効	9	1.1%
回答者数	814	100.0%

無回答	9	1.1%
無効	0	0.0%

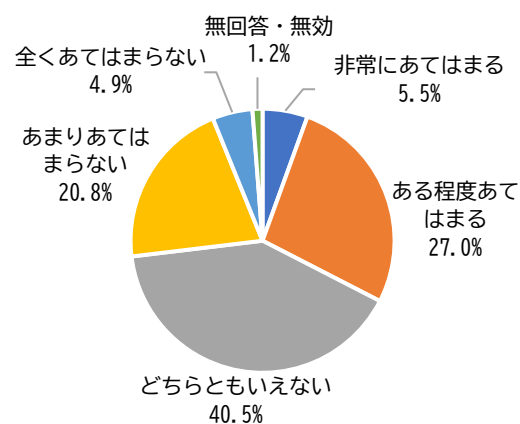


25. 夜間や緊急時の医療体制が整っている

「どちらともいえない」が40.5%と最も多く、ついで「ある程度あてはまる」が27.0%、「あまりあてはまらない」が20.8%となっています。

選択肢	合計	割合
非常にあてはまる	45	5.5%
ある程度あてはまる	220	27.0%
どちらともいえない	330	40.5%
あまりあてはまらない	169	20.8%
全くあてはまらない	40	4.9%
無回答・無効	10	1.2%
回答者数	814	100.0%

無回答	10	1.2%
無効	0	0.0%

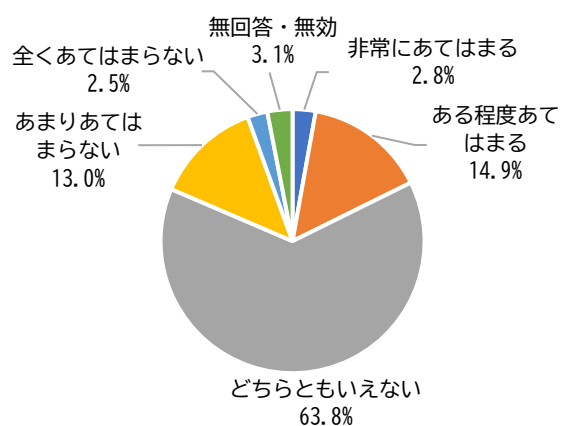


26. 介護・福祉施設のサービスが受けやすい

「どちらともいえない」が63.8%と最も多く、ついで「ある程度あてはまる」が14.9%、「あまりあてはまらない」が13.0%となっています。

選択肢	合計	割合
非常にあてはまる	23	2.8%
ある程度あてはまる	121	14.9%
どちらともいえない	519	63.8%
あまりあてはまらない	106	13.0%
全くあてはまらない	20	2.5%
無回答・無効	25	3.1%
回答者数	814	100.0%

無回答	24	2.9%
無効	1	0.1%

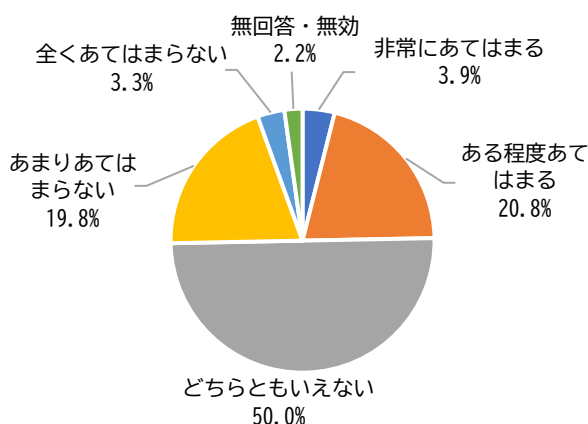


27. 行政サービスを利用しやすい

「どちらともいえない」が50.0%と最も多く、ついで「ある程度あてはまる」が20.8%、「あまりあてはまらない」が19.8%となっています。

選択肢	合計	割合
非常にあてはまる	32	3.9%
ある程度あてはまる	169	20.8%
どちらともいえない	407	50.0%
あまりあてはまらない	161	19.8%
全くあてはまらない	27	3.3%
無回答・無効	18	2.2%
回答者数	814	100.0%

無回答	18	2.2%
無効	0	0.0%

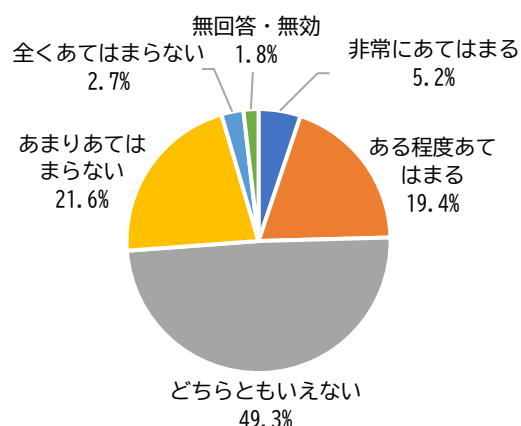


28. 公共施設は使い勝手がよく便利である

「どちらともいえない」が49.3%と最も多く、ついで「あまりあてはまらない」が21.6%、「ある程度あてはまる」が19.4%となっています。

選択肢	合計	割合
非常にあてはまる	42	5.2%
ある程度あてはまる	158	19.4%
どちらともいえない	401	49.3%
あまりあてはまらない	176	21.6%
全くあてはまらない	22	2.7%
無回答・無効	15	1.8%
回答者数	814	100.0%

無回答	15	1.8%
無効	0	0.0%

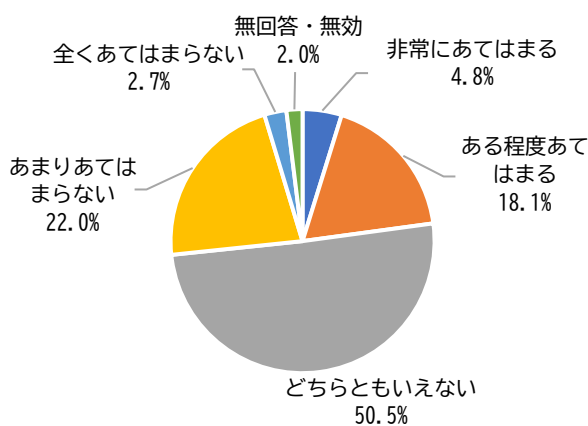


29. 行政の情報発信が充実している

「どちらともいえない」が50.5%と最も多く、ついで「あまりあてはまらない」が22.0%、「ある程度あてはまる」が18.1%となっています。

選択肢	合計	割合
非常にあてはまる	39	4.8%
ある程度あてはまる	147	18.1%
どちらともいえない	411	50.5%
あまりあてはまらない	179	22.0%
全くあてはまらない	22	2.7%
無回答・無効	16	2.0%
回答者数	814	100.0%

無回答	16	2.0%
無効	0	0.0%

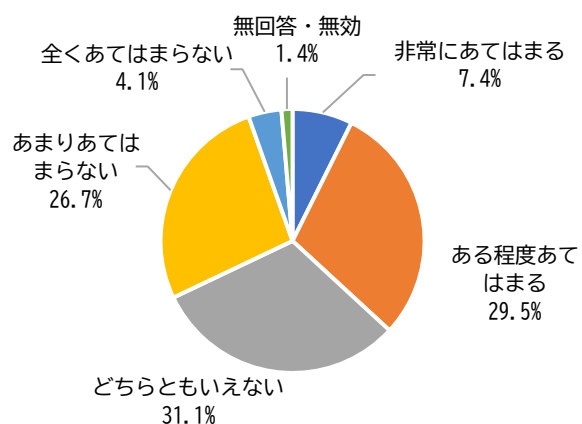


30. まちのイメージがよい

「どちらともいえない」が31.1%と最も多く、ついで「ある程度あてはまる」が29.5%、「あまりあてはまらない」が26.7%となっています。

選択肢	合計	割合
非常にあてはまる	60	7.4%
ある程度あてはまる	240	29.5%
どちらともいえない	253	31.1%
あまりあてはまらない	217	26.7%
全くあてはまらない	33	4.1%
無回答・無効	11	1.4%
回答者数	814	100.0%

無回答	11	1.4%
無効	0	0.0%

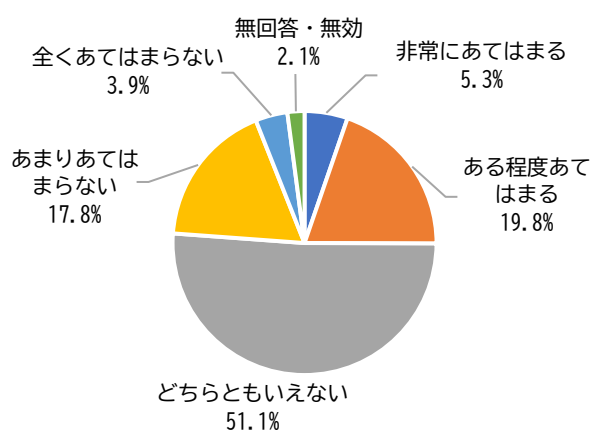


31. 様々な地域参加の機会がある

「どちらともいえない」が51.1%と最も多く、ついで「ある程度あてはまる」が19.8%、「あまりあてはまらない」が17.8%となっています。

選択肢	合計	割合
非常にあてはまる	43	5.3%
ある程度あてはまる	161	19.8%
どちらともいえない	416	51.1%
あまりあてはまらない	145	17.8%
全くあてはまらない	32	3.9%
無回答・無効	17	2.1%
回答者数	814	100.0%

無回答	17	2.1%
無効	0	0.0%

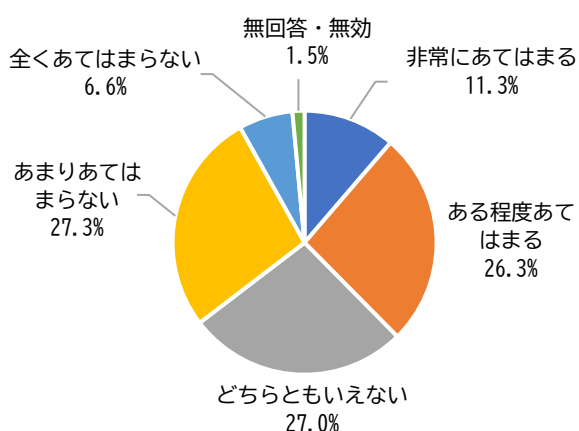


32. まちへの愛着を感じる

「あまりあてはまらない」が27.3%と最も多く、ついで「どちらともいえない」が27.0%、「ある程度あてはまる」が26.3%となっています。

選択肢	合計	割合
非常にあてはまる	92	11.3%
ある程度あてはまる	214	26.3%
どちらともいえない	220	27.0%
あまりあてはまらない	222	27.3%
全くあてはまらない	54	6.6%
無回答・無効	12	1.5%
回答者数	814	100.0%

無回答	12	1.5%
無効	0	0.0%



7. これからのまちづくりについて

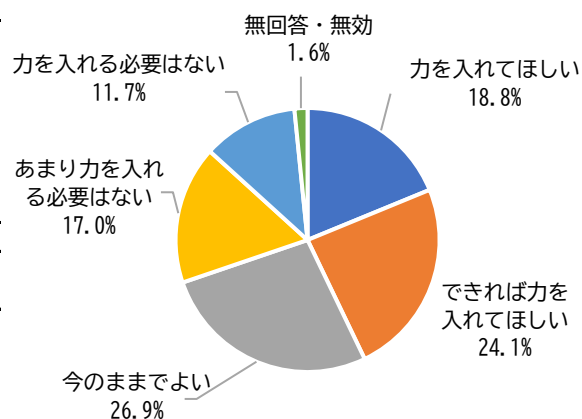
【問3 1】 宇治市のまちづくりについて、今後の重要度をお答えください。（項目ごとにあてはまるもの1つに○）

1. 商店街などのにぎわいづくり

「今のままでよい」が26.9%と最も多く、ついで「できれば力を入れてほしい」が24.1%、「力を入れてほしい」が18.8%となっています。

選択肢	合計	割合
力を入れてほしい	153	18.8%
できれば力を入れてほしい	196	24.1%
今のままでよい	219	26.9%
あまり力を入れる必要はない	138	17.0%
力を入れる必要はない	95	11.7%
無回答・無効	13	1.6%
回答者数	814	100.0%

無回答	13	1.6%
無効	0	0.0%

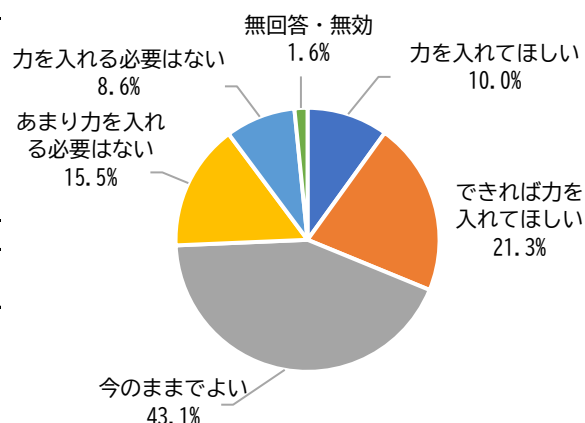


2. スポーツ・食育などを通じた健康づくり

「今のままでよい」が43.1%と最も多く、ついで「できれば力を入れてほしい」が21.3%、「あまり力を入れる必要はない」が15.5%となっています。

選択肢	合計	割合
力を入れてほしい	81	10.0%
できれば力を入れてほしい	173	21.3%
今のままでよい	351	43.1%
あまり力を入れる必要はない	126	15.5%
力を入れる必要はない	70	8.6%
無回答・無効	13	1.6%
回答者数	814	100.0%

無回答	13	1.6%
無効	0	0.0%

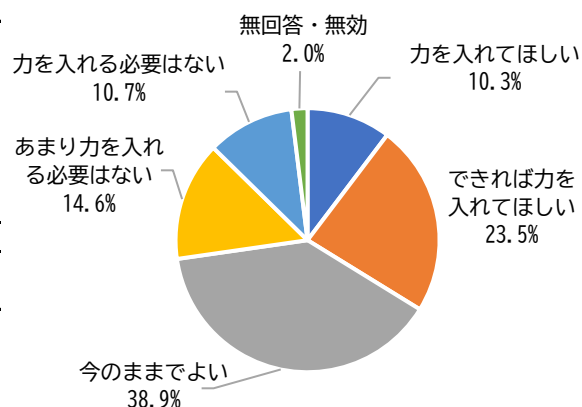


3. 学びやスポーツ・文化活動の機会づくり

「今のままでよい」が38.9%と最も多く、ついで「できれば力を入れてほしい」が23.5%、「あまり力を入れる必要はない」が14.6%となっています。

選択肢	合計	割合
力を入れてほしい	84	10.3%
できれば力を入れてほしい	191	23.5%
今のままでよい	317	38.9%
あまり力を入れる必要はない	119	14.6%
力を入れる必要はない	87	10.7%
無回答・無効	16	2.0%
回答者数	814	100.0%

無回答	16	2.0%
無効	0	0.0%

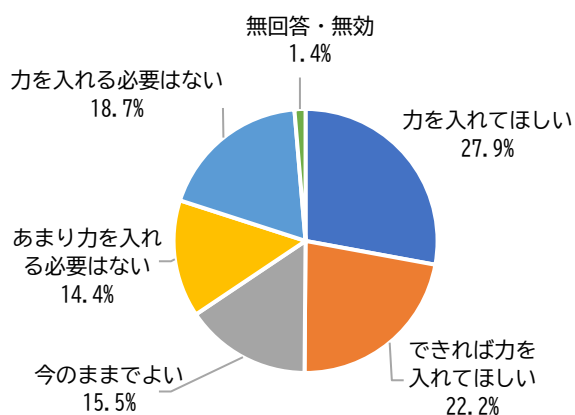


4. 誰もが移動しやすい交通環境の充実

「力を入れてほしい」が27.9%と最も多く、ついで「できれば力を入れてほしい」が22.2%、「力を入れる必要はない」が18.7%となっています。

選択肢	合計	割合
力を入れてほしい	227	27.9%
できれば力を入れてほしい	181	22.2%
今のままでよい	126	15.5%
あまり力を入れる必要はない	117	14.4%
力を入れる必要はない	152	18.7%
無回答・無効	11	1.4%
回答者数	814	100.0%

無回答	11	1.4%
無効	0	0.0%

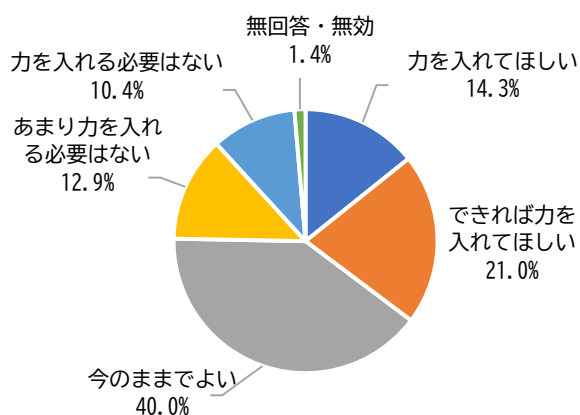


5. 豊かな自然環境

「今のままでよい」が40.0%と最も多く、ついで「できれば力を入れてほしい」が21.0%、「力を入れてほしい」が14.3%となっています。

選択肢	合計	割合
力を入れてほしい	116	14.3%
できれば力を入れてほしい	171	21.0%
今のままでよい	326	40.0%
あまり力を入れる必要はない	105	12.9%
力を入れる必要はない	85	10.4%
無回答・無効	11	1.4%
回答者数	814	100.0%

無回答	11	1.4%
無効	0	0.0%

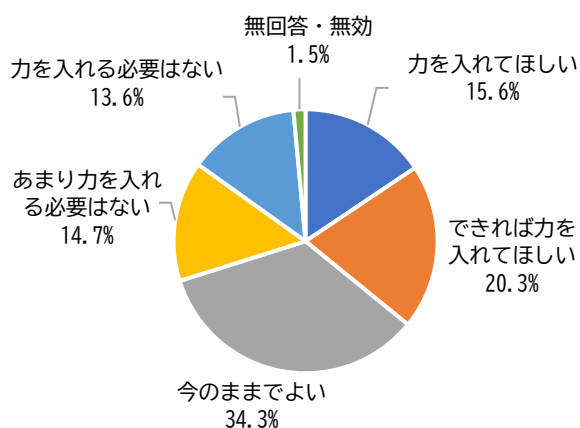


6. 良好なまちなみ・景観の形成

「今のままでよい」が34.3%と最も多く、ついで「できれば力を入れてほしい」が20.3%、「力を入れてほしい」が15.6%となっています。

選択肢	合計	割合
力を入れてほしい	127	15.6%
できれば力を入れてほしい	165	20.3%
今のままでよい	279	34.3%
あまり力を入れる必要はない	120	14.7%
力を入れる必要はない	111	13.6%
無回答・無効	12	1.5%
回答者数	814	100.0%

無回答	12	1.5%
無効	0	0.0%

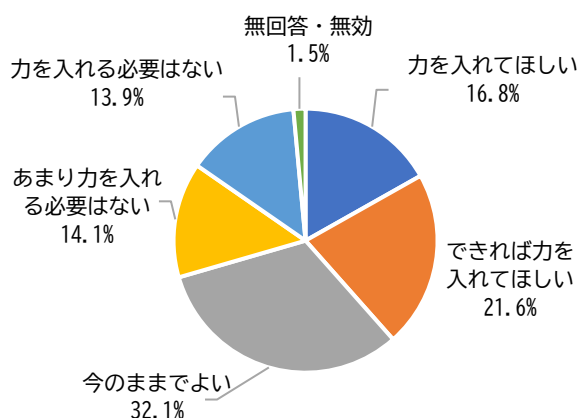


7. 公園や水辺などのうるおいある環境づくり

「今のままでよい」が32.1%と最も多く、ついで「できれば力を入れてほしい」が21.6%、「力を入れてほしい」が16.8%となっています。

選択肢	合計	割合
力を入れてほしい	137	16.8%
できれば力を入れてほしい	176	21.6%
今のままでよい	261	32.1%
あまり力を入れる必要はない	115	14.1%
力を入れる必要はない	113	13.9%
無回答・無効	12	1.5%
回答者数	814	100.0%

無回答	12	1.5%
無効	0	0.0%

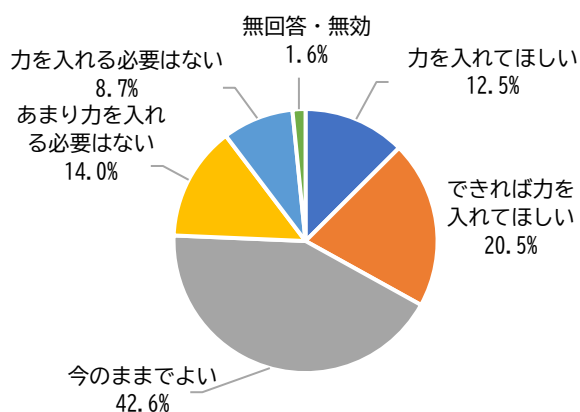


8. 伝統や文化の継承・発展

「今のままでよい」が42.6%と最も多く、ついで「できれば力を入れてほしい」が20.5%、「あまり力を入れる必要はない」が14.0%となっています。

選択肢	合計	割合
力を入れてほしい	102	12.5%
できれば力を入れてほしい	167	20.5%
今のままでよい	347	42.6%
あまり力を入れる必要はない	114	14.0%
力を入れる必要はない	71	8.7%
無回答・無効	13	1.6%
回答者数	814	100.0%

無回答	12	1.5%
無効	1	0.1%

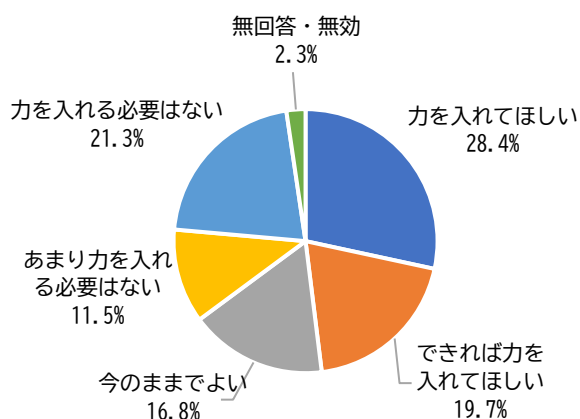


9. 子育てしやすいまちづくり

「力を入れてほしい」が28.4%と最も多く、ついで「力を入れる必要はない」が21.3%、「できれば力を入れてほしい」が19.7%となっています。

選択肢	合計	割合
力を入れてほしい	231	28.4%
できれば力を入れてほしい	160	19.7%
今のままでよい	137	16.8%
あまり力を入れる必要はない	94	11.5%
力を入れる必要はない	173	21.3%
無回答・無効	19	2.3%
回答者数	814	100.0%

無回答	18	2.2%
無効	1	0.1%

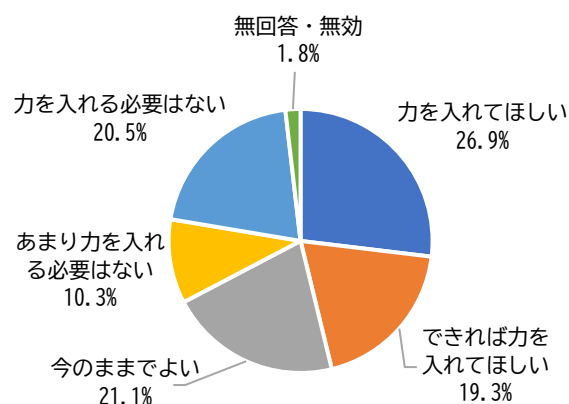


10. 教育環境の充実

「力を入れてほしい」が26.9%と最も多く、ついで「今のままでよい」が21.1%、「力を入れる必要はない」が20.5%となっています。

選択肢	合計	割合
力を入れてほしい	219	26.9%
できれば力を入れてほしい	157	19.3%
今のままでよい	172	21.1%
あまり力を入れる必要はない	84	10.3%
力を入れる必要はない	167	20.5%
無回答・無効	15	1.8%
回答者数	814	100.0%

無回答	15	1.8%
無効	0	0.0%

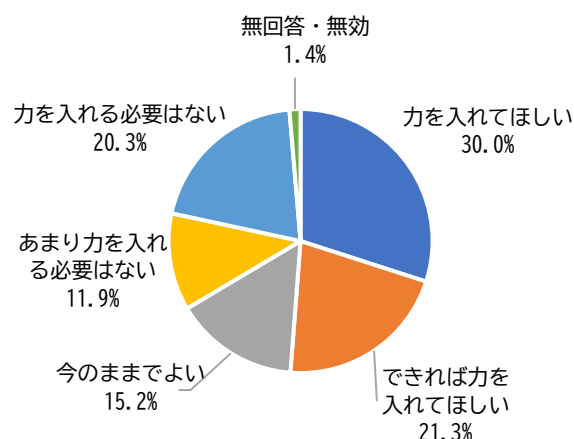


11. 災害に強いまちづくり

「力を入れてほしい」が30.0%と最も多く、ついで「できれば力を入れてほしい」が21.3%、「力を入れる必要はない」が20.3%となっています。

選択肢	合計	割合
力を入れてほしい	244	30.0%
できれば力を入れてほしい	173	21.3%
今のままでよい	124	15.2%
あまり力を入れる必要はない	97	11.9%
力を入れる必要はない	165	20.3%
無回答・無効	11	1.4%
回答者数	814	100.0%

無回答	10	1.2%
無効	1	0.1%

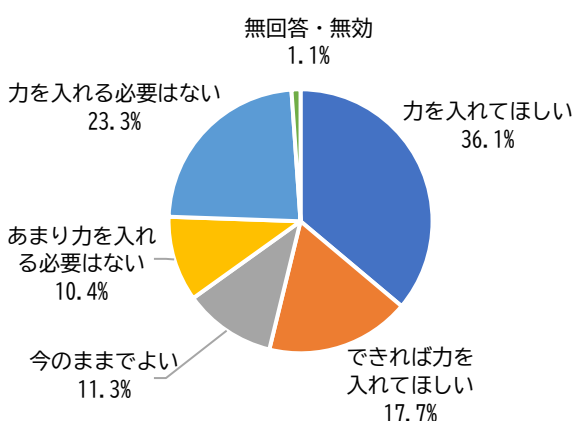


12. 犯罪や事故が起こりにくいまちづくり

「力を入れてほしい」が36.1%と最も多く、ついで「力を入れる必要はない」が23.3%、「できれば力を入れてほしい」が17.7%となっています。

選択肢	合計	割合
力を入れてほしい	294	36.1%
できれば力を入れてほしい	144	17.7%
今のままでよい	92	11.3%
あまり力を入れる必要はない	85	10.4%
力を入れる必要はない	190	23.3%
無回答・無効	9	1.1%
回答者数	814	100.0%

無回答	9	1.1%
無効	0	0.0%

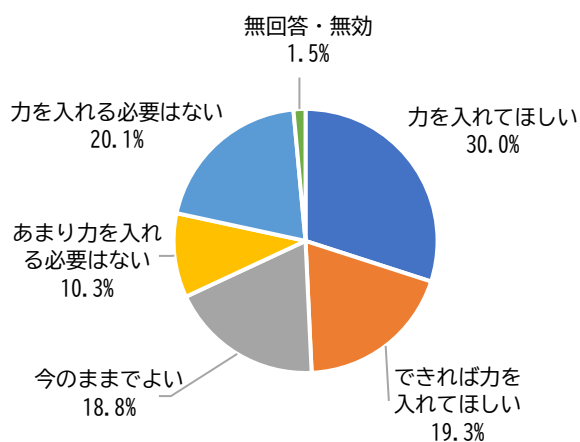


13. 医療・福祉サービスの充実

「力を入れてほしい」が30.0%と最も多く、ついで「力を入れる必要はない」が20.1%、「できれば力を入れてほしい」が19.3%となっています。

選択肢	合計	割合
力を入れてほしい	244	30.0%
できれば力を入れてほしい	157	19.3%
今のままでよい	153	18.8%
あまり力を入れる必要はない	84	10.3%
力を入れる必要はない	164	20.1%
無回答・無効	12	1.5%
回答者数	814	100.0%

無回答	12	1.5%
無効	0	0.0%

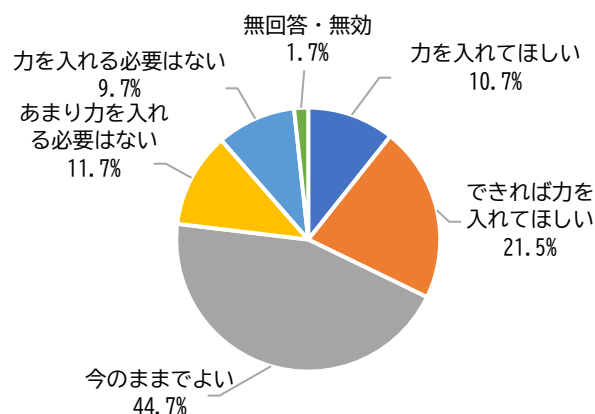


14. 活発な地域活動の促進

「今のままでよい」が44.7%と最も多く、ついで「できれば力を入れてほしい」が21.5%、「あまり力を入れる必要はない」が11.7%となっています。

選択肢	合計	割合
力を入れてほしい	87	10.7%
できれば力を入れてほしい	175	21.5%
今のままでよい	364	44.7%
あまり力を入れる必要はない	95	11.7%
力を入れる必要はない	79	9.7%
無回答・無効	14	1.7%
回答者数	814	100.0%

無回答	14	1.7%
無効	0	0.0%

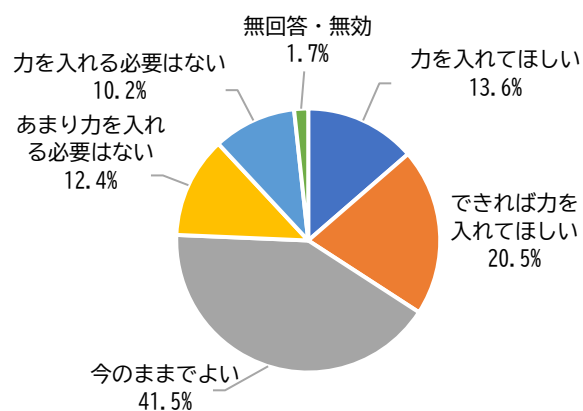


15. 市外への魅力発信、イメージの向上

「今のままでよい」が41.5%と最も多く、ついで「できれば力を入れてほしい」が20.5%、「力を入れてほしい」が13.6%となっています。

選択肢	合計	割合
力を入れてほしい	111	13.6%
できれば力を入れてほしい	167	20.5%
今のままでよい	338	41.5%
あまり力を入れる必要はない	101	12.4%
力を入れる必要はない	83	10.2%
無回答・無効	14	1.7%
回答者数	814	100.0%

無回答	14	1.7%
無効	0	0.0%



8. あなたご自身のことについて

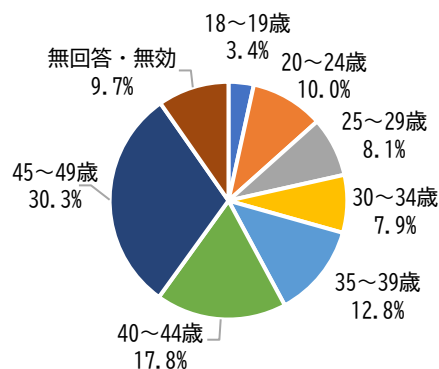
【問35】 あなたの年齢（令和6年4月1日時点）と性別をご記入ください。

【年齢】

「45～49歳」が30.3%と最も多く、ついで「40～44歳」が17.8%、「35～39歳」が12.8%となっています。

選択肢	合計	割合
18～19歳	28	3.4%
20～24歳	81	10.0%
25～29歳	66	8.1%
30～34歳	64	7.9%
35～39歳	104	12.8%
40～44歳	145	17.8%
45～49歳	247	30.3%
無回答・無効	79	9.7%
回答者数	814	100.0%

無回答	79	9.7%
無効	0	0.0%

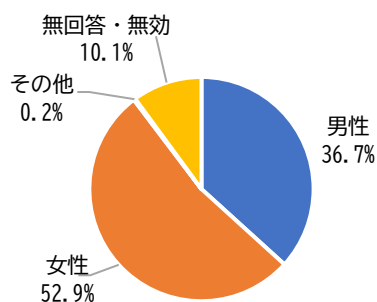


【性別】

「女性」が52.9%、ついで「男性」が36.7%となっています。

選択肢	合計	割合
男性	299	36.7%
女性	431	52.9%
その他	2	0.2%
無回答・無効	82	10.1%
回答者数	814	100.0%

無回答	82	10.1%
無効	0	0.0%

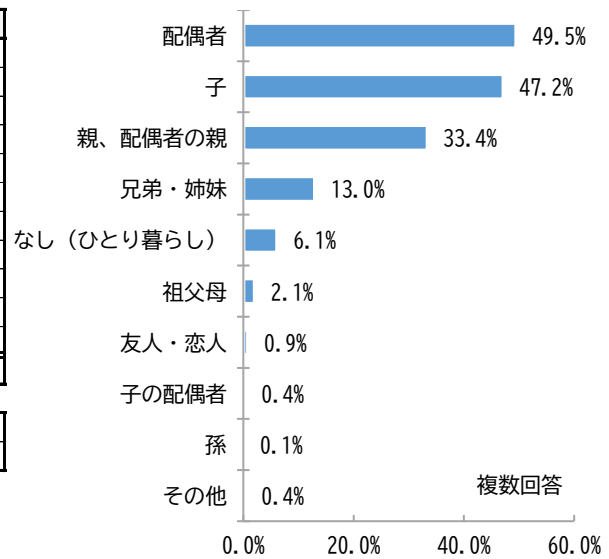


【問36】一緒に暮らしている方について教えてください。（あてはまるものすべてに○）

「配偶者」が49.5%と最も多く、ついで「子」が47.2%、「親、配偶者の親」が33.4%となっています。

選択肢	合計	割合
なし（ひとり暮らし）	50	6.1%
配偶者	403	49.5%
子	384	47.2%
子の配偶者	3	0.4%
親、配偶者の親	272	33.4%
兄弟・姉妹	106	13.0%
祖父母	17	2.1%
孫	1	0.1%
友人・恋人	7	0.9%
その他	3	0.4%
無回答・無効	79	9.7%
回答者数	814	100.0%

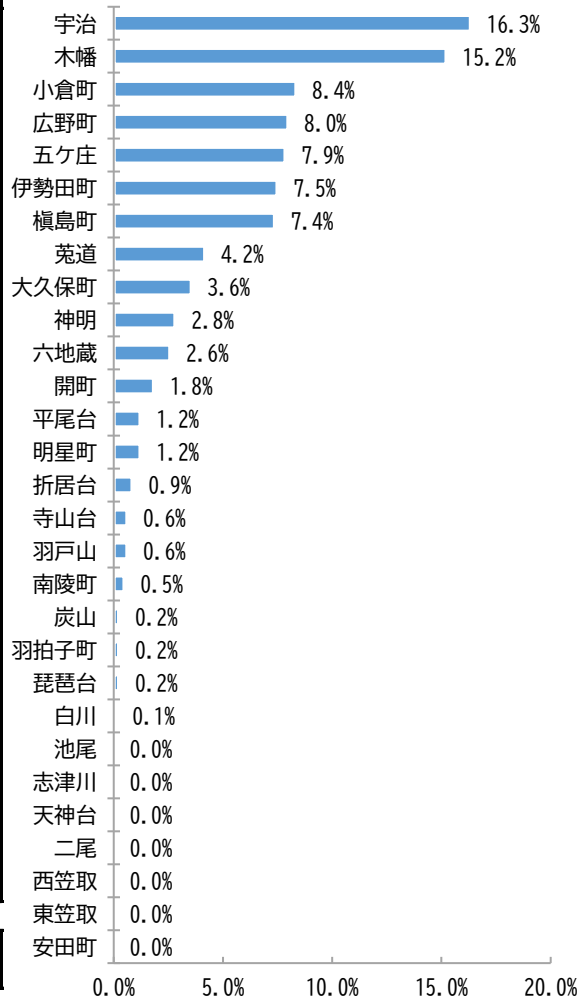
無回答	79	9.7%
無効	0	0.0%



【問37】 あなたのお住まいはどちらですか。（あてはまるもの1つに○）

「宇治」が16.3%と最も多く、ついで「木幡」が15.2%、「小倉町」が8.4%となっています。

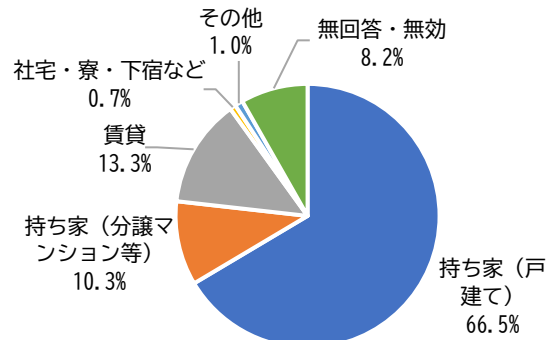
選択肢	合計	割合
池尾	0	0.0%
伊勢田町	61	7.5%
宇治	133	16.3%
大久保町	29	3.6%
小倉町	68	8.4%
折居台	7	0.9%
木幡	124	15.2%
五ヶ庄	64	7.9%
志津川	0	0.0%
白川	1	0.1%
神明	23	2.8%
炭山	2	0.2%
寺山台	5	0.6%
天神台	0	0.0%
菟道	34	4.2%
南陵町	4	0.5%
二尾	0	0.0%
西笠取	0	0.0%
羽戸山	5	0.6%
羽拍子町	2	0.2%
東笠取	0	0.0%
平尾台	10	1.2%
開町	15	1.8%
広野町	65	8.0%
琵琶台	2	0.2%
槇島町	60	7.4%
明星町	10	1.2%
安田町	0	0.0%
六地藏	21	2.6%
無回答・無効	69	8.5%
回答者数	814	100.0%
無回答	67	8.2%
無効	2	0.2%



【問38】 現在の住居について教えてください。（あてはまるもの1つに○）

「持ち家（戸建て）」が66.5%と最も多く、ついで「賃貸」が13.3%、「持ち家（分譲マンション等）」が10.3%となっています。

選択肢	合計	割合
持ち家（戸建て）	541	66.5%
持ち家（分譲マンション等）	84	10.3%
賃貸	108	13.3%
社宅・寮・下宿など	6	0.7%
その他	8	1.0%
無回答・無効	67	8.2%
回答者数	814	100.0%
無回答	67	8.2%
無効	0	0.0%

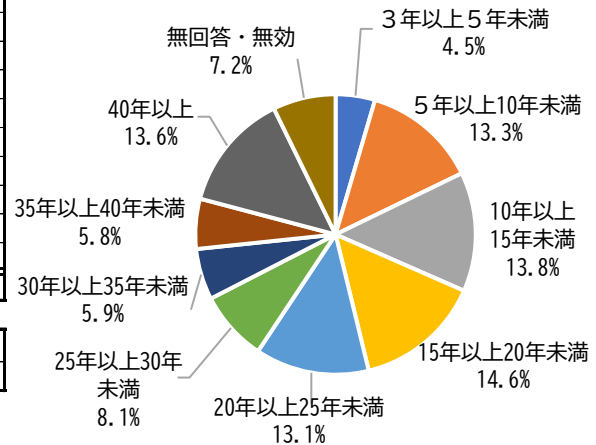


【問39】 宇治市での居住年数について教えてください。（あてはまるもの1つに○）

「15年以上20年未満」が14.6%と最も多く、ついで「10年以上15年未満」が13.8%、「40年以上」が13.6%となっています。

選択肢	合計	割合
3年以上5年未満	37	4.5%
5年以上10年未満	108	13.3%
10年以上15年未満	112	13.8%
15年以上20年未満	119	14.6%
20年以上25年未満	107	13.1%
25年以上30年未満	66	8.1%
30年以上35年未満	48	5.9%
35年以上40年未満	47	5.8%
40年以上	111	13.6%
無回答・無効	59	7.2%
回答者数	814	100.0%

無回答	59	7.2%
無効	0	0.0%



令和6年度 転入に関するアンケート調査結果

回答者数： n=538

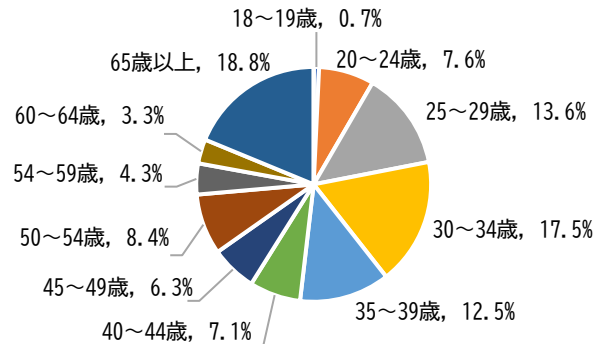
【問1】 あなたの年齢（令和6年4月1日時点）と性別をご記入ください。

【年齢】

「65歳以上」が18.8%と最も多く、ついで「30～34歳」が17.5%、「25～29歳」が13.6%となっています。

選択肢	合計	割合
18～19歳	4	0.7%
20～24歳	41	7.6%
25～29歳	73	13.6%
30～34歳	94	17.5%
35～39歳	67	12.5%
40～44歳	38	7.1%
45～49歳	34	6.3%
50～54歳	45	8.4%
54～59歳	23	4.3%
60～64歳	18	3.3%
65歳以上	101	18.8%
無回答・無効	0	0.0%
回答者数	538	100.0%

無回答	0	0.0%
無効	0	0.0%

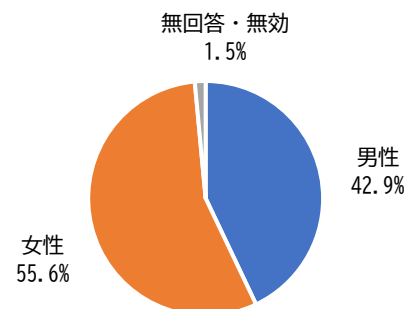


【性別】

「女性」が55.6%、ついで「男性」が42.9%となっています。

選択肢	合計	割合
男性	231	42.9%
女性	299	55.6%
無回答・無効	8	1.5%
回答者数	538	100.0%

無回答	7	1.3%
無効	1	0.2%

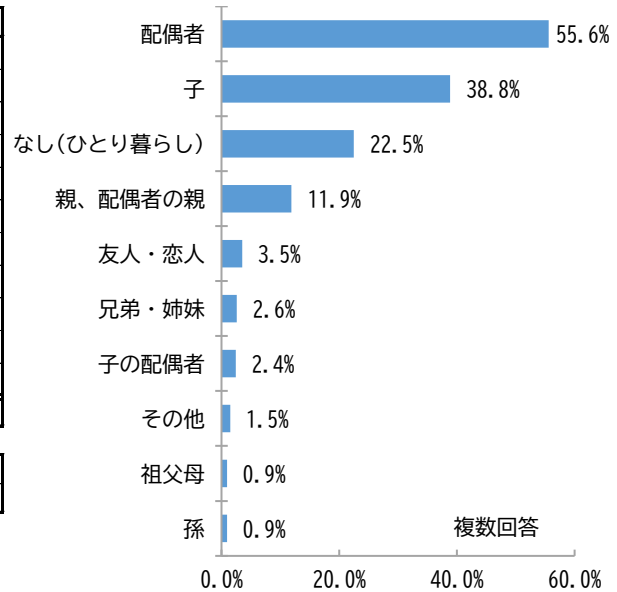


【問2】一緒に暮らしている方について教えてください。（あてはまるものすべてに○）

「配偶者」が55.6%と最も多く、ついで「子」が38.8%、「なし（ひとり暮らし）」が22.5%となっています。

選択肢	合計	割合
なし（ひとり暮らし）	121	22.5%
配偶者	299	55.6%
子	209	38.8%
子の配偶者	13	2.4%
親、配偶者の親	64	11.9%
兄弟・姉妹	14	2.6%
祖父母	5	0.9%
孫	5	0.9%
友人・恋人	19	3.5%
その他	8	1.5%
無回答・無効	6	1.1%
回答者数	538	100.0%

無回答	6	1.1%
無効	0	0.0%

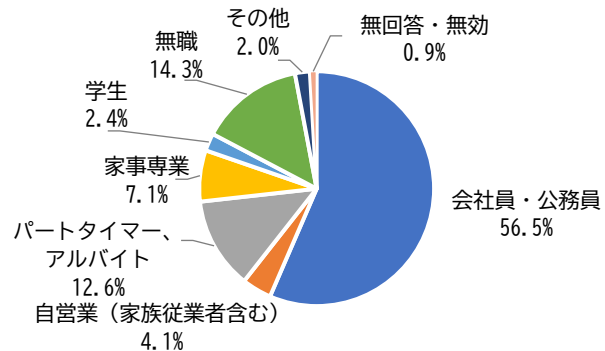


【問3】あなたのご職業について教えてください（あてはまるもの1つに○）

「会社員・公務員」が56.5%と最も多く、ついで「無職」が14.3%、「パートタイマー、アルバイト」が12.6%となっています。

選択肢	合計	割合
会社員・公務員	304	56.5%
自営業（家族従業者含む）	22	4.1%
パートタイマー、アルバイト	68	12.6%
家事専業	38	7.1%
学生	13	2.4%
無職	77	14.3%
その他	11	2.0%
無回答・無効	5	0.9%
回答者数	538	100.0%

無回答	4	0.7%
無効	1	0.2%

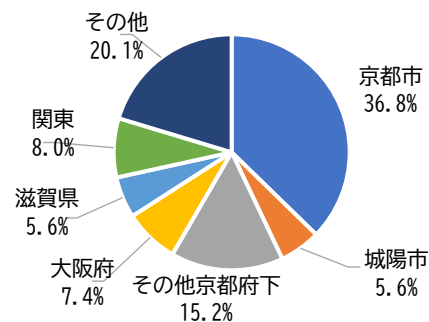


【問4】あなたの転入前のお住まいはどちらですか。

「その他」を除き、「京都市」が36.8%と最も多く、ついで「その他京都府下」が15.2%、「関東」が8.0%となっています。

選択肢	合計	割合
京都市	198	36.8%
城陽市	30	5.6%
その他京都府下	82	15.2%
大阪府	40	7.4%
滋賀県	30	5.6%
関東	43	8.0%
その他	108	20.1%
無回答・無効	7	1.3%
回答者数	538	100.0%

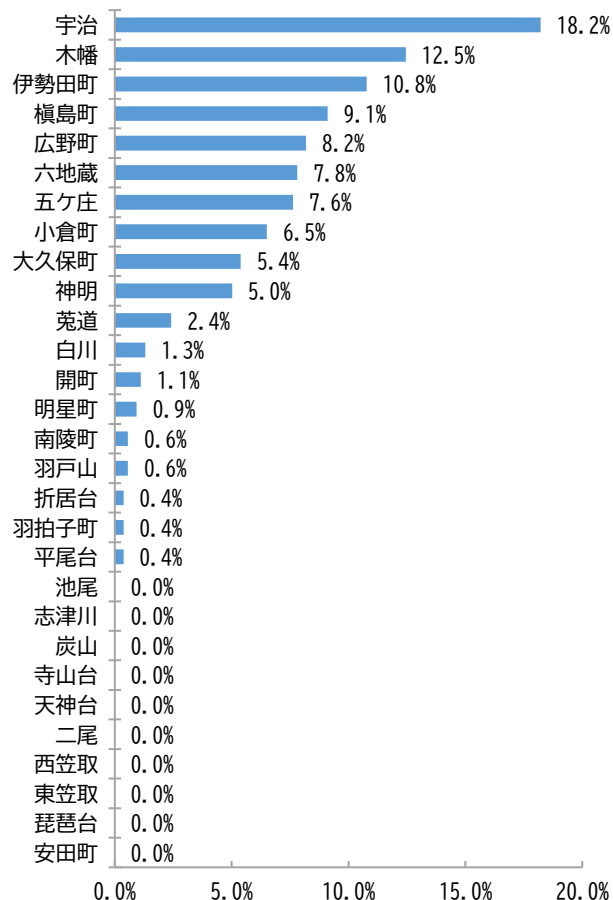
無回答	7	1.3%
無効	0	0.0%



【問5】 あなたの転入後の住まいはどちらですか。（あてはまるもの1つに○）

「宇治」が18.2%と最も多く、ついで「木幡」が12.5%、「伊勢田町」が10.8%となっています。

選択肢	合計	割合
池尾	0	0.0%
伊勢田町	58	10.8%
宇治	98	18.2%
大久保町	29	5.4%
小倉町	35	6.5%
折居台	2	0.4%
木幡	67	12.5%
五ヶ庄	41	7.6%
志津川	0	0.0%
白川	7	1.3%
神明	27	5.0%
炭山	0	0.0%
寺山台	0	0.0%
天神台	0	0.0%
菟道	13	2.4%
南陵町	3	0.6%
二尾	0	0.0%
西笠取	0	0.0%
羽戸山	3	0.6%
羽拍子町	2	0.4%
東笠取	0	0.0%
平尾台	2	0.4%
開町	6	1.1%
広野町	44	8.2%
琵琶台	0	0.0%
槇島町	49	9.1%
明星町	5	0.9%
安田町	0	0.0%
六地蔵	42	7.8%
無回答・無効	5	0.9%
回答者数	538	100.0%



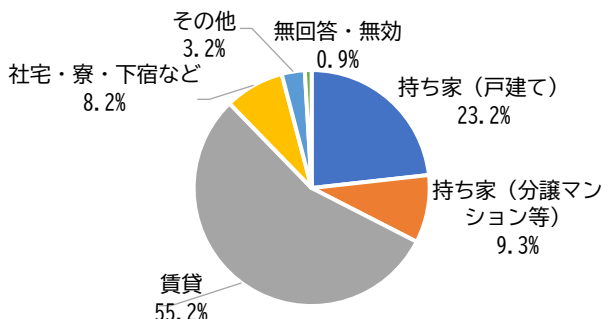
無回答	5	0.9%
無効	0	0.0%

【問6】 転入前後の住居について教えてください。（あてはまるものそれぞれ1つに○）

【転入前】

「賃貸」が55.2%と最も多く、ついで「持ち家（戸建て）」が23.2%、「持ち家（分譲マンション等）」が9.3%となっています。

選択肢	合計	割合
持ち家（戸建て）	125	23.2%
持ち家（分譲マンション等）	50	9.3%
賃貸	297	55.2%
社宅・寮・下宿など	44	8.2%
その他	17	3.2%
無回答・無効	5	0.9%
回答者数	538	100.0%



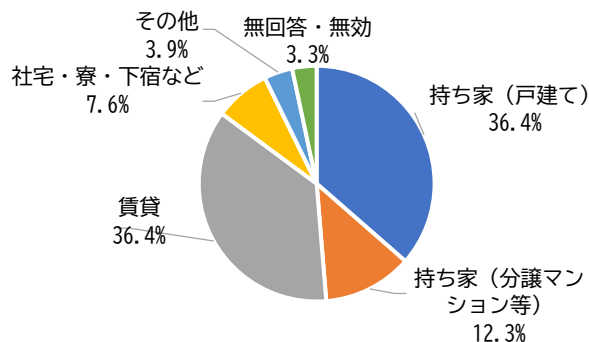
無回答	5	0.9%
無効	0	0.0%

【転入後】

「持ち家（戸建て）」、「賃貸」が36.4%と最も多く、ついで「持ち家（分譲マンション等）」が12.3%となっています。

選択肢	合計	割合
持ち家（戸建て）	196	36.4%
持ち家（分譲マンション等）	66	12.3%
賃貸	196	36.4%
社宅・寮・下宿など	41	7.6%
その他	21	3.9%
無回答・無効	18	3.3%
回答者数	538	100.0%

無回答	18	3.3%
無効	0	0.0%

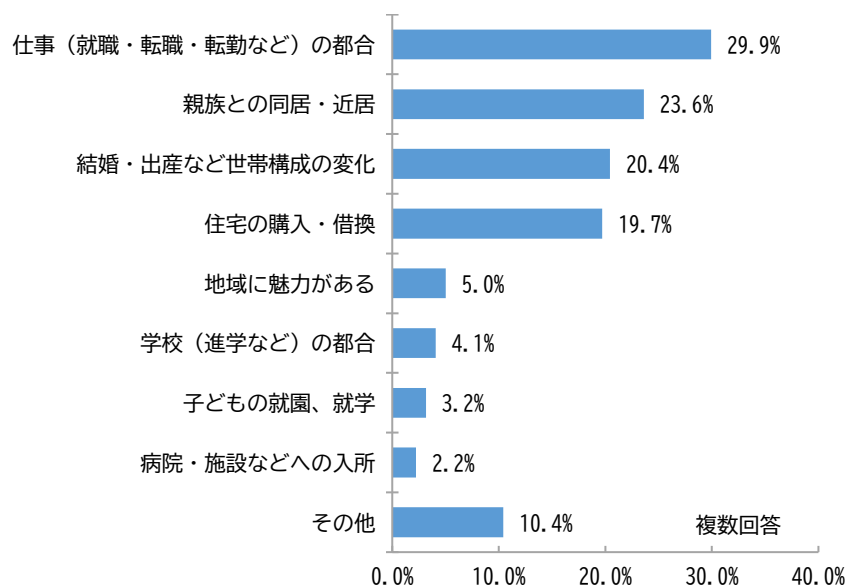


【問7】 転入された理由について教えてください。（あてはまるものすべてに○）

「仕事（就職・転職・転勤など）の都合」が29.9%と最も多く、ついで「親族との同居・近居」が23.6%、「結婚・出産など世帯構成の変化」が20.4%となっています。

選択肢	合計	割合
親族との同居・近居	127	23.6%
仕事（就職・転職・転勤など）の都合	161	29.9%
結婚・出産など世帯構成の変化	110	20.4%
学校（進学など）の都合	22	4.1%
住宅の購入・借換	106	19.7%
子どもの就園、就学	17	3.2%
病院・施設などへの入所	12	2.2%
地域に魅力がある	27	5.0%
その他	56	10.4%
無回答・無効	9	1.7%
回答者数	538	100.0%

無回答	9	1.7%
無効	0	0.0%

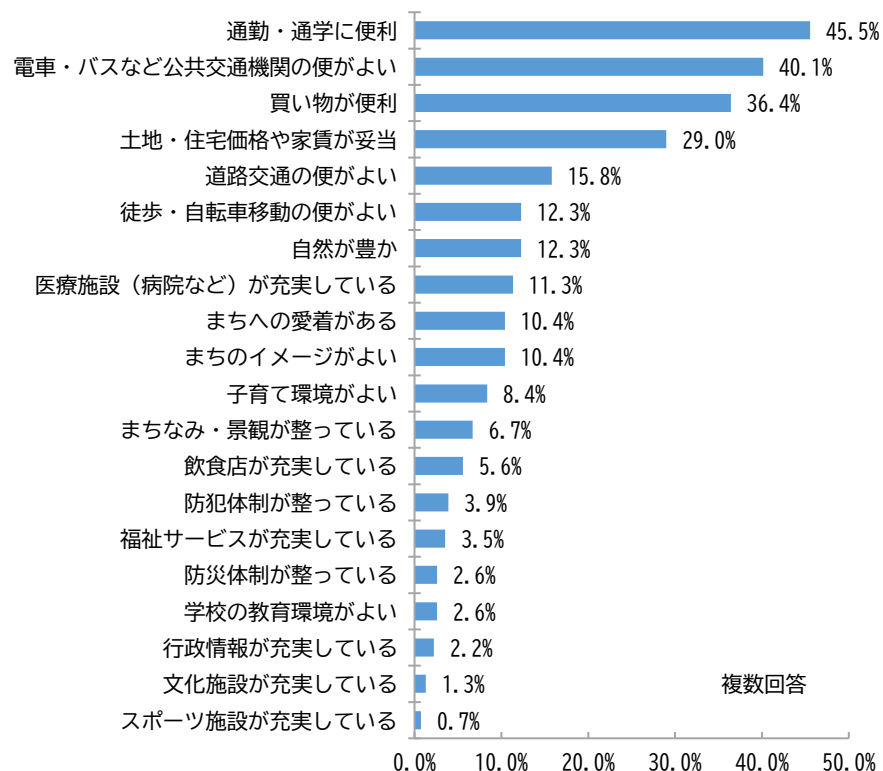


【問8】 お住まいを決める際に重視した点について教えてください。（あてはまるものすべてに○）

「通勤・通学に便利」が45.5%と最も多く、ついで「電車・バスなど公共交通機関の便がよい」が40.1%、「買い物に便利」が36.4%となっています。

選択肢	合計	割合
買い物が便利	196	36.4%
飲食店が充実している	30	5.6%
通勤・通学に便利	245	45.5%
電車・バスなど公共交通機関の便がよい	216	40.1%
道路交通の便がよい	85	15.8%
徒歩・自転車移動の便がよい	66	12.3%
土地・住宅価格や家賃が妥当	156	29.0%
防災体制が整っている	14	2.6%
防犯体制が整っている	21	3.9%
まちへの愛着がある	56	10.4%
まちのイメージがよい	56	10.4%
自然が豊か	66	12.3%
まちなみ・景観が整っている	36	6.7%
スポーツ施設が充実している	4	0.7%
文化施設が充実している	7	1.3%
行政情報が充実している	12	2.2%
子育て環境がよい	45	8.4%
学校の教育環境がよい	14	2.6%
医療施設（病院など）が充実している	61	11.3%
福祉サービスが充実している	19	3.5%
無回答・無効	51	9.5%
回答者数	538	100.0%

無回答	51	9.5%
無効	0	0.0%

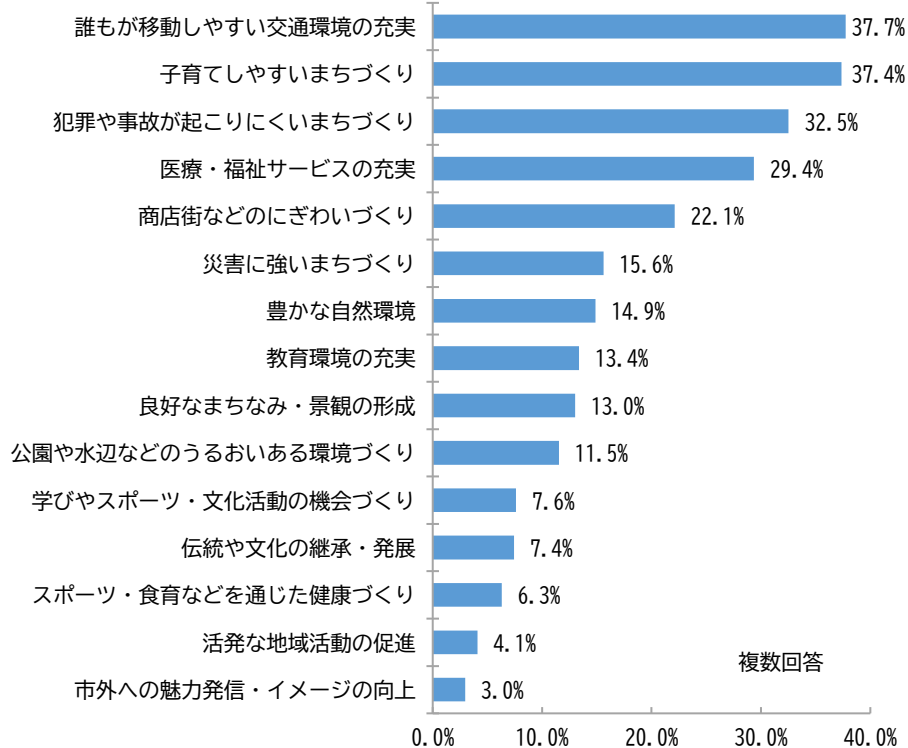


【問9】 宇治市のまちづくりに対して特にどんなことを期待しますか。（あてはまるものに3つまで○）

「誰もが移動しやすい交通環境の充実」が37.7%と最も多く、ついで「子育てしやすいまちづくり」が37.4%、「犯罪や事故が起こりにくいまちづくり」が32.5%となっています。

選択肢	合計	割合
商店街などのにぎわいづくり	119	22.1%
スポーツ・食育などを通じた健康づくり	34	6.3%
学びやスポーツ・文化活動の機会づくり	41	7.6%
誰もが移動しやすい交通環境の充実	203	37.7%
豊かな自然環境	80	14.9%
良好なまちなみ・景観の形成	70	13.0%
公園や水辺などのうるおいある環境づくり	62	11.5%
伝統や文化の継承・発展	40	7.4%
子育てしやすいまちづくり	201	37.4%
教育環境の充実	72	13.4%
災害に強いまちづくり	84	15.6%
犯罪や事故が起こりにくいまちづくり	175	32.5%
医療・福祉サービスの充実	158	29.4%
活発な地域活動の促進	22	4.1%
市外への魅力発信・イメージの向上	16	3.0%
無回答・無効	15	2.8%
回答者数	538	100.0%

無回答	15	2.8%
無効	0	0.0%



令和6年度 転出に関するアンケート調査結果

回答者数： n=367

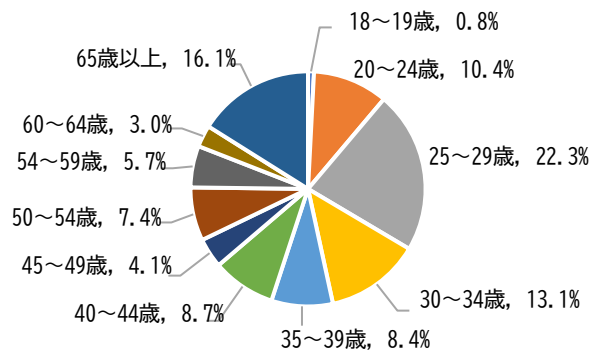
【問1】 あなたの年齢（令和6年4月1日時点）と性別をご記入ください。

【年齢】

「25～29歳」が22.3%と最も多く、ついで「65歳以上」が16.1%、「30～34歳」が13.1%となっています。

選択肢	合計	割合
18～19歳	3	0.8%
20～24歳	38	10.4%
25～29歳	82	22.3%
30～34歳	48	13.1%
35～39歳	31	8.4%
40～44歳	32	8.7%
45～49歳	15	4.1%
50～54歳	27	7.4%
54～59歳	21	5.7%
60～64歳	11	3.0%
65歳以上	59	16.1%
無回答・無効	0	0.0%
回答者数	367	100.0%

無回答	0	0.0%
無効	0	0.0%

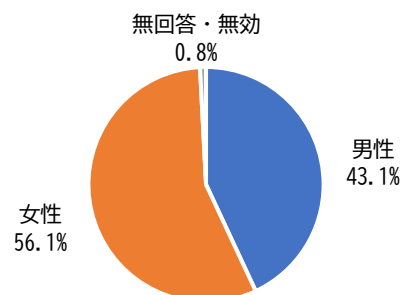


【性別】

「女性」が56.1%、ついで「男性」が43.1%となっています。

選択肢	合計	割合
男性	158	43.1%
女性	206	56.1%
無回答・無効	3	0.8%
回答者数	367	100.0%

無回答	3	0.8%
無効	0	0.0%

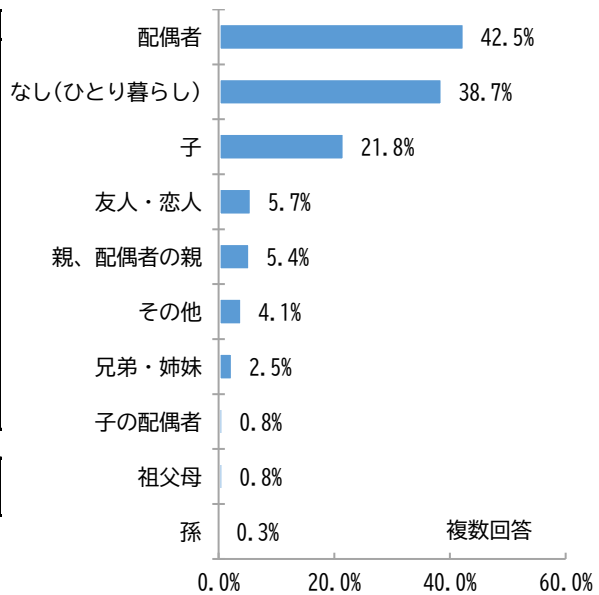


【問2】 一緒に暮らしている方について教えてください。（あてはまるものすべてに○）

「配偶者」が42.5%と最も多く、ついで「なし(ひとり暮らし)」が38.7%、「子」が21.8%となっています。

選択肢	合計	割合
なし(ひとり暮らし)	142	38.7%
配偶者	156	42.5%
子	80	21.8%
子の配偶者	3	0.8%
親、配偶者の親	20	5.4%
兄弟・姉妹	9	2.5%
祖父母	3	0.8%
孫	1	0.3%
友人・恋人	21	5.7%
その他	15	4.1%
無回答・無効	4	1.1%
回答者数	367	100.0%

無回答	4	1.1%
無効	0	0.0%

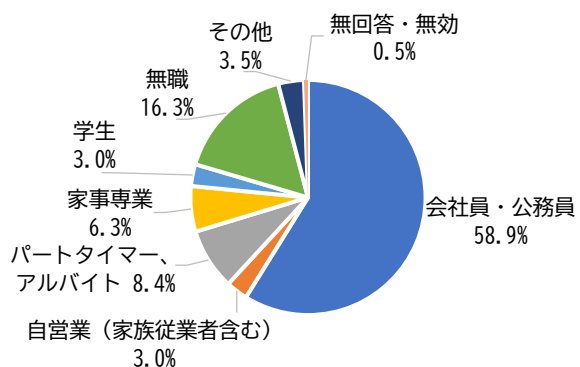


【問3】 あなたのご職業について教えてください（あてはまるもの1つに○）

「会社員・公務員」が58.9%と最も多く、ついで「無職」が16.3%、「パートタイマー、アルバイト」が8.4%となっています。

選択肢	合計	割合
会社員・公務員	216	58.9%
自営業（家族従業者含む）	11	3.0%
パートタイマー、アルバイト	31	8.4%
家事専業	23	6.3%
学生	11	3.0%
無職	60	16.3%
その他	13	3.5%
無回答・無効	2	0.5%
回答者数	367	100.0%

無回答	2	0.5%
無効	0	0.0%

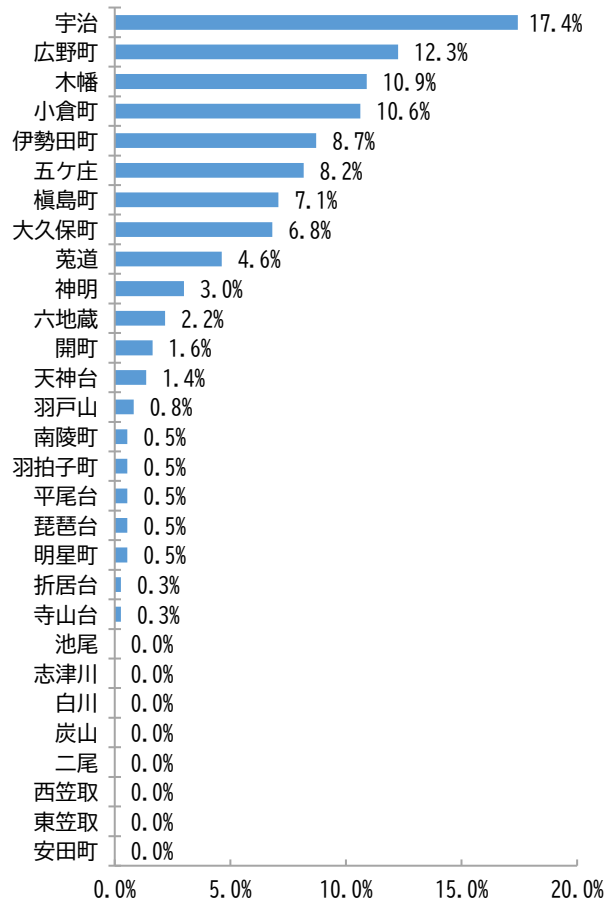


【問4】 あなたの転出前のお住まいはどちらですか。

「宇治」が17.4%と最も多く、ついで「広野町」が12.3%、「木幡」が10.9%となっています。

選択肢	合計	割合
池尾	0	0.0%
伊勢田町	32	8.7%
宇治	64	17.4%
大久保町	25	6.8%
小倉町	39	10.6%
折居台	1	0.3%
木幡	40	10.9%
五ヶ庄	30	8.2%
槇島町	0	0.0%
志津川	0	0.0%
白川	0	0.0%
神明	11	3.0%
炭山	0	0.0%
寺山台	1	0.3%
天神台	5	1.4%
菟道	17	4.6%
南陵町	2	0.5%
二尾	0	0.0%
西笠取	0	0.0%
羽戸山	3	0.8%
羽拍子町	2	0.5%
東笠取	0	0.0%
平尾台	2	0.5%
開町	6	1.6%
広野町	45	12.3%
琵琶台	2	0.5%
槇島町	26	7.1%
明星町	2	0.5%
安田町	0	0.0%
六地藏	8	2.2%
無回答・無効	4	1.1%
回答者数	367	100.0%

無回答	4	1.1%
無効	0	0.0%

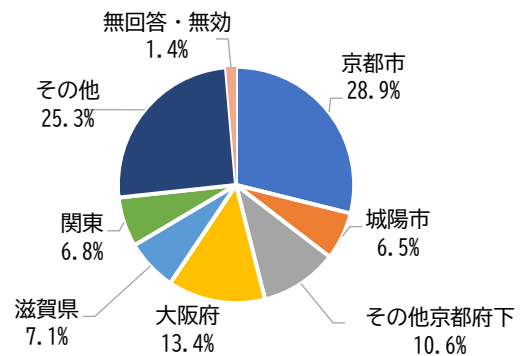


【問5】 あなたの転出後のお住まいをご記入ください。

「その他」を除き、「京都市」が28.9%と最も多く、ついで「大阪府」が13.4%、「その他京都府下」が10.6%となっています。

選択肢	合計	割合
京都市	106	28.9%
城陽市	24	6.5%
その他京都府下	39	10.6%
大阪府	49	13.4%
滋賀県	26	7.1%
関東	25	6.8%
その他	93	25.3%
無回答・無効	5	1.4%
回答者数	367	100.0%

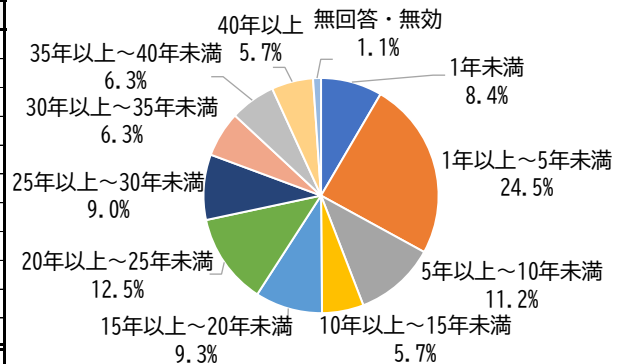
無回答	4	1.1%
無効	1	0.3%



【問6】 宇治市での居住年数について教えてください。（あてはまるもの1つに○）

「1年以上～5年未満」が24.5%と最も多く、ついで「20年以上～25年未満」が12.5%、「5年以上～10年未満」が11.2%となっています。

選択肢	合計	割合
1年未満	31	8.4%
1年以上～5年未満	90	24.5%
5年以上～10年未満	41	11.2%
10年以上～15年未満	21	5.7%
15年以上～20年未満	34	9.3%
20年以上～25年未満	46	12.5%
25年以上～30年未満	33	9.0%
30年以上～35年未満	23	6.3%
35年以上～40年未満	23	6.3%
40年以上	21	5.7%
無回答・無効	4	1.1%
回答者数	367	100.0%



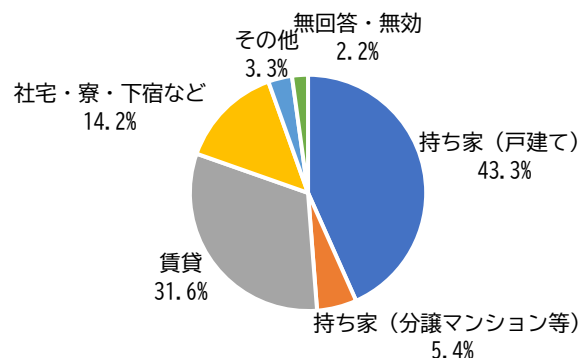
無回答	3	0.8%
無効	1	0.3%

【問7】 転出前後の住居について教えてください。（あてはまるものそれぞれ1つに○）

【転出前】

「持ち家（戸建て）」が43.3%と最も多く、ついで「賃貸」が31.6%、「社宅・寮・下宿など」が14.2%となっています。

選択肢	合計	割合
持ち家（戸建て）	159	43.3%
持ち家（分譲マンション等）	20	5.4%
賃貸	116	31.6%
社宅・寮・下宿など	52	14.2%
その他	12	3.3%
無回答・無効	8	2.2%
回答者数	367	100.0%

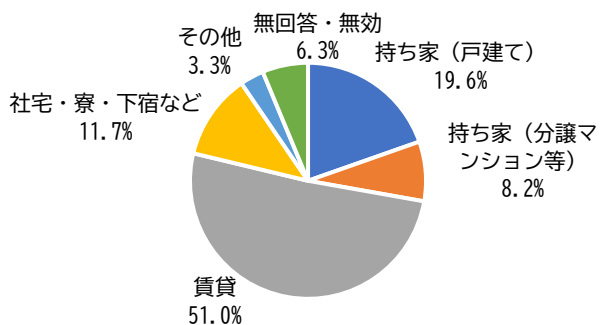


無回答	7	1.9%
無効	1	0.3%

【転出後】

「賃貸」が51.0%と最も多く、ついで「持ち家（戸建て）」が19.6%、「社宅・寮・下宿など」が11.7%となっています。

選択肢	合計	割合
持ち家（戸建て）	72	19.6%
持ち家（分譲マンション等）	30	8.2%
賃貸	187	51.0%
社宅・寮・下宿など	43	11.7%
その他	12	3.3%
無回答・無効	23	6.3%
回答者数	367	100.0%



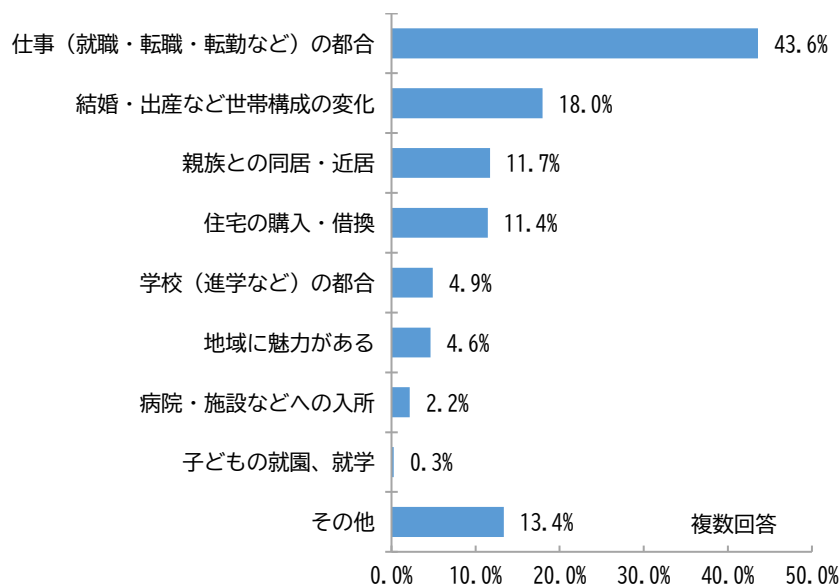
無回答	22	6.0%
無効	1	0.3%

【問8】 転出された理由について教えてください。（あてはまるものすべてに○）

「その他」を除き、「仕事（就職・転職・転勤など）の都合」が43.6%と最も多く、ついで「結婚・出産など世帯構成の変化」が18.0%、「親族との同居・近居」が11.7%となっています。

選択肢	合計	割合
親族との同居・近居	43	11.7%
仕事（就職・転職・転勤など）の都合	160	43.6%
結婚・出産など世帯構成の変化	66	18.0%
学校（進学など）の都合	18	4.9%
住宅の購入・借換	42	11.4%
子どもの就園、就学	1	0.3%
病院・施設などへの入所	8	2.2%
地域に魅力がある	17	4.6%
その他	49	13.4%
無回答・無効	10	2.7%
回答者数	367	100.0%

無回答	10	2.7%
無効	0	0.0%

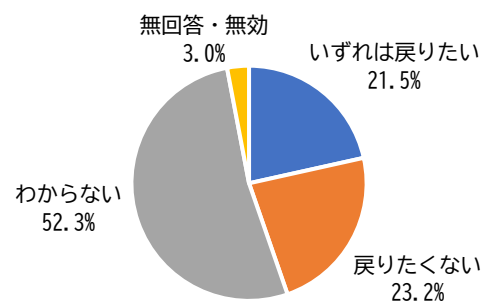


【問9】 今後、宇治市に戻りたいと思いますか。（あてはまるもの1つに○）

「わからない」が52.3%と最も多く、ついで「戻りたくない」が23.2%、「いずれは戻りたい」が21.5%となっています。

選択肢	合計	割合
いずれは戻りたい	79	21.5%
戻りたくない	85	23.2%
わからない	192	52.3%
無回答・無効	11	3.0%
回答者数	367	100.0%

無回答	10	2.7%
無効	1	0.3%

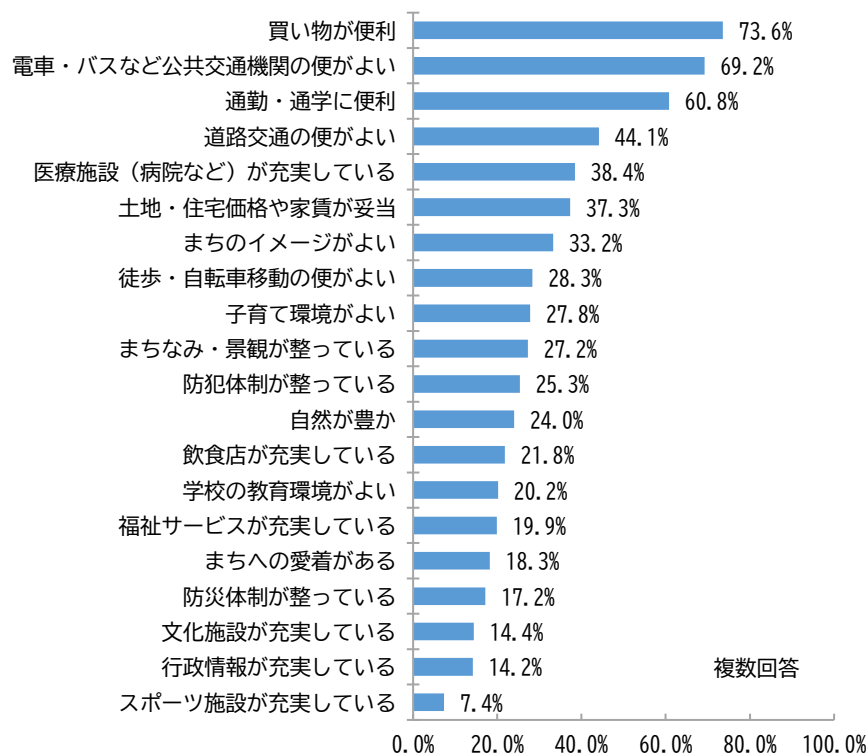


【問10】 あなたは住む場所を選ぶ際、どのようなことを重視しますか。（あてはまるものすべてに○）

「買い物が便利」が73.6%と最も多く、ついで「電車・バスなど公共交通機関の便がよい」が69.2%、「通勤・通学に便利」が60.8%となっています。

選択肢	合計	割合
買い物が便利	270	73.6%
飲食店が充実している	80	21.8%
通勤・通学に便利	223	60.8%
電車・バスなど公共交通機関の便がよい	254	69.2%
道路交通の便がよい	162	44.1%
徒歩・自転車移動の便がよい	104	28.3%
土地・住宅価格や家賃が妥当	137	37.3%
防災体制が整っている	63	17.2%
防犯体制が整っている	93	25.3%
まちへの愛着がある	67	18.3%
まちのイメージがよい	122	33.2%
自然が豊か	88	24.0%
まちなみ・景観が整っている	100	27.2%
スポーツ施設が充実している	27	7.4%
文化施設が充実している	53	14.4%
行政情報が充実している	52	14.2%
子育て環境がよい	102	27.8%
学校の教育環境がよい	74	20.2%
医療施設（病院など）が充実している	141	38.4%
福祉サービスが充実している	73	19.9%
無回答・無効	7	1.9%
回答者数	367	100.0%

無回答	7	1.9%
無効	0	0.0%



第3期宇治市人口ビジョン（案）について

1 第2期宇治市人口ビジョンの状況

<第2期宇治市人口ビジョン策定以降の人口動態>

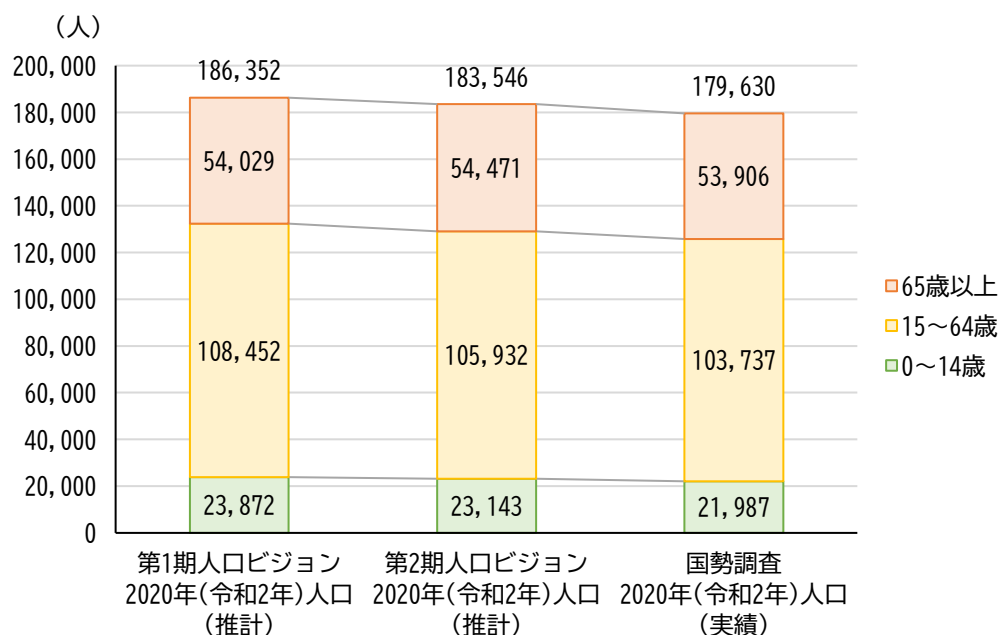
2020年（令和2年）以降の人口動態をみると、依然として人口減が続いているものの、生産年齢人口の減少率の低下、転入者数の増加や転出者数の減少、出生者数の大幅な減少の食い止め、合計特殊出生率が全国値を上回るなど、地方創生の取組の効果が一定、表れているものとも推測される。一方で、高齢者人口が減少に転じたことなど、これまででない傾向もみられている。また、年少人口は減少し続けており、当該ビジョン実現のための効果的な施策を定めていくことが必要である。

<人口ビジョンと国勢調査人口の比較>

2020年（令和2年）3月に策定した第2期宇治市人口ビジョンでは、社人研が2015年（平成27年）の国勢調査人口を基準として推計した値を基に、国の長期ビジョンに示された合計特殊出生率及び2020年（令和2年）に社会増減が0人になることを目標として推計している。

これまでの宇治市人口ビジョンと2020年（令和2年）の国勢調査人口を比較すると、本市の2020年（令和2年）人口は、人口ビジョンを下回っている。

図 1-1 2020年（令和2年）の宇治市人口の比較



出典：総務省「国勢調査」

注）国勢調査の各年齢人口は不詳補完値。

2 人口動態に関する目標

(1) 合計特殊出生率

2019 年（令和元年）の国の長期ビジョンにおいては、2060 年（令和 42 年）に 1 億人程度の人口を維持するために必要な合計特殊出生率は、2020 年（令和 2 年）に 1.60、2030 年（令和 12 年）に 1.80、2040 年（令和 22 年）以降は人口が長期的に増減しない水準である 2.07 と仮定している。

本市では、2040 年（令和 22 年）以降、人口水準を維持するため、国の長期ビジョンにおいて示された合計特殊出生率を直線的に補完した値を目標とする。

表 2-1 合計特殊出生率

	2020 年 (令和 2 年)	2025 年 (令和 7 年)	2030 年 (令和 12 年)	2035 年 (令和 17 年)	2040 年 (令和 22 年)	2045 年 (令和 27 年)	2050 年 (令和 32 年)	2055 年 (令和 37 年)	2060 年 (令和 42 年)
国の長期ビジョン	1.60 (1.33)	—	1.80	—	2.07	2.07	2.07	2.07	2.07
第 2 期宇治市人口ビジョン	1.60 (1.35)	1.70	1.80	1.94	2.07	2.07	2.07	2.07	2.07
第 3 期宇治市人口ビジョン	1.35	1.53	1.71	1.89	2.07	2.07	2.07	2.07	2.07

※括弧内は実績値。

出典：（2020 年（令和 2 年）実績値）厚生労働省「人口動態保健所・市区町村別統計」

(2) 社会増減

本市の社会増減の減少幅が改善してきている現状を踏まえ、引き続き地方創生に寄与する施策を推進していくことで、2025 年（令和 7 年）以降、社会増減を 0 人とすることを目標とする。

(3) 人口減少の対応

人口減少への対応は、出生率を向上させることにより、人口の自然増を図ることが考えられるが、出生率の向上を図っても、今後、数十年間の人口減少は避けられない状況にある。社会移動の割合が高い 20 歳代と 30 歳代をターゲットに転出超過の解消及び転入超過の増大に向けた効果的・効率的な施策を実施していく必要がある。あわせて、この世代は子育て世代でもあると考えられることから、若年人口の増加につなげ、定住促進を図っていく必要がある。

3 将来展望

合計特殊出生率や社会増減の目標を踏まえ、2020年（令和2年）の国勢調査人口を基に推計すると、本市の人口は2060年（令和42年）に14万1,798人、2070年（令和52年）に13万1,398人となる。第3期宇治市人口ビジョンでは、この値を目標として施策を推進していく。

第2期宇治市人口ビジョンでは、2060年（令和42年）の人口を15万786人とすることを目標としており、今回の推計の2060年（令和42年）人口と比較すると8,988人減少することとなるが、その要因は、推計の基礎としている2020年（令和2年）の国勢調査人口が第2期人口ビジョンの値と比較して減少したことによるものである。

なお、人口ビジョンにおいて目標とする人口は、本創生総合戦略に掲げる施策の実施により目指す人口であり、今後の市の各種計画等で採用する人口推計とは異なる場合がある。

図 3-1 第3期宇治市人口ビジョン

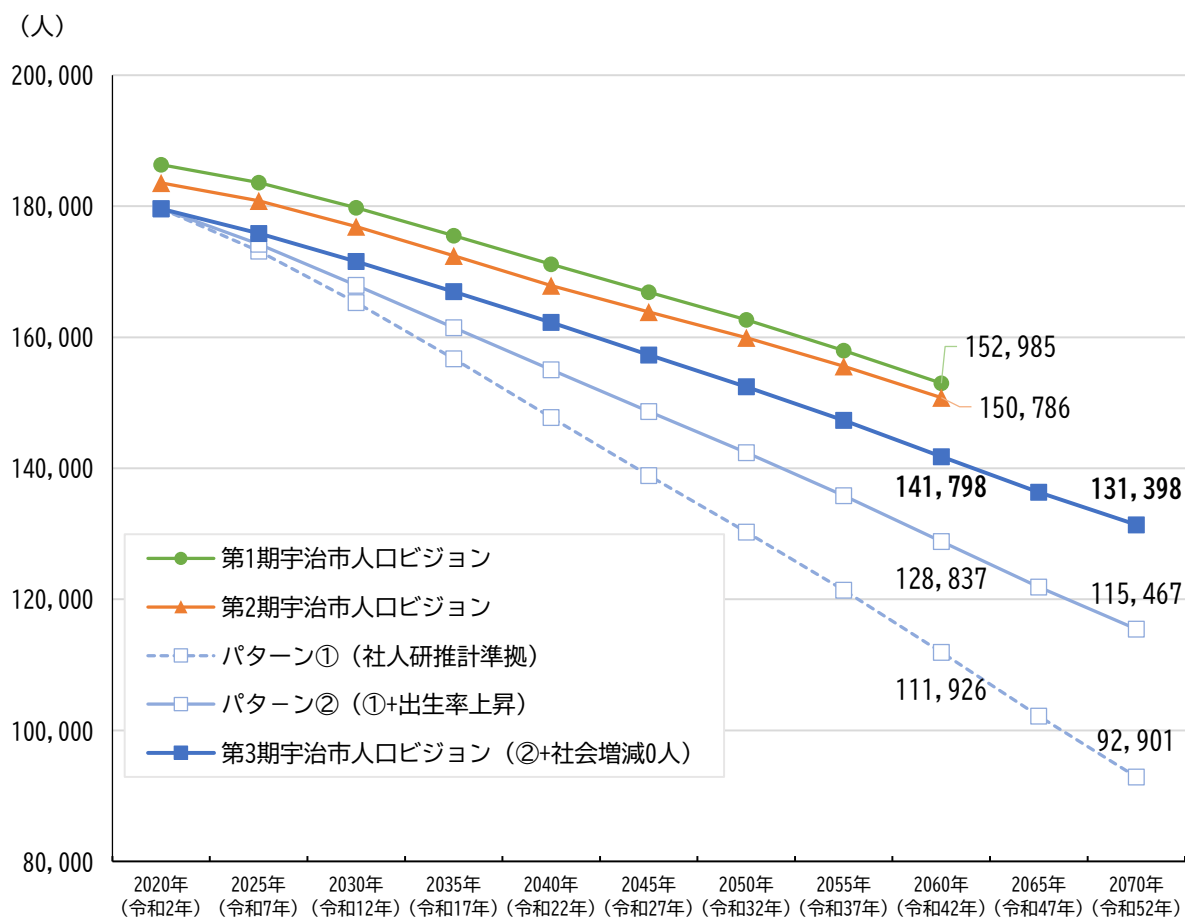


表 3-1 人口推計の手法

宇治市人口ビジョン		人口推計の仮定条件	
第 1 期人口ビジョン		【出生率】	国の長期ビジョンで示された合計特殊出生率の仮定と同じ。 2020 年(令和 2 年)=1.60、2030 年(令和 12 年)=1.80、 2040 年(令和 22 年)=2.07
		【社会移動】	2020 年(令和元年)に社会減が解消し、それ以降は社会増減が 0 人と仮定。
第 2 期人口ビジョン		【出生率】	国の長期ビジョン(2019 年(令和元年)改訂版)で示された合計特殊出生率の仮定と同じ。 2030 年(令和 12 年)=1.80、2040 年(令和 22 年)=2.07
		【社会移動】	第 1 期人口ビジョンの仮定条件と同じ。
第 3 期人口推計	パターン① (社人研推計準拠)	【出生率】	社人研推計に準拠。 ※2030 年(令和 12 年)≒1.30、2040 年(令和 22 年)≒1.34
		【社会移動】	社人研推計に準拠。 ※過去の純移動数をもとに推計。
	パターン② (①+出生率上昇)	【出生率】	国の長期ビジョンで示された合計特殊出生率 2.07 を 2040 年に達成。以後 2.07 を継続。 2020 年(令和 2 年)=1.35、2030 年(令和 12 年)=1.71、 2040 年(令和 22 年)=2.07
		【社会移動】	パターン①の仮定条件と同じ。
	パターン③ (②+社会増減 0 人) →第 3 期人口ビジョン	【出生率】	パターン②の仮定条件と同じ。
		【社会移動】	2025 年(令和 7 年)に社会減が解消し、それ以降は社会増減が 0 人と仮定。

表 3-2 推計結果

	(人)						
	2020 年 (令和 2 年)	2025 年 (令和 7 年)	2030 年 (令和 12 年)	2040 年 (令和 22 年)	2050 年 (令和 32 年)	2060 年 (令和 42 年)	2070 年 (令和 52 年)
第 1 期人口ビジョン	186,352	183,636	179,782	171,151	162,666	152,985	—
第 2 期人口ビジョン	183,546	180,837	176,917	167,893	159,938	150,786	—
パターン①(社人研推計準拠)	179,630	173,162	165,299	147,778	130,287	111,926	92,901
パターン②(①+出生率上昇)	179,630	174,218	167,951	155,061	142,415	128,837	115,467
第 3 期人口ビジョン (②+社会増減 0 人)	179,630	175,851	171,575	162,287	152,454	141,798	131,398

図 3-2 2020 年（令和 2 年）国勢調査人口の年代別構成

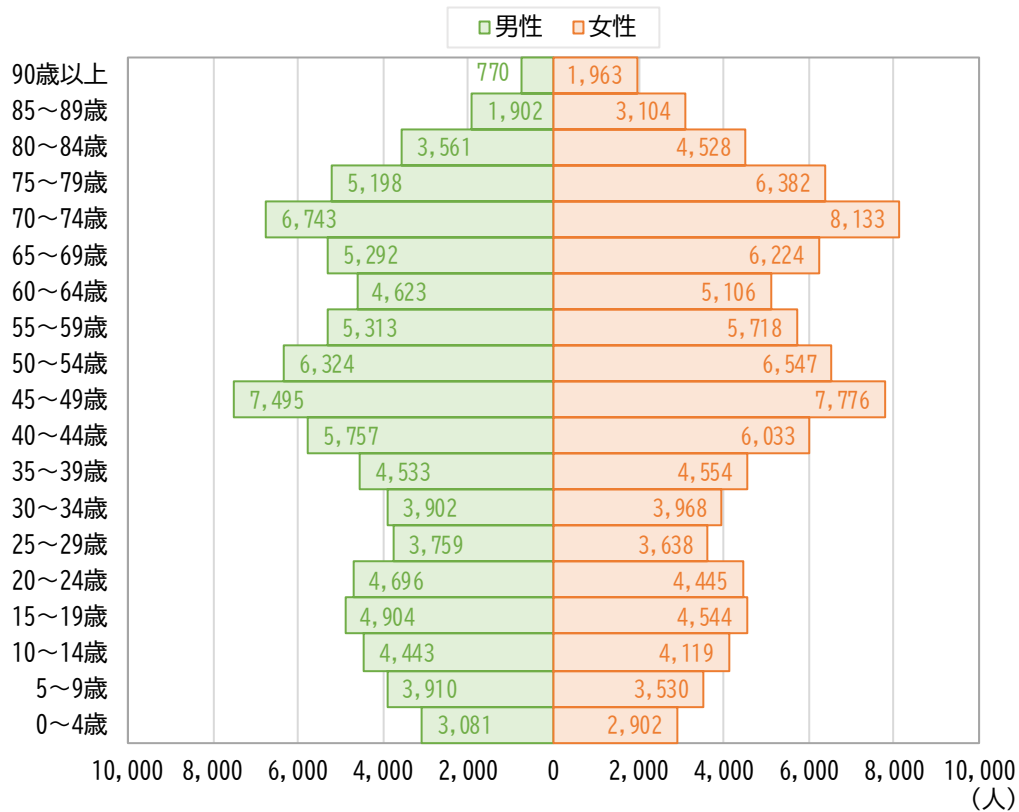


図 3-3 第 3 期宇治市人口ビジョンの 2070 年（令和 52 年）の年代別構成

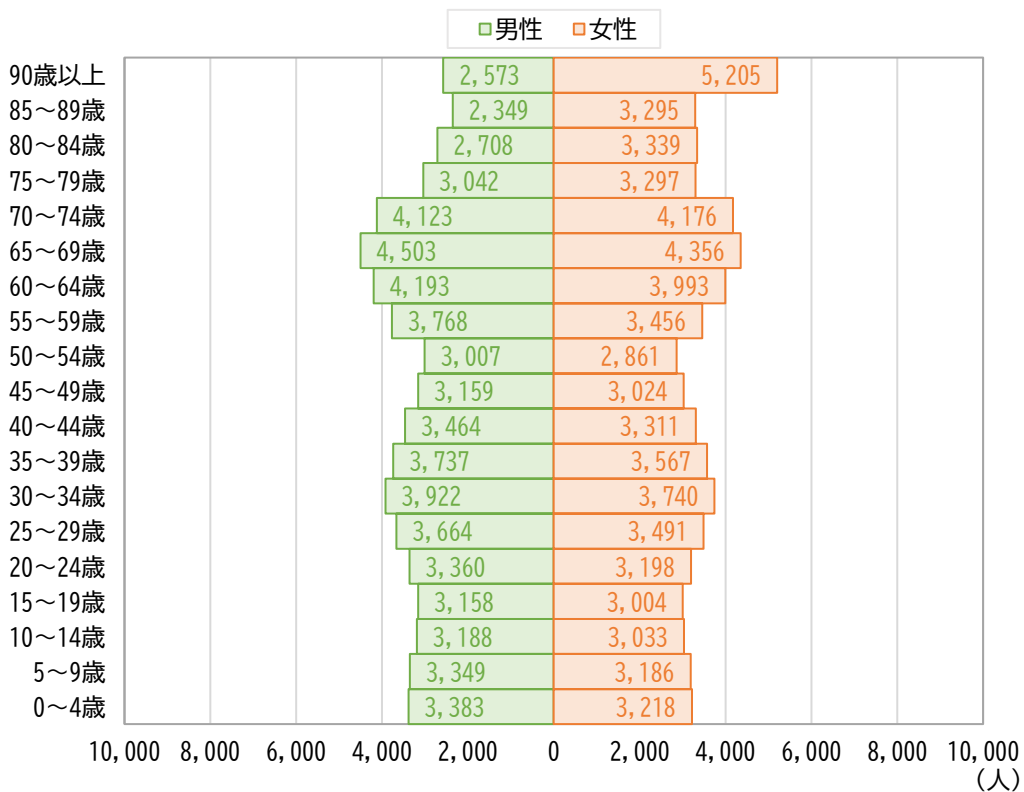


図 3-4 第 3 期宇治市人口ビジョンにおける年齢 3 区分別人口

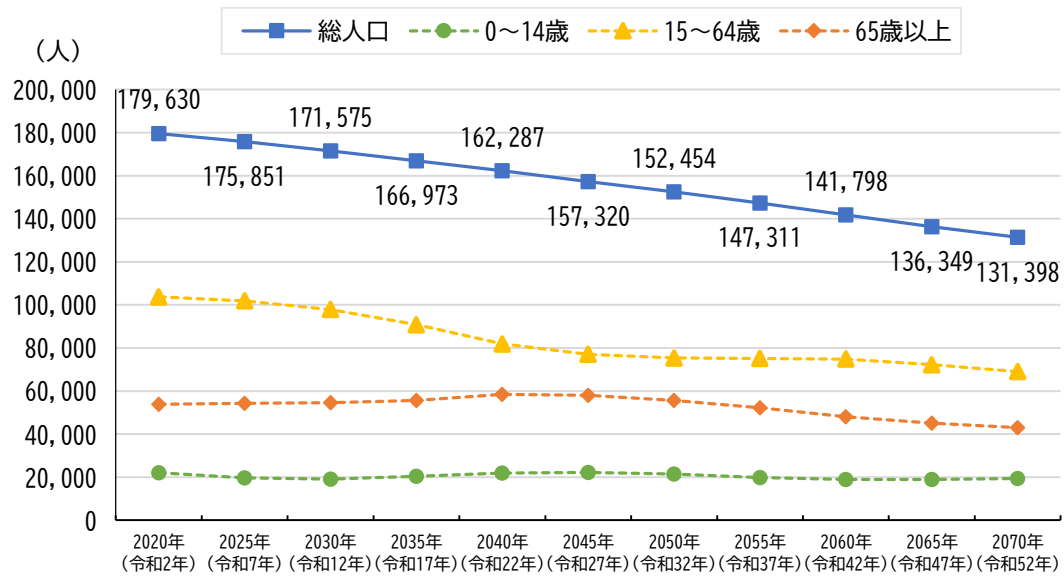
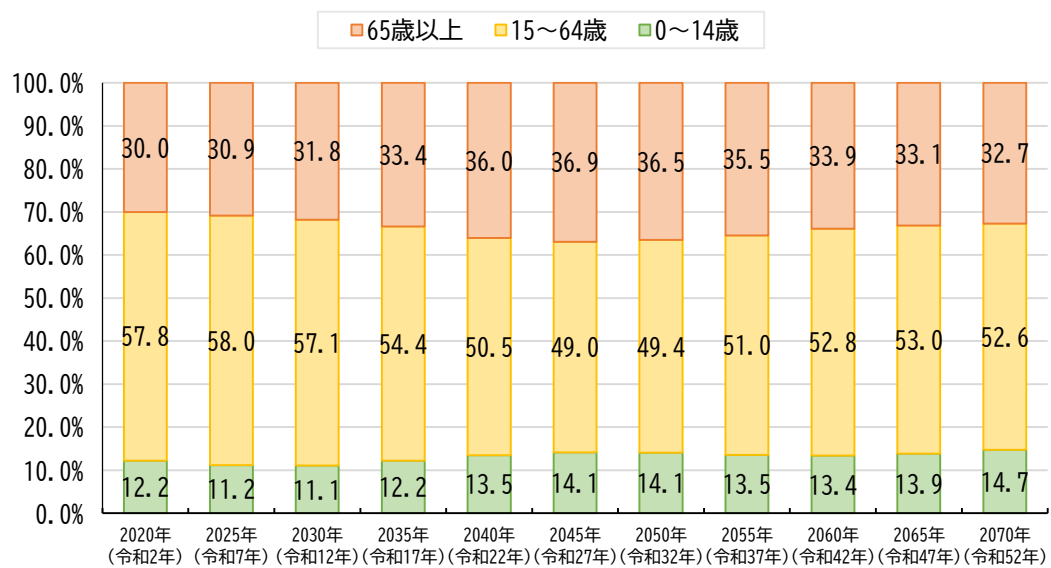


図 3-5 第 3 期宇治市人口ビジョンにおける年齢 3 区分別人口割合



次期創生総合戦略の基本目標(案)について

国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」においては、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」の実現を目指し、デジタルの力を活用した地方の社会課題解決・魅力向上に向け、「地方に仕事をつくる」「人の流れをつくる」「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」「魅力的な地域をつくる」という4つの取組を進めていくことが求められている。

これを受けて、本市においても、次期創生総合戦略では、これまでから行ってきた地方創生の取組について、デジタルの力も活用し、さらに発展させていくこととする。

また、第6次総合計画に基づき、「一人ひとりが輝き 伝統と新たな息吹を紡ぐまち・宇治」の実現に向けて幅広い施策に取り組んでいる中で、創生総合戦略においては人口減少と少子高齢社会への対応を柱として、地方創生に効果的な取組を位置づけて推進することとする。

上記を勘案するとともに、第1期・第2期創生総合戦略の状況を踏まえた上で、本市の特色を最大限に活かした要素を盛り込み、次の5つを基本目標とする。

5つの基本目標（案）

1. 『新たな時代の宇治ブランドの向上』

2. 『希望をかなえる

子育て・子育てにやさしいまちづくり』

3. 『住み続けたい「ふるさと宇治」の創生』

4. 『活力あふれる産業振興と

多様な働く場の創出』

5. 『未来を拓く都市基盤の整備』

基本目標 1『新たな時代の宇治ブランドの向上』

POST コロナ時代においても、「宇治茶」「源氏物語」をはじめとした歴史や文化などの伝統的な観光資源を活用し、宇治ブランドの魅力発信を行うとともに、新たな観光資源の創出や多様な主体との連携による広域的な情報発信・誘客促進に取り組むことで、本市への興味・関心につなげ、観光客をはじめとする交流人口の増加を図る。

また、実際に本市を訪れるだけでなく、多様な関わり方ができる仕組みを構築し、本市と継続的に関わる関係人口の増加につなげるとともに、宇治に住みたい思いを醸成し、転入者の増加につなげ、人口減少に歯止めをかけることを目指す。

■具体的な取組

多様な主体と連携した魅力発信 豊富な観光資源の魅力の再発見 新たな観光資源の創出
体験型観光の促進

基本目標 2『希望をかなえる

子育て・子育てにやさしいまちづくり』

子育て世代の本市への移住・定住につなげていくためには、宇治で結婚・出産・子育てをしたいと思えるイメージの形成とそれらの実現に向けた支援及び環境づくりにより、住みたい、住み続けたいまちになることが必要である。

子育て世代の希望をかなえ、安心して子どもを産み育てられるまちをつくるため、地域で子育てを支える仕組みづくりや子どもたちが健やかに育つ環境づくりを推進するとともに、一人ひとりの学びを最大限に引き出す教育施策の充実・強化と教育・学習環境の向上を図る。

■具体的な取組

若い世代の就労支援 結婚・出産支援 子育て環境の充実
学校教育の充実 家庭・学校・地域の連携・協働促進

基本目標 3『住み続けたい「ふるさと宇治」の創生』

人口減少に歯止めをかけるためには、人口の流入とあわせて、人口の流出抑制を図ることが重要である。

市民の宇治への愛着の醸成を図るとともに、行政のみでなく市民自らが、地域のつながりを大切にし、様々な人々が共生する魅力あるふるさと宇治を築くことで、宇治に住み続けたい思いへとつなげ、定住の促進を図る。

■具体的な取組

地域コミュニティの活性化 多様な主体の共生社会づくり 健康づくりの推進
多文化共生の推進

基本目標 4 『活力あふれる産業振興と多様な働く場の創出』

若年層の定住促進のためには、近隣での多様な働く場の創出が重要であり、市内産業への支援を実施することにより、市域内雇用の創出と拡充を促進するとともに、若者の雇用や起業に対する支援を行う必要がある。

市内産業が持続的に成長、発展するまちの実現に向け、市内産業の成長支援や事業者間の連携促進、新たな産業の創出に向けた起業支援などに取り組むことにより、市民や地域生活を支える地域経済の活性化を目指す。

■具体的な取組

市内企業の成長支援	事業者間や産学等の交流・連携の強化	新たな産業の創出
産業基盤の整備	人材確保と勤労者支援	

基本目標 5 『未来を拓く都市基盤の整備』

市外から通勤・通学、観光など様々な目的で本市を訪れる人(滞在人口)を増やし、地域経済の発展を支えるため魅力的な景観の保全や広域的な道路ネットワークの強化に取り組むとともに、市民生活の利便性や安全性の向上に向けた既存公共交通機関の維持や新たな移動ニーズへの対応、駅や周辺道路のバリアフリー化の推進など、未来の宇治の発展につながる都市基盤整備により、まちの活性化を図る。

■具体的な取組

文化遺産・景観の保護	地域の活性化につながる道路整備	移動しやすい交通環境の充実
暮らしやすい都市づくり		